令和２年度

市民意識調査報告書

蕨市マスコットコットキャラクター「ワラビー」

蕨　　市

目次

調査の概要

１　目的 …… 1
２　調査内容 …… 1
３　調査方法 …… 1
４　回収結果 …… 1

調査の結果

【まちへの愛着】
問１　「自分のまち」としての愛着 …… 2
問２　愛着を感じている理由 …… 4

【永住意識】
問３　永住意識 …… 6
問４　住みたいと思う理由 …… 8
問５　住みたいと思わない理由 …… １２

【まちづくり】
＜防災について＞
問６　防災への備え …… １６
問７　災害発生時の情報取得 …… １８
＜子育てについて＞
問８　子育てのしやすさ …… ２０
問９　子育てしやすいと思う理由 …… ２２
問１０　子育てしやすいまちづくりのために大切なこと …… ２４
＜高齢期に大切なことについて＞
問１１　高齢期に大切なこと …… ２６
問１２　高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境 …… ２８
＜まちのにぎわいについて＞
問１３　商店街・大型店の利用頻度 …… ３０
問１４　商店街への要望 …… ３２
＜健康づくり、運動・スポーツについて＞
問１５　健康に対する意識 …… ３４
問１６　運動・スポーツの頻度 …… ３６
問１７　運動・スポーツの種類 …… ３８

＜市民活動について＞
問１８　地域等での活動（現在の状況、今後の意向）　……４０
問１９　地域等での活動の参加促進に必要なこと　……４２
＜市民参加について＞
問２０　市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向　……４４
＜協働のまちづくりについて＞
問２１　協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み　……４６
＜信濃わらび山荘ついて＞
問２２　施設の利用状況　……４８
問２３　施設の利用目的　……４９
問２４　施設の合計利用回数　……５０
問２５　今後の施設の在り方　……５１
＜ぷらっとわらび（コミュニティバス）について＞
問２６　ぷらっとわらびのイメージ　……５２
問２７　ルート改定についての感想　……５３
問２８　日頃よく利用する交通手段　……５４
＜新型コロナウイルス感染症について＞
問２９　感染症による生活への影響　……５５
問３０　感染予防のために気を付けていること　……５６
問３１　感染症の情報取得　……５７

【重点施策】
問３２　重点施策（重要度・満足度）……５８

回答者の属性

ア　地区　……６５
イ　性別　……６５
ウ　年齢層　……６５
エ　職業　……６６
オ　通勤・通学地　……６６
カ　住宅形態　……６６
キ　居住年数　……６７
ク　家族構成　……６７

調査の概要

1　目的

この調査は、まちの将来像「安心とにぎわい　みんなにあたたかい　日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して、市民のまちづくりに対する意見や要望、満足度などを把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2　調査内容

１）まちへの愛着
２）永住意識
３）まちづくり
　（ア）防災について
　（イ）子育てについて
　（ウ）高齢期に大切なことについて
　（エ）まちのにぎわいについて
　（オ）健康づくり、運動・スポーツについて
　（カ）市民活動について
　（キ）市民参加について
　（ク）協働のまちづくりについて
　（ケ）信濃わらび山荘について
　（コ）ぷらっとわらび（コミュニティバス）について
　（サ）新型コロナウイルス感染症について
４）重点施策

3　調査方法

１）調査期間　令和2年8月４日から8月25日まで
２）調査対象　市内在住の18歳以上の男女
３）対象者数　1，000人
４）抽出方法　住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出。
５）調査方法　行政連絡員による送付、郵便による回答

4　回収結果

対象者1，000人に対し、461人から回答があり、回収率は46．1％。

※備考

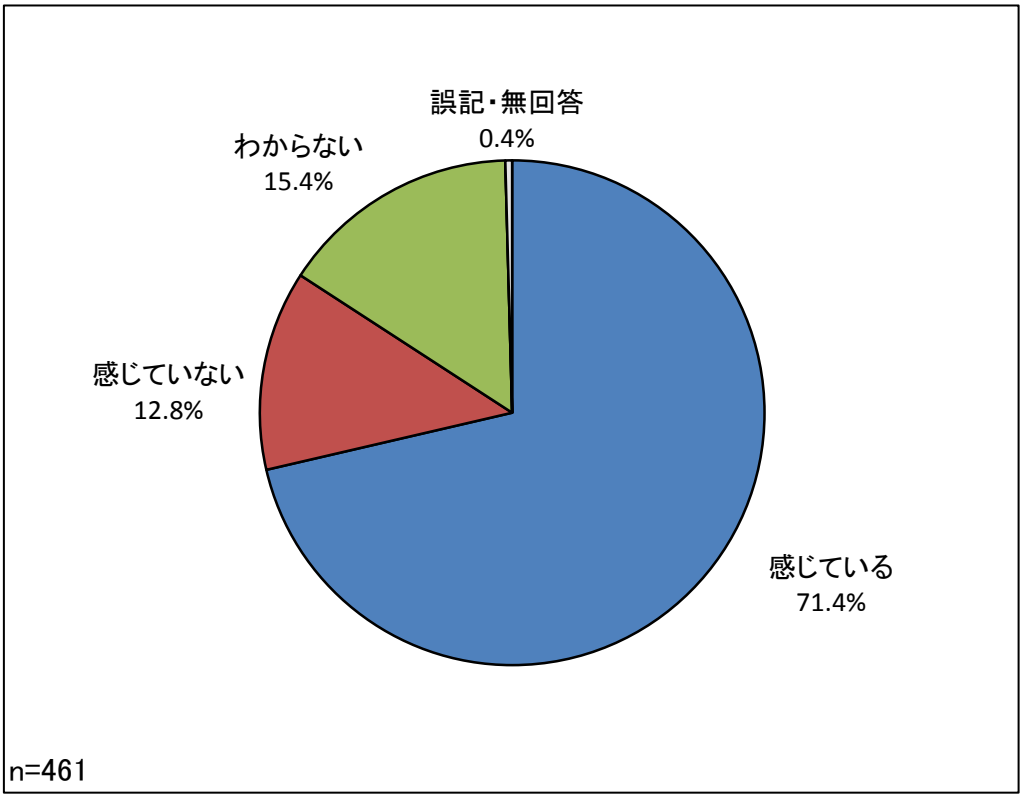
小数点以下第２位を四捨五入しているため、回答割合の合計が１００％にならないことがあります。

調査の結果

【まちへの愛着】

問1　あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。（〇印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
感じている	329	71.4%	1
感じていない	59	12.8%	3
わからない	71	15.4%	2
誤記・無回答	2	0.4%	

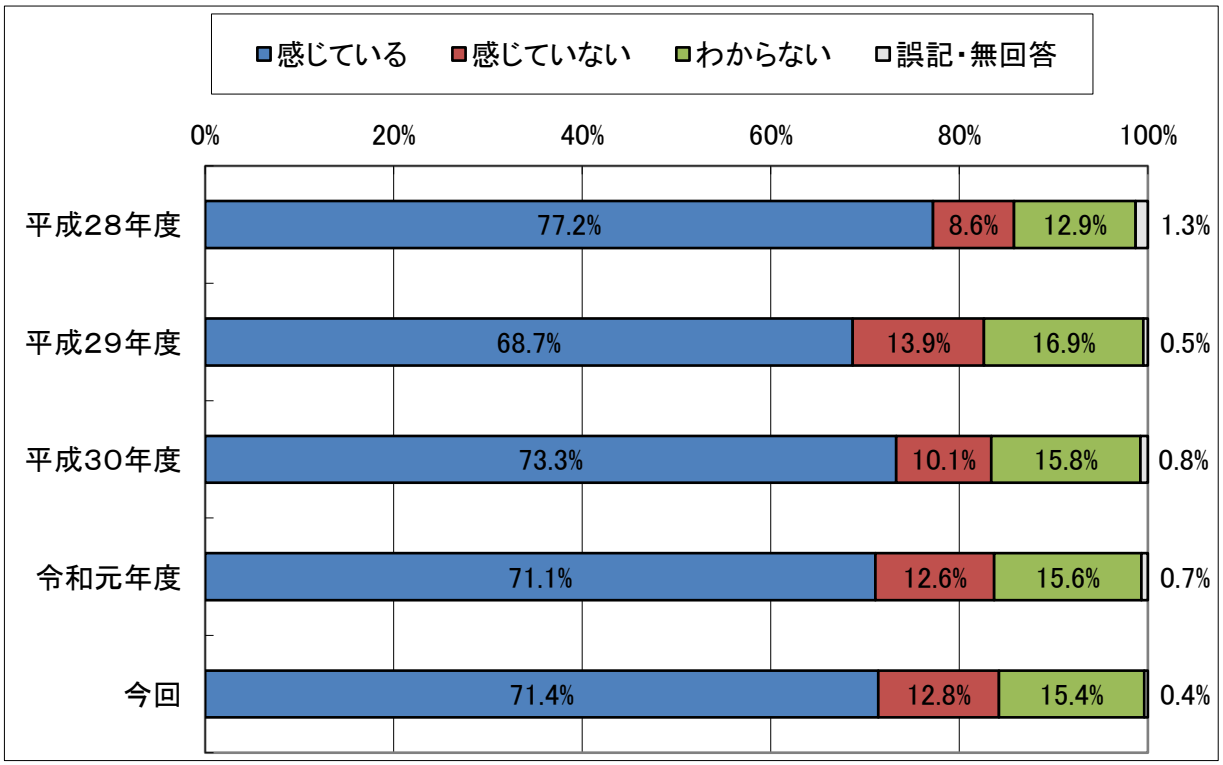


蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は71.4%となっています。 一方、「感じていない」は12.8%、「わからない」は15.4%となっています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、まちへの愛着を「感じている」人の割合は、おおむね70％前後で横ばい傾向となっています。

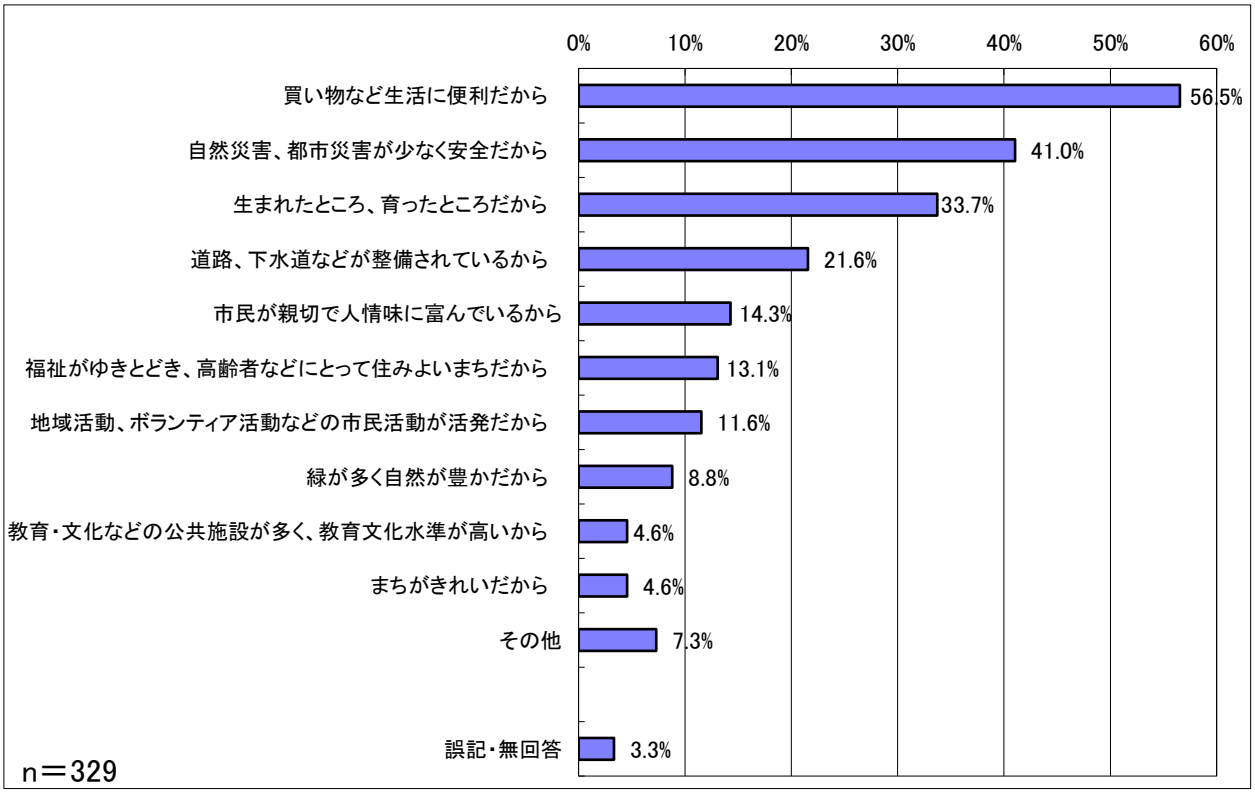
●まちへの愛着（平成28年度からの推移）



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

問2　愛着を感じている理由はなんですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：329人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	186	56.5%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	135	41.0%	2
生まれたところ、育ったところだから	111	33.7%	3
道路、下水道などが整備されているから	71	21.6%	4
市民が親切で人情味に富んでいるから	47	14.3%	5
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	43	13.1%	6
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	38	11.6%	7
緑が多く自然が豊かだから	29	8.8%	8
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	15	4.6%	9
まちがきれいだから	15	4.6%	9
その他	24	7.3%	―
誤記・無回答	11	3.3%	



蕨市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が56.5%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が41.0%、「生まれたところ、育ったところだから」が33.7%、「道路、下水道などが整備されているから」が21.6%と続いています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

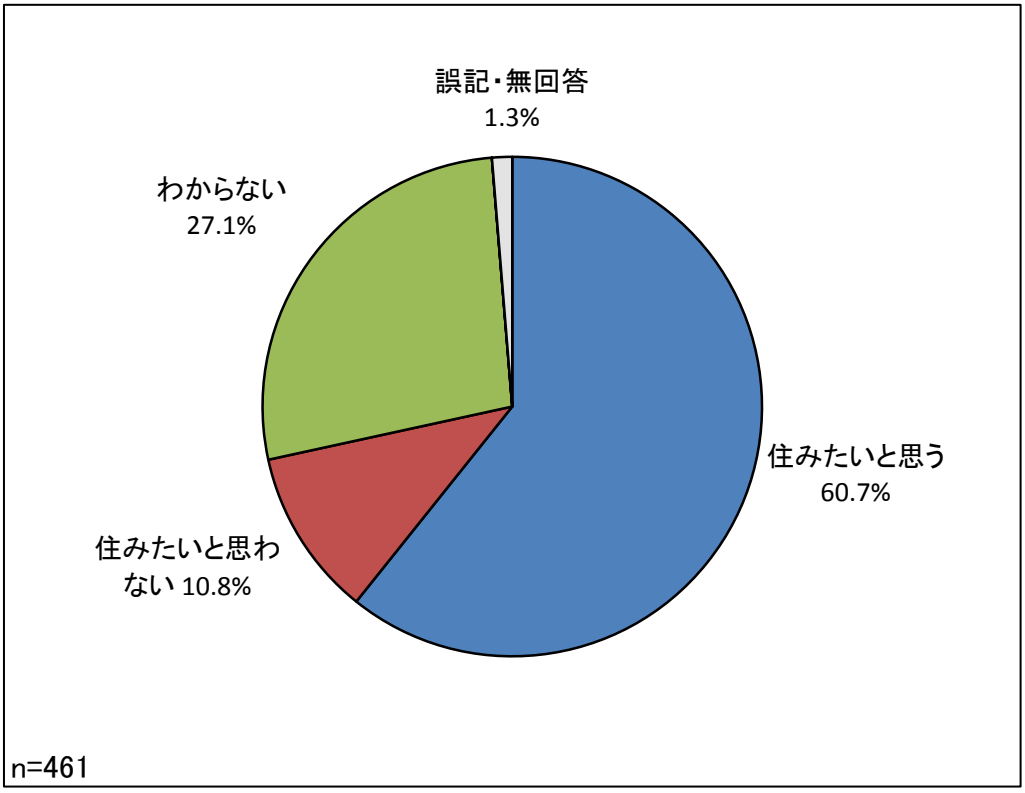
●愛着を感じている理由上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	買い物など生活に便利だから 67.2%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 37.7%	生まれたところ、育ったところだから 33.3%	道路、下水道などが整備されているから 19.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.9%
平成29年度	買い物など生活に便利だから 60.8%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.9%	生まれたところ、育ったところだから 34.5%	道路、下水道などが整備されているから 20.3%	福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから 13.2%
平成30年度	買い物など生活に便利だから 56.8%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 40.3%	生まれたところ、育ったところだから 36.5%	道路、下水道などが整備されているから 20.0%	市民が親切で人情味に富んでいるから 12.7%
令和元年度	買い物など生活に便利だから 62.3%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 43.9%	生まれたところ、育ったところだから 35.1%	道路、下水道などが整備されているから 15.1%	市民が親切で人情味に富んでいるから 12.8%
今回	買い物など生活に便利だから 56.5%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.0%	生まれたところ、育ったところだから 33.7%	道路、下水道などが整備されているから 21.6%	市民が親切で人情味に富んでいるから 14.3%

【永住意識】

問3　あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。（〇印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
住みたいと思う	280	60.7%	1
住みたいと思わない	50	10.8%	3
わからない	125	27.1%	2
誤記・無回答	6	1.3%	－

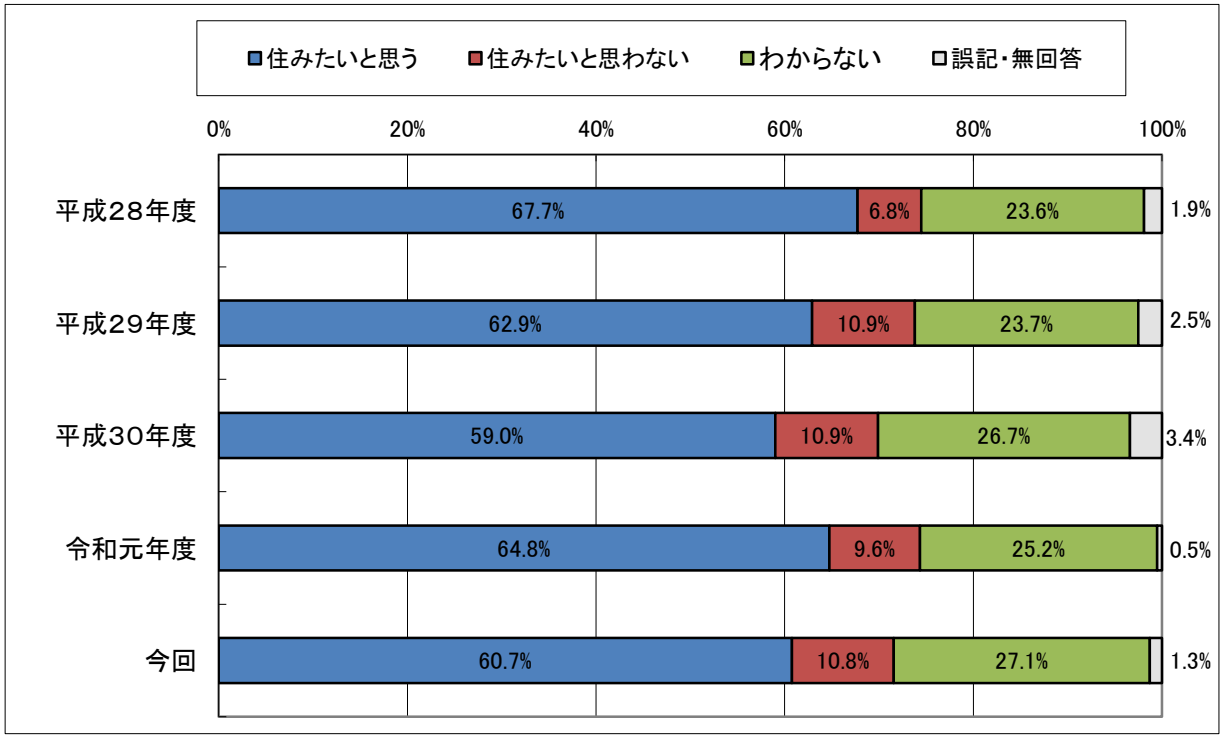


永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は60.7%、住みたいと思わない人は10.8%となっています。
一方、27.1%の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、これからもずっと蕨市に「住みたいと思う」の割合は、おおむね60％前後で横ばい傾向にありますが、今年度は昨年度に比べると、やや低下しています。また、「住みたいと思わない」の割合は、10％前後で推移しています。

●永住意識（平成28年度からの推移）

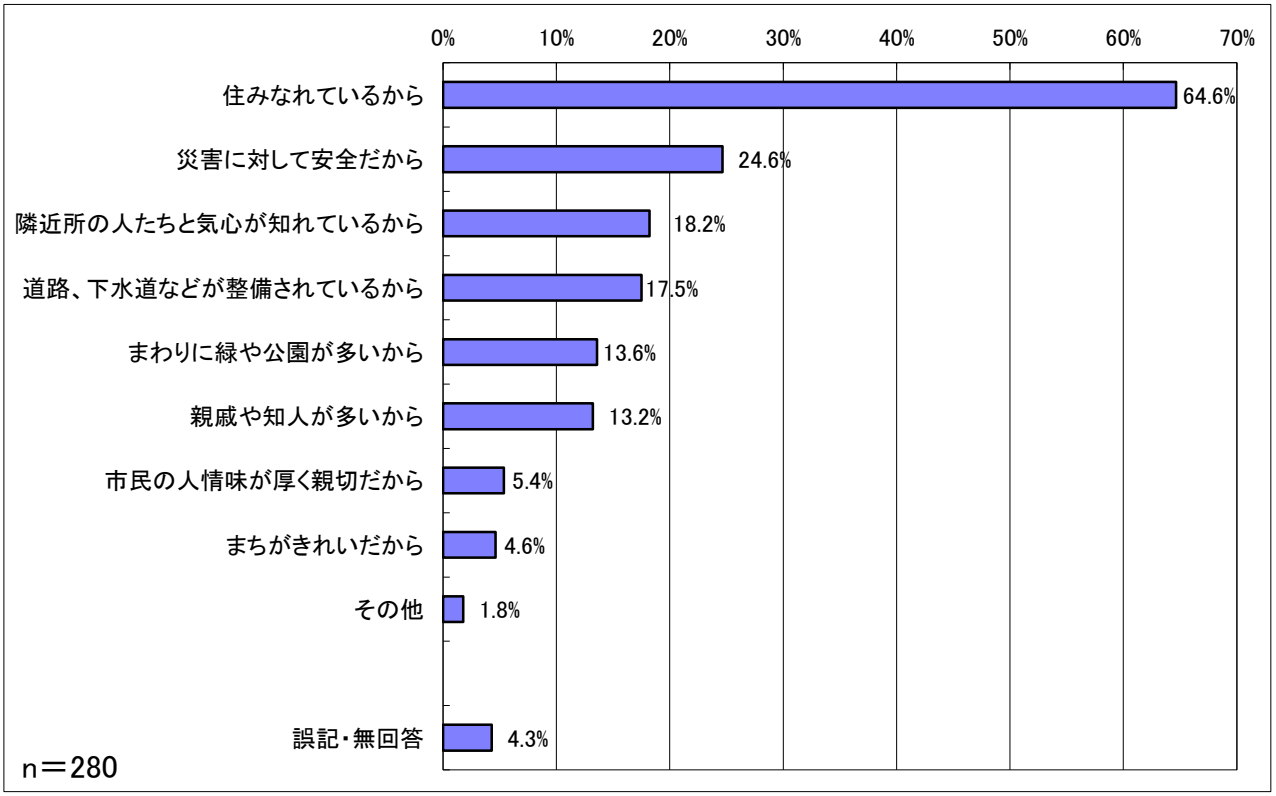


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由は何ですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：280人	件数	割合	順位
住みなれているから	181	64.6%	1
災害に対して安全だから	69	24.6%	2
隣近所の人たちと気心が知れているから	51	18.2%	3
道路、下水道などが整備されているから	49	17.5%	4
まわりに緑や公園が多いから	38	13.6%	5
親戚や知人が多いから	37	13.2%	6
市民の人情味が厚く親切だから	15	5.4%	7
まちがきれいだから	13	4.6%	8
その他	5	1.8%	―
誤記・無回答	12	4.3%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が64.6％で最も多く、次いで「災害に対して安全だから」が24.6％、「隣近所の人たちと気心が知れているから」が18.2％、「道路、下水道などが整備されているから」が17.5％と続いています。

＜経年変化＞

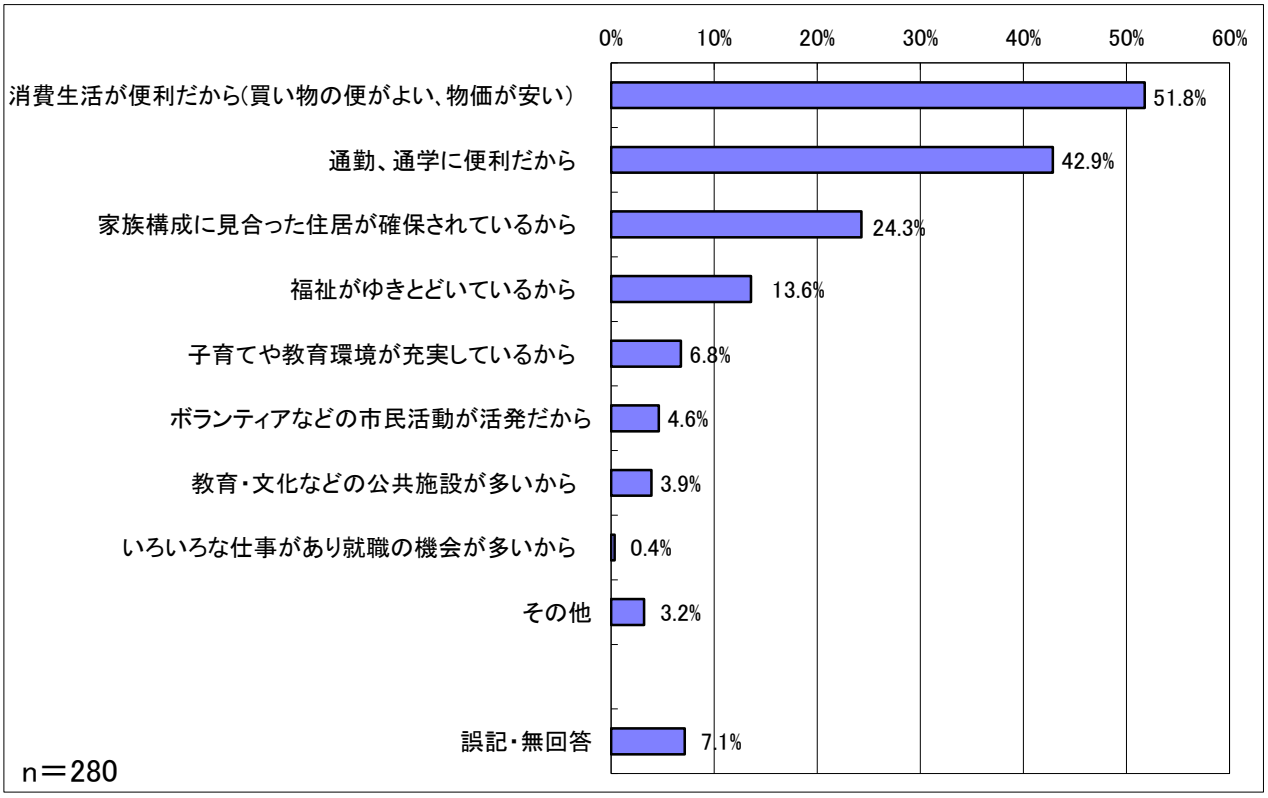
平成28年度からの推移を見ると、住みたいと思う環境上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「住みなれているから」が60％前後で推移しています。

●住みたいと思う環境上の理由 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 隣近所の人たちと気心が知れているから 17.4%		親戚や知人が多いから 15.9%
平成29年度	住みなれているから 66.1%	災害に対して安全だから 21.0%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.5%	道路、下水道などが整備されているから 17.3%	まわりに緑や公園が多いから 14.0%
平成30年度	住みなれているから 59.1%	道路、下水道などが整備されているから 災害に対して安全だから 19.8%		隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	親戚や知人が多いから 14.1%
令和元年度	住みなれているから 64.7%	災害に対して安全だから 22.7%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.3%	まわりに緑や公園が多いから 15.5%	親戚や知人が多いから 15.1%
今回	住みなれているから 64.6%	災害に対して安全だから 24.6%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.2%	道路、下水道などが整備されているから 17.5%	まわりに緑や公園が多いから 13.6%

●生活上の理由

回答対象者:280人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	145	51.8%	1
通勤、通学に便利だから	120	42.9%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	68	24.3%	3
福祉がゆきとどいているから	38	13.6%	4
子育てや教育環境が充実しているから	19	6.8%	5
ボランティアなどの市民活動が活発だから	13	4.6%	6
教育・文化などの公共施設が多いから	11	3.9%	7
いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	1	0.4%	8
その他	9	3.2%	―
誤記・無回答	20	7.1%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が51.8%と最も多く、次いで「通勤、通学に便利だから」が42.9%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が24.3%で上位となっています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、今後も住みたいと思う生活上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い）」が50％台で推移しています。

●住みたいと思う生活上の理由 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 59.2%	通勤、通学に便利だから 41.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.3%	福祉がゆきとどいているから 12.1%	子育てや教育環境が充実しているから 4.7%
平成29年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 54.6%	通勤、通学に便利だから 41.7%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.2%	福祉がゆきとどいているから 12.2%	子育てや教育環境が充実しているから 教育・文化などの公共施設が多いから 5.2%
平成30年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.0%	通勤、通学に便利だから 44.3%	家族構成に見合った住居が確保されているから 23.5%	福祉がゆきとどいているから 8.7%	子育てや教育環境が充実しているから 6.4%
令和元年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.6%	通勤、通学に便利だから 47.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.5%	福祉がゆきとどいているから 8.6%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.8%
今回	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 51.8%	通勤、通学に便利だから 42.9%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.3%	福祉がゆきとどいているから 13.6%	子育てや教育環境が充実しているから 6.8%

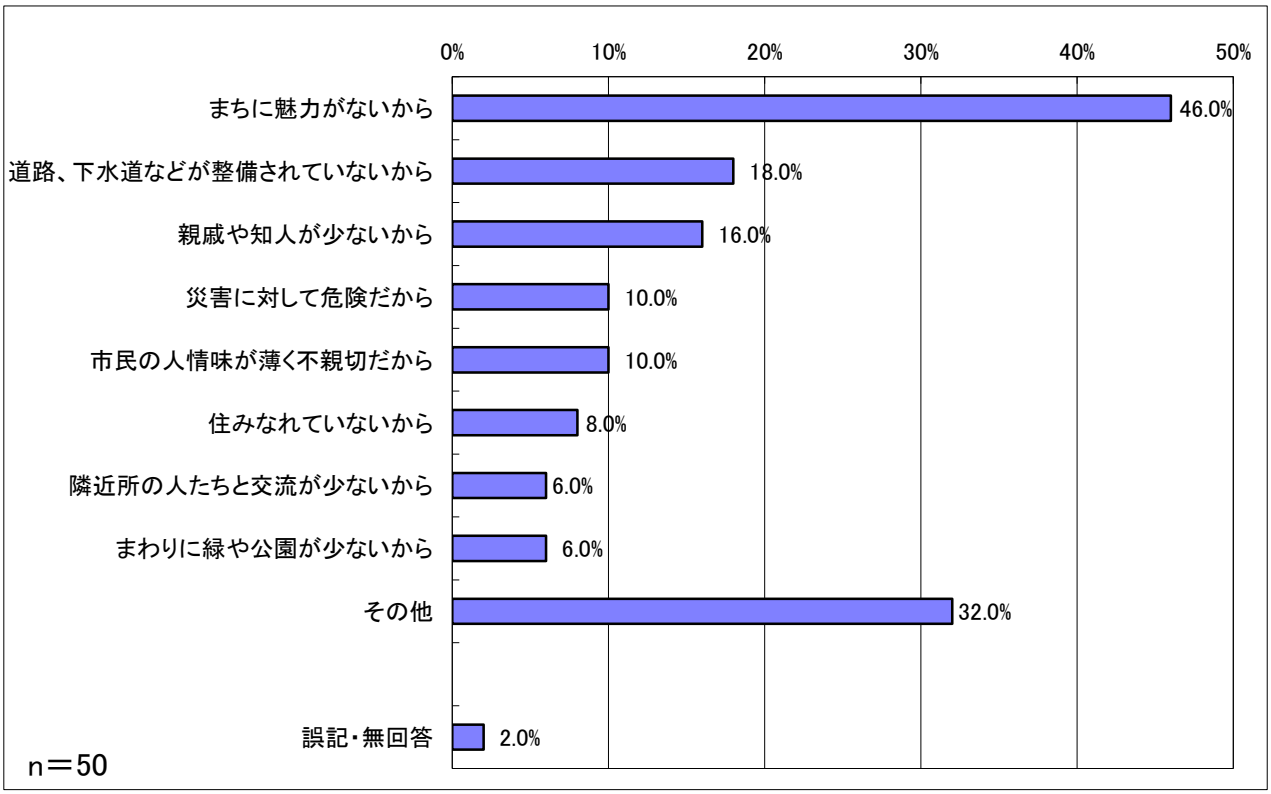
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由は何ですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：50人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	23	46.0%	1
道路、下水道などが整備されていないから	9	18.0%	2
親戚や知人が少ないから	8	16.0%	3
災害に対して危険だから	5	10.0%	4
市民の人情味が薄く不親切だから	5	10.0%	4
住みなれていないから	4	8.0%	6
隣近所の人たちと交流が少ないから	3	6.0%	7
まわりに緑や公園が少ないから	3	6.0%	7
その他	16	32.0%	―
誤記・無回答	1	2.0%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が46.0%と最も多く、次いで「道路、下水道などが整備されていないから」が18.0%、「親戚や知人が少ないから」が16.0%、「災害に対して危険だから」、「市民の人情味が薄く不親切だから」が10.0%と続いています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に多少の変動はありますが、1位は「まちに魅力がないから」となっています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

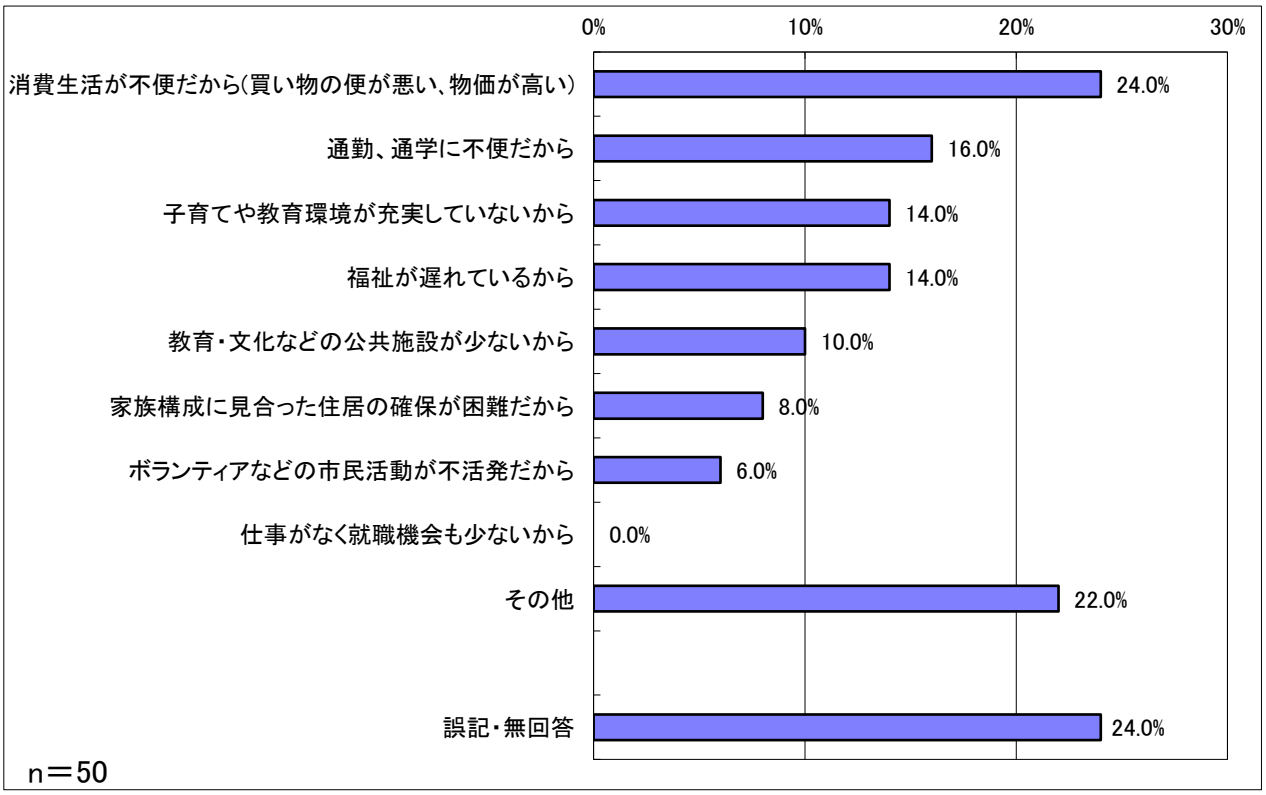
●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	まちに魅力がないから 53.1%	災害に対して危険だから 18.8%	まわりに緑や公園が少ないから 道路、下水道などが整備されていないから 12.5%		親戚や知人が少ないから 9.4%
平成29年度	まちに魅力がないから 42.6%	親戚や知人が少ないから 29.8%	住みなれていないから 14.9%	災害に対して危険だから 隣近所の人たちと交流が少ないから 10.6%	
平成30年度	まちに魅力がないから 36.4%	まわりに緑や公園が少ないから 21.8%	住みなれていないから 親戚や知人が少ないから 18.2%		市民の人情味が薄く不親切だから 7.3%
令和元年度	まちに魅力がないから 53.7%	道路、下水道などが整備されていないから 親戚や知人が少ないから 隣近所の人たちと交流が少ないから 住みなれていないから 9.8%			
今回	まちに魅力がないから 46.0%	道路、下水道などが整備されていないから 18.0%	親戚や知人が少ないから 16.0%	災害に対して危険だから 市民の人情味が薄く不親切だから 10.0%	

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者:50人	件数	割合	順位
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	12	24.0%	1
通勤、通学に不便だから	8	16.0%	2
子育てや教育環境が充実していないから	7	14.0%	3
福祉が遅れているから	7	14.0%	3
教育・文化などの公共施設が少ないから	5	10.0%	5
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	4	8.0%	6
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	3	6.0%	7
仕事がなく就職機会も少ないから	0	0.0%	8
その他	11	22.0%	―
誤記・無回答	12	24.0%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)」(24.0%)が最多でした。次いで、「通勤、通学に不便だから」が16.0%、「子育てや教育環境が充実していないから」、「福祉が遅れているから」が14.0%、「教育・文化などの公共施設が少ないから」が10.0%と続いています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位の構成に大きな変化はありませんが、今年度は「消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い）」が1位となっています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 子育てや教育環境が充実していないから 18.8%			福祉が遅れているから 15.6%	通勤、通学に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから 9.4%
平成29年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.5%	福祉が遅れているから 消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 14.9%		通勤、通学に不便だから 12.8%	子育てや教育環境が充実していないから 10.6%
平成30年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 23.6%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 子育てや教育環境が充実していないから 18.2%		消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 14.5%	通勤、通学に不便だから 10.9%
令和元年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 24.4%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 14.6%	子育てや教育環境が充実していないから 福祉が遅れているから 通勤、通学に不便だから 仕事がなく就職機会も少ないから 9.8%		
今回	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 24.0%	通勤、通学に不便だから 16.0%	子育てや教育環境が充実していないから 福祉が遅れているから 14.0%		教育・文化などの公共施設が少ないから 10.0%

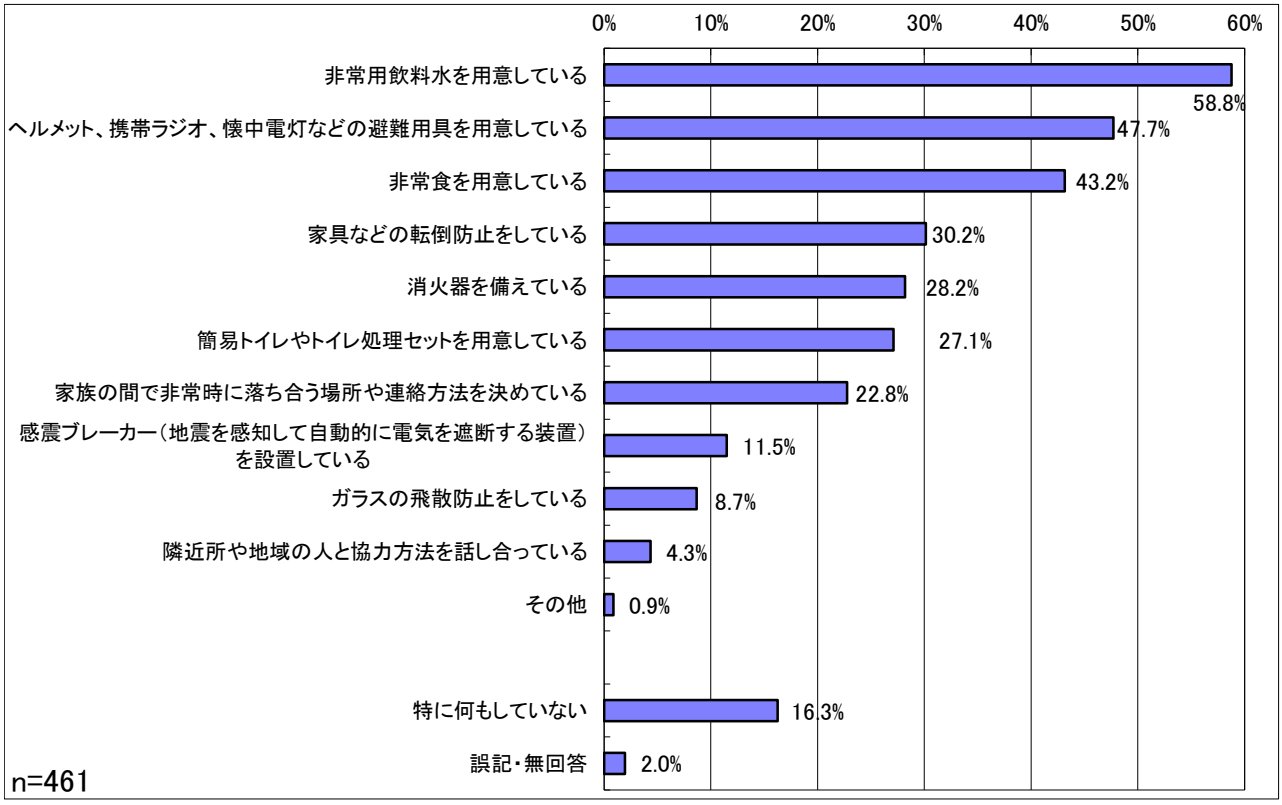
※「その他」は除く

【まちづくり】

＜防災について＞

問6　あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	271	58.8%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	220	47.7%	2
非常食を用意している	199	43.2%	3
家具などの転倒防止をしている	139	30.2%	4
消火器を備えている	130	28.2%	5
簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	125	27.1%	6
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	105	22.8%	7
感震ブレーカー（地震を感知して自動的に電気を遮断する装置）を設置している	53	11.5%	8
ガラスの飛散防止をしている	40	8.7%	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	20	4.3%	10
その他	4	0.9%	―
特に何もしていない	75	16.3%	
誤記・無回答	9	2.0%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が58.8%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」が47.7%、「非常食を用意している」が43.2%となっており、物品の備えに関することが上位になりました。

また、およそ82%の人が何らかの災害に対する備えをしていると回答しています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、「非常用飲料水を用意している」、「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった上位3位までの構成に変化はありません。

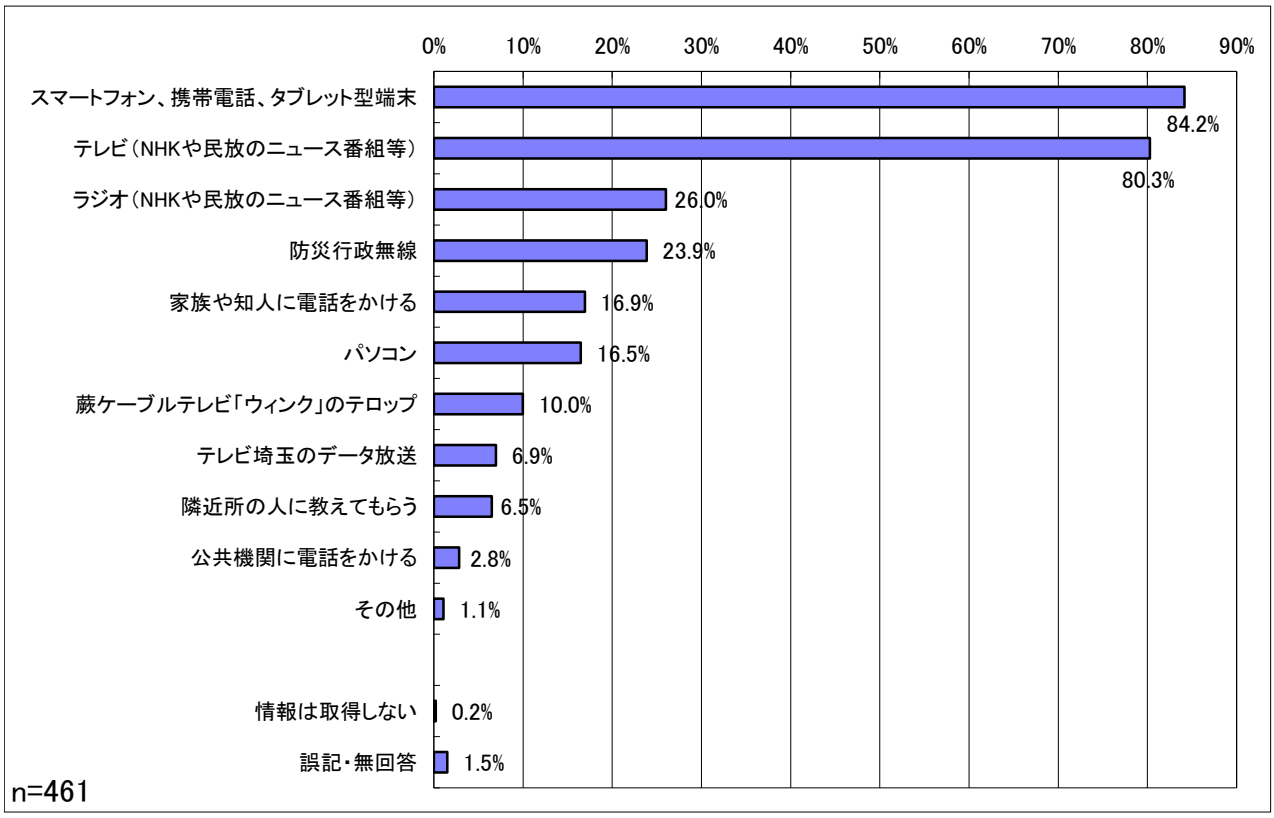
●災害に備えて準備していること 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	非常用飲料水を用意している 54.6%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 49.6%	非常食を用意している 39.2%	消火器を備えている 34.8%	家具などの転倒防止をしている 31.0%
平成29年度	非常用飲料水を用意している 54.3%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.2%	非常食を用意している 36.4%	消火器を備えている 33.4%	家具などの転倒防止をしている 28.5%
平成30年度	非常用飲料水を用意している 51.9%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.5%	非常食を用意している 38.8%	消火器を備えている 34.9%	家具などの転倒防止をしている 32.5%
令和元年度	非常用飲料水を用意している 52.4%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 44.1%	非常食を用意している 40.1%	家具などの転倒防止をしている 35.7%	消火器を備えている 29.6%
今回	非常用飲料水を用意している 58.8%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 47.7%	非常食を用意している 43.2%	家具などの転倒防止をしている 30.2%	消火器を備えている 28.2%

※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問7　あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末	388	84.2%	1
テレビ（NHKや民放のニュース番組等）	370	80.3%	2
ラジオ（NHKや民放のニュース番組等）	120	26.0%	3
防災行政無線	110	23.9%	4
家族や知人に電話をかける	78	16.9%	5
パソコン	76	16.5%	6
蕨ケーブルテレビ「ウィンク」のテロップ	46	10.0%	7
テレビ埼玉のデータ放送	32	6.9%	8
隣近所の人に教えてもらう	30	6.5%	9
公共機関に電話をかける	13	2.8%	10
その他	5	1.1%	―
情報は取得しない	1	0.2%	
誤記・無回答	7	1.5%	



災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末」が84.2%で最も多く、次いで「テレビ（NHKや民放のニュース番組等）」が80.3%となっています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位の構成に大きな変化はありませんが、「スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末」の割合が上昇しており、情報取得媒体としての重要度が高まっている傾向が見られます。

●災害発生時の情報取得方法 上位5位（平成28年度からの推移）

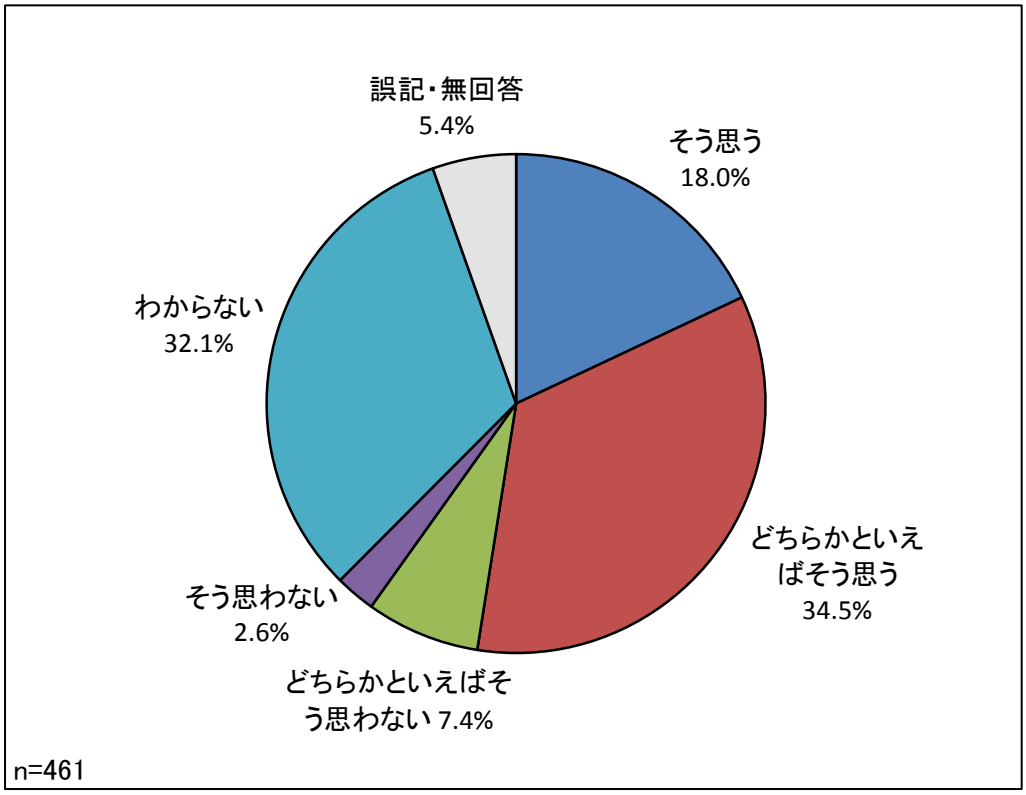
	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 82.1%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 64.1%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 38.6%	防災行政無線 22.8%	家族や知人に電話をかける 20.5%
平成29年度	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 78.4%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 69.8%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 34.6%	防災行政無線 29.9%	家族や知人に電話をかける 22.5%
平成30年度	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 76.0%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 73.1%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 38.6%	防災行政無線 27.5%	家族や知人に電話をかける 22.4%
令和元年度	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 79.7%	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 78.8%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 28.0%	防災行政無線 26.1%	家族や知人に電話をかける 21.9%
今回	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 84.2%	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 80.3%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 26.0%	防災行政無線 23.9%	家族や知人に電話をかける 16.9%

※平成28年度に選択肢の表現を見直し

＜子育てについて＞

問8　蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
そう思う	83	18.0%	3
どちらかといえばそう思う	159	34.5%	1
どちらかといえばそう思わない	34	7.4%	4
そう思わない	12	2.6%	5
わからない	148	32.1%	2
誤記・無回答	25	5.4%	

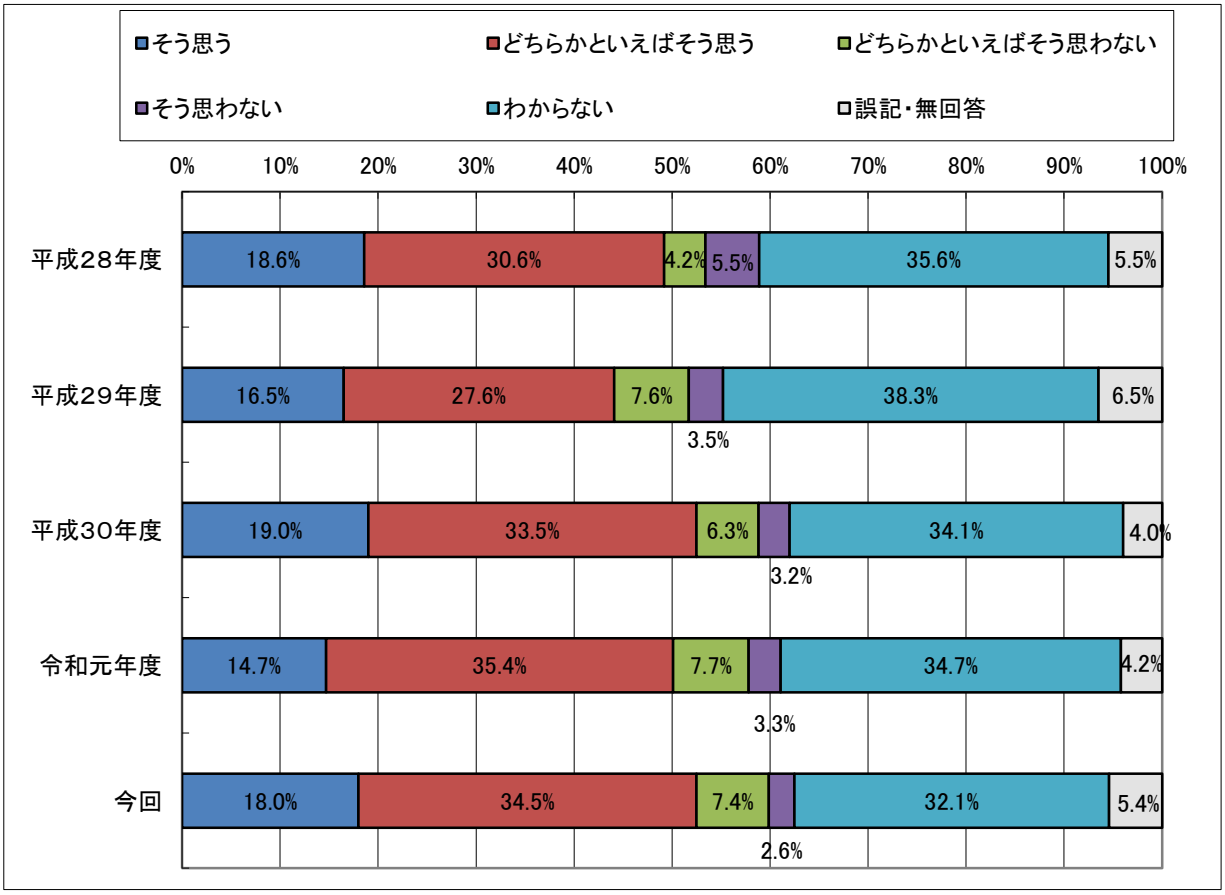


蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」18.0%、「どちらかといえばそう思う」34.5%を合わせると52.5%となり、半数以上の人が子育てしやすいまちと感じていることがわかります。
一方、「わからない」との回答も32.1%に上っています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、近年50％程度で推移しています。

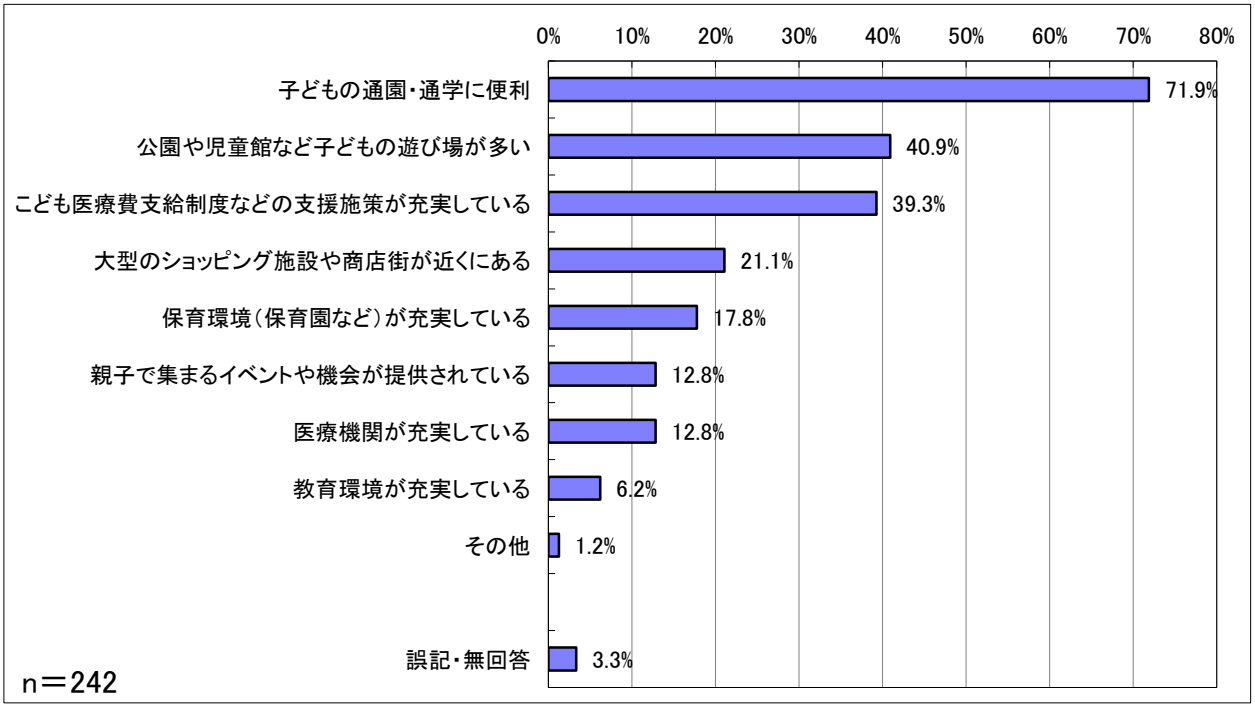
●子育てについて（平成28年度からの推移）



問8で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人のみ回答

問9　子育てがしやすいと思う理由は何ですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：242人	件数	割合	順位
子どもの通園・通学に便利	174	71.9%	1
公園や児童館など子どもの遊び場が多い	99	40.9%	2
こども医療費支給制度などの支援施策が充実している	95	39.3%	3
大型のショッピング施設や商店街が近くにある	51	21.1%	4
保育環境（保育園など）が充実している	43	17.8%	5
親子で集まるイベントや機会が提供されている	31	12.8%	6
医療機関が充実している	31	12.8%	6
教育環境が充実している	15	6.2%	8
その他	3	1.2%	－
誤記・無回答	8	3.3%	



蕨市が子育てしやすいまちだと感じている人に、その理由をたずねたところ、1位は「子どもの通園・通学に便利」で71.9%、次いで、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が40.9%、「こども医療費支給制度などの支援施策が充実している」が39.3%、「大型のショッピング施設や商店街が近くにある」が21.1%と続いています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、1位に変化はなく、「子どもの通園・通学に便利」が70％前後で推移しています。

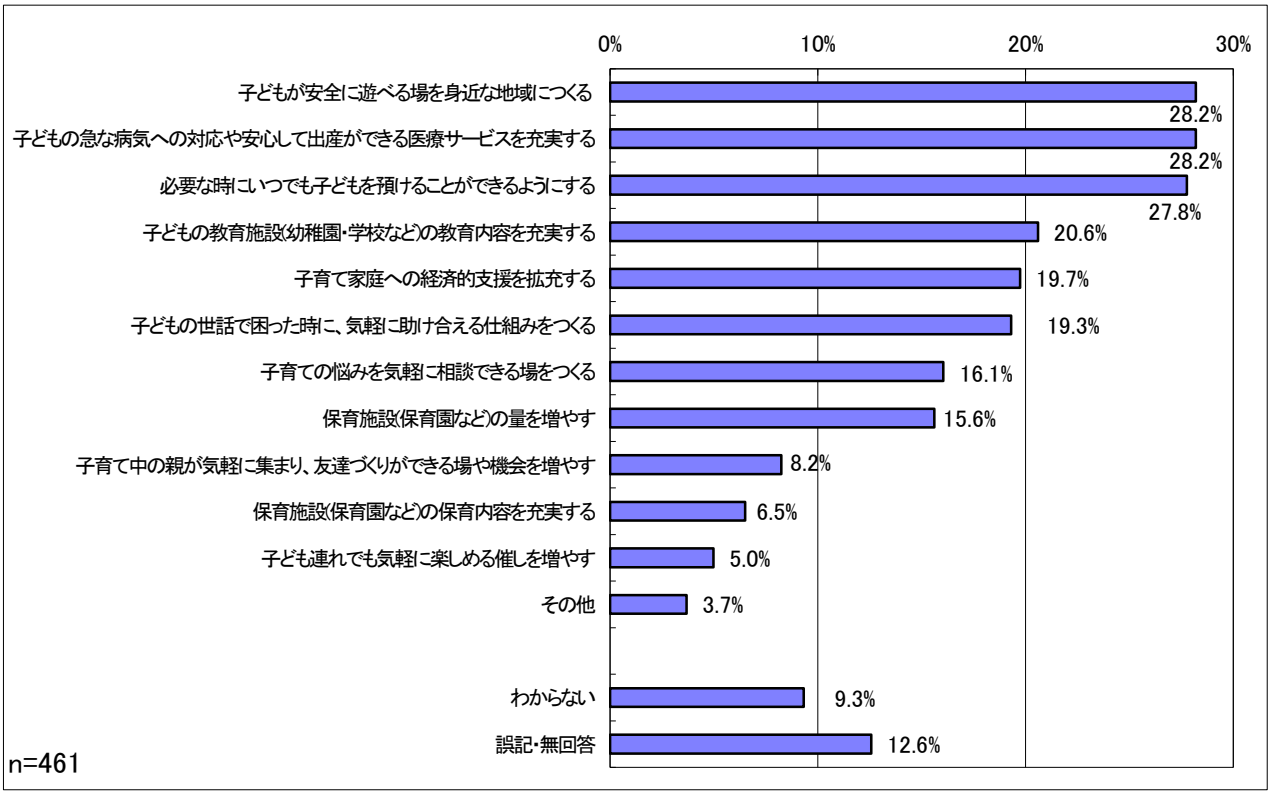
●子育てがしやすいと思う理由 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	子どもの通園・通学に便利 71.6%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 45.3%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 37.4%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 28.9%	医療機関が充実している 20.0%
平成29年度	子どもの通園・通学に便利 70.8%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 42.1%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 36.5%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 34.3%	親子で集まるイベントや機会が提供されている 16.3%
平成30年度	子どもの通園・通学に便利 65.3%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 40.0%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 35.5%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 29.1%	医療機関が充実している 17.0%
令和元年度	子どもの通園・通学に便利 67.0%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 40.9%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 36.7%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 26.5%	保育環境（保育園など）が充実している 17.7%
今回	子どもの通園・通学に便利 71.9%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 40.9%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 39.3%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 21.1%	保育環境（保育園など）が充実している 17.8%

※平成30年度に選択肢を見直し

問10 蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	130	28.2%	1
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	130	28.2%	1
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	128	27.8%	3
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	95	20.6%	4
子育て家庭への経済的支援を拡充する	91	19.7%	5
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	89	19.3%	6
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	74	16.1%	7
保育施設(保育園など)の量を増やす	72	15.6%	8
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	38	8.2%	9
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	30	6.5%	10
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	23	5.0%	11
その他	17	3.7%	―
わからない	43	9.3%	
誤記・無回答	58	12.6%	



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が28.2%で最も多く、次いで「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が27.8%と続いています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、順位の変動はあるものの、上位3位までの構成に大きな変化はありませんが、今年度は、「子どもの教育施設（幼稚園・学校など）の教育内容を充実する」が20.6％となり、4位となっています。

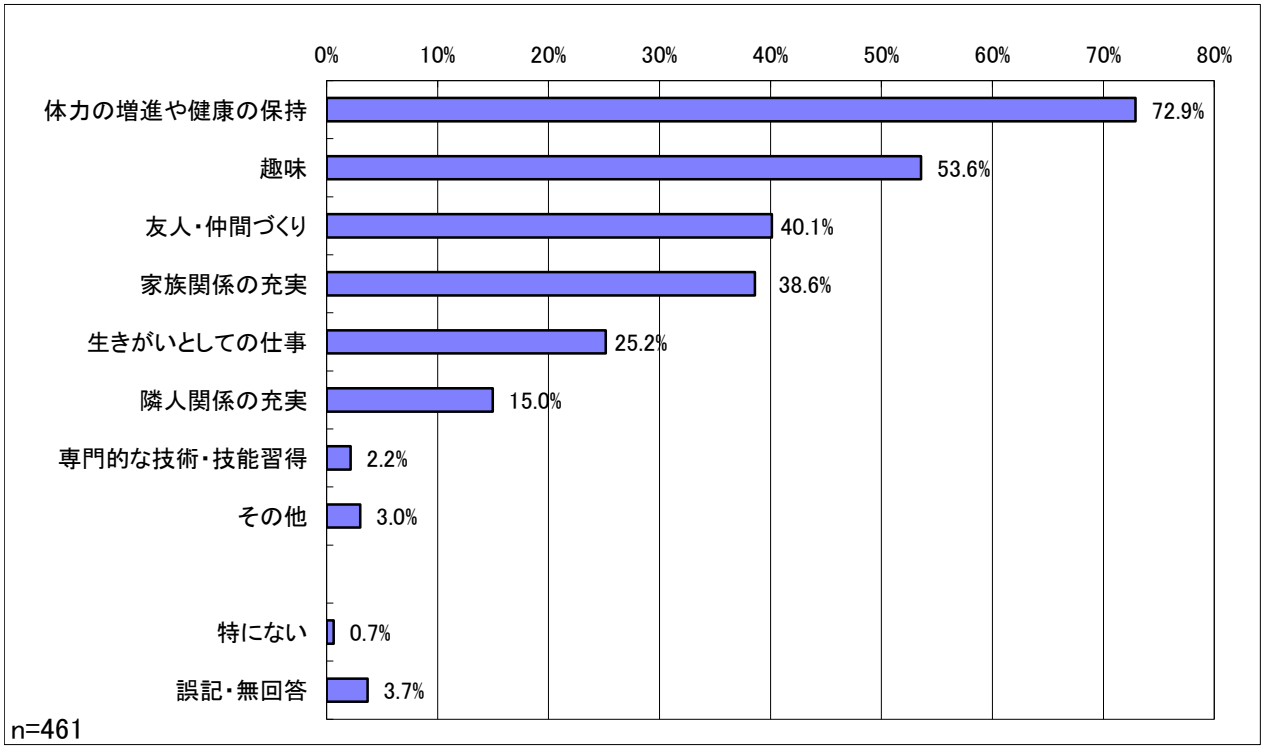
●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 32.1%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.4%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 23.0%		子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.7%
平成29年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 29.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 26.0%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 20.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.7%
平成30年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 31.3%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.7%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 24.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.8%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 18.0%
令和元年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 28.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 25.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 23.8%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 21.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 18.9%
今回	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 28.2%		必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.8%	子どもの教育施設（幼稚園・学校など）の教育内容を充実する 20.6%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.7%

＜高齢期に大切なことについて＞

問11 あなたが高齢期を迎える（迎えた）ときに何が大切だと思いますか。
（○印は3つ以内）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	336	72.9%	1
趣味	247	53.6%	2
友人・仲間づくり	185	40.1%	3
家族関係の充実	178	38.6%	4
生きがいとしての仕事	116	25.2%	5
隣人関係の充実	69	15.0%	6
専門的な技術・技能習得	10	2.2%	7
その他	14	3.0%	―
特にない	3	0.7%	
誤記・無回答	17	3.7%	



高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が72.9％で最も多く、次いで、「趣味」が53.6％、「友人・仲間づくり」が40.1％、「家族関係の充実」が38.6％となっています。

＜経年変化＞

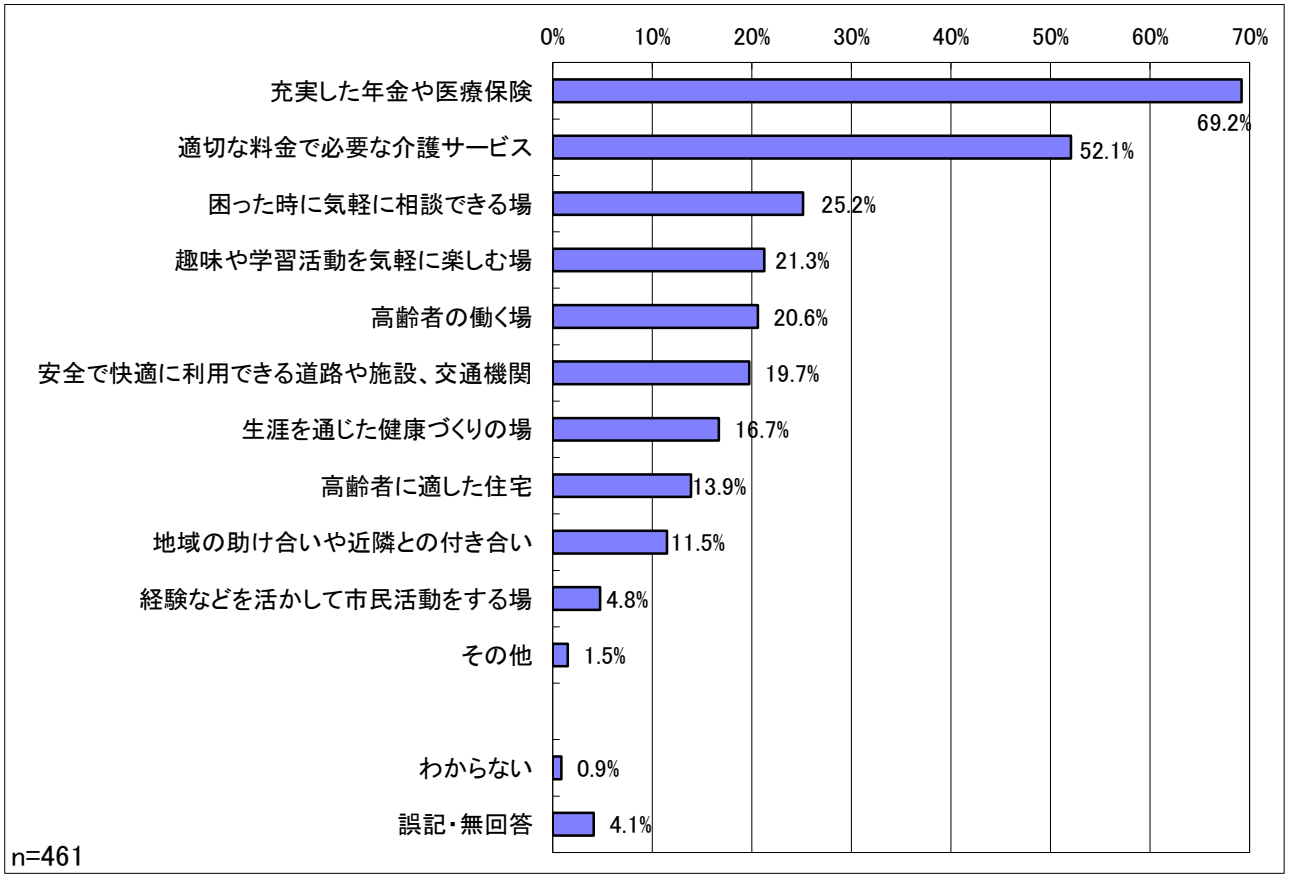
平成28年度からの推移を見ると、上位項目の構成に変化はなく、「体力の増進や健康の保持」、「趣味」、「友人・仲間づくり」が上位となっています。

●高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うこと 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	体力の増進や健康の保持 68.6%	趣味 57.6%	友人・仲間づくり 48.5%	家族関係の充実 37.3%	生きがいとしての仕事／隣人関係の充実 18.1%
平成29年度	体力の増進や健康の保持 70.1%	趣味 49.7%	友人・仲間づくり 44.3%	家族関係の充実 37.6%	生きがいとしての仕事 23.7%
平成30年度	体力の増進や健康の保持 74.5%	趣味 49.5%	友人・仲間づくり 41.8%	家族関係の充実 32.7%	生きがいとしての仕事 24.6%
令和元年度	体力の増進や健康の保持 71.6%	趣味 52.2%	友人・仲間づくり 44.1%	家族関係の充実 33.1%	生きがいとしての仕事 25.4%
今回	体力の増進や健康の保持 72.9%	趣味 53.6%	友人・仲間づくり 40.1%	家族関係の充実 38.6%	生きがいとしての仕事 25.2%

問12 高齢期を生き生きと過ごせるまちにするため、どのような環境が大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者:461人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	319	69.2%	1
適切な料金で必要な介護サービス	240	52.1%	2
困った時に気軽に相談できる場	116	25.2%	3
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	98	21.3%	4
高齢者の働く場	95	20.6%	5
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	91	19.7%	6
生涯を通じた健康づくりの場	77	16.7%	7
高齢者に適した住宅	64	13.9%	8
地域の助け合いや近隣との付き合い	53	11.5%	9
経験などを活かして市民活動をする場	22	4.8%	10
その他	7	1.5%	－
わからない	4	0.9%	
誤記・無回答	19	4.1%	



高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が69.2%で最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」の52.1%と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、3位以下の項目は毎年入れ替わっていますが、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

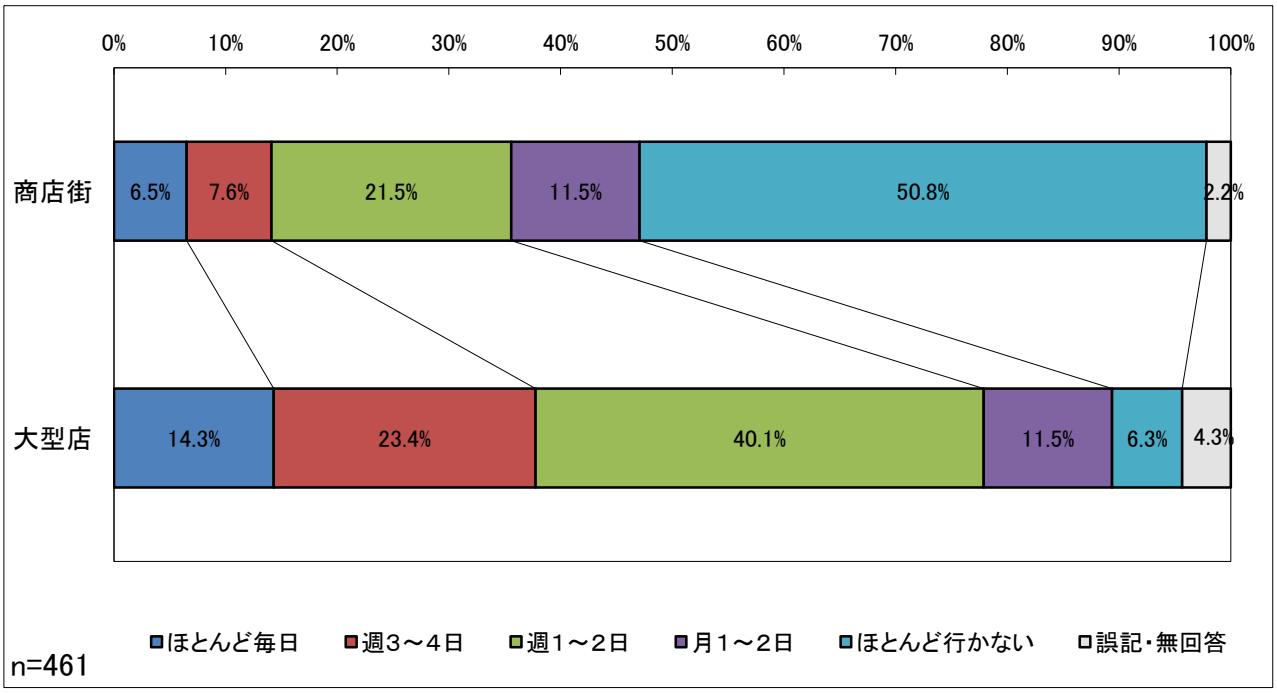
●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	充実した年金や医療保険 68.1%	適切な料金で必要な介護サービス 54.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.6%	生涯を通じた健康づくりの場 19.8%	高齢者の働く場 19.4%
平成29年度	充実した年金や医療保険 65.9%	適切な料金で必要な介護サービス 53.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 24.1%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.0%	高齢者の働く場 21.1%
平成30年度	充実した年金や医療保険 64.2%	適切な料金で必要な介護サービス 49.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 24.8%	困った時に気軽に相談できる場 23.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.2%
令和元年度	充実した年金や医療保険 65.3%	適切な料金で必要な介護サービス 55.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.9%	高齢者の働く場 23.3%	困った時に気軽に相談できる場 20.3%
今回	充実した年金や医療保険 69.2%	適切な料金で必要な介護サービス 52.1%	困った時に気軽に相談できる場 25.2%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 21.3%	高齢者の働く場 20.6%

＜まちのにぎわいについて＞

問13 買い物についてお伺いします。あなたが商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。（○印はそれぞれ1つ）

	商店街			大型店		
回答対象者：461人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	30	6.5%	5	66	14.3%	3
週3～4日	35	7.6%	4	108	23.4%	2
週1～2日	99	21.5%	2	185	40.1%	1
月1～2日	53	11.5%	3	53	11.5%	4
ほとんど行かない	234	50.8%	1	29	6.3%	5
誤記・無回答	10	2.2%		20	4.3%	



商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」の割合の合計は、商店街の35.6％に対し、大型店は77.8％で2倍以上になっています。

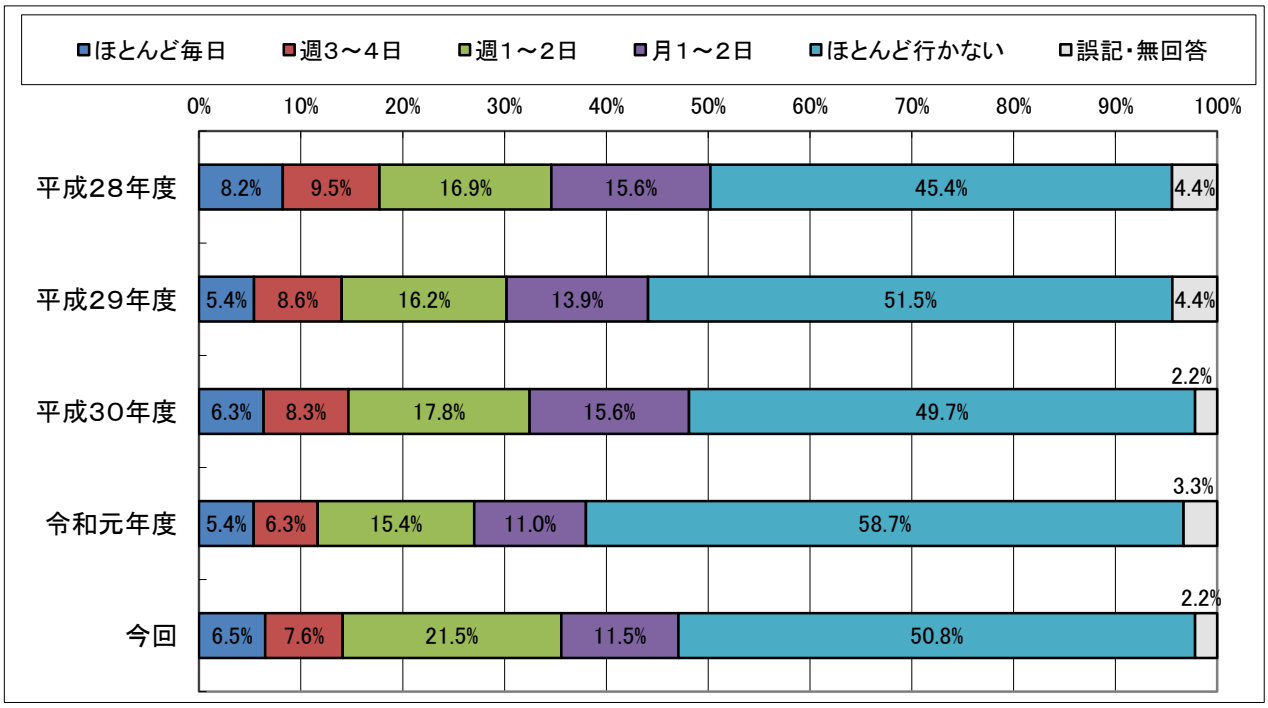
また、「ほとんど行かない」が商店街の50.8％に対し、大型店は6.3％となっています。

＜経年変化＞

【商店街】

平成28年度からの推移を見ると、商店街に買い物に行く頻度は、週1回以上の方が概ね30％前後で推移しておりますが、今年度は前年度から8.5ポイント上昇しています。

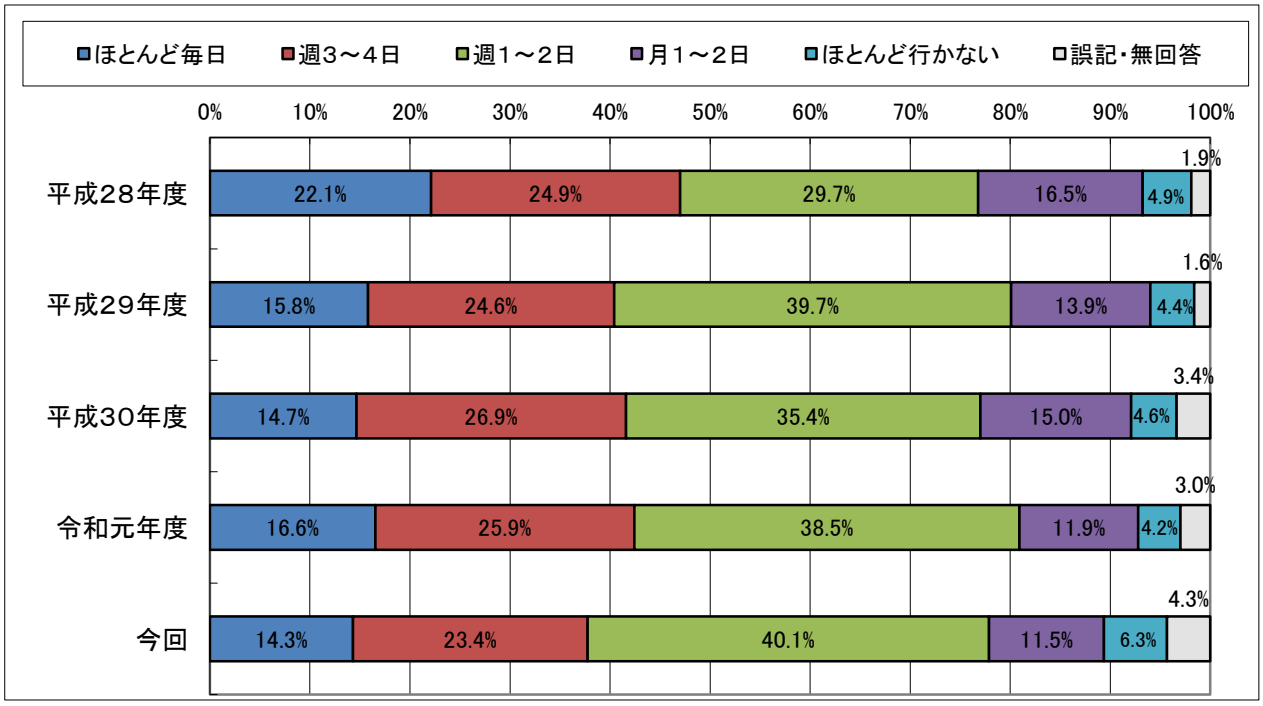
●商店街に買い物に行く頻度（平成28年度からの推移）



【大型店】

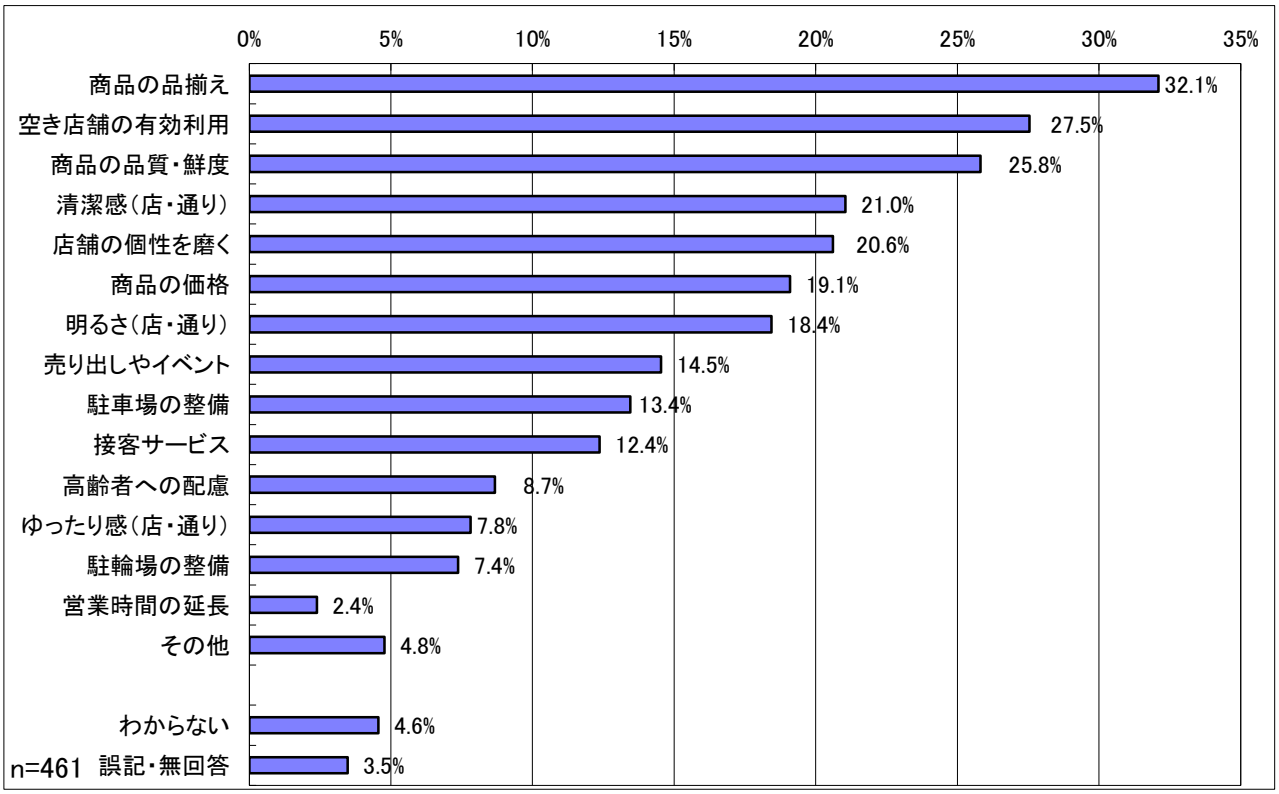
平成28年度からの推移を見ると、大型店に買い物に行く頻度が週1日以上の方がおおむね8割前後で推移しています。

●大型店に買い物に行く頻度（平成28年度からの推移）



問14 商店街の活性化についてお伺いします。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。（○印は3つ以内）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
商品の品揃え	148	32.1%	1
空き店舗の有効利用	127	27.5%	2
商品の品質・鮮度	119	25.8%	3
清潔感（店・通り）	97	21.0%	4
店舗の個性を磨く	95	20.6%	5
商品の価格	88	19.1%	6
明るさ（店・通り）	85	18.4%	7
売り出しやイベント	67	14.5%	8
駐車場の整備	62	13.4%	9
接客サービス	57	12.4%	10
高齢者への配慮	40	8.7%	11
ゆったり感（店・通り）	36	7.8%	12
駐輪場の整備	34	7.4%	13
営業時間の延長	11	2.4%	14
その他	22	4.8%	―
わからない	21	4.6%	
誤記・無回答	16	3.5%	



商店街に望むことについてたずねたところ、「商品の品揃え」が32.1%と最も多く、次いで「空き店舗の有効利用」が27.5%、「商品の品質・鮮度」が25.8%となっています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位項目の構成に大きな変化は見られませんが、近年では、「商品の品揃え」、「空き店舗の有効利用」が上位となっています。

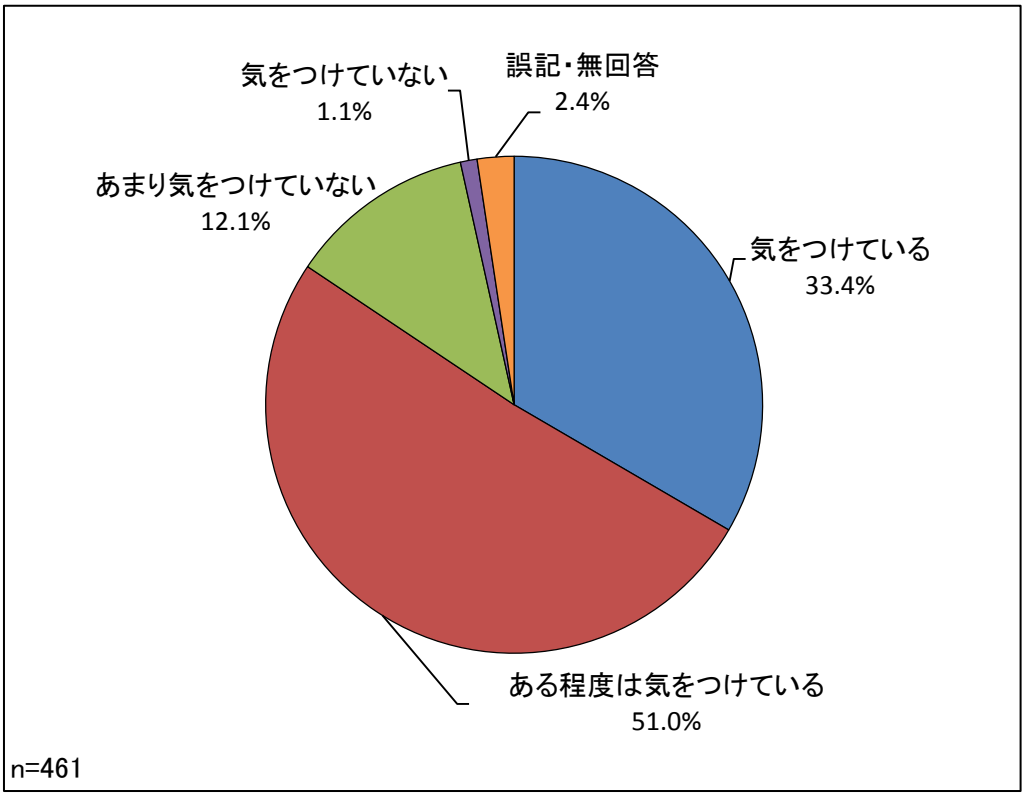
●商店街に望むこと 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	空き店舗の有効利用 30.4%	商品の品揃え 28.1%	商品の品質・鮮度 27.6%	店舗の個性を磨く 26.6%	商品の価格 21.9%
平成29年度	空き店舗の有効利用 28.1%	商品の品揃え 26.7%	商品の品質・鮮度 25.5%	商品の価格 22.5%	店舗の個性を磨く 20.2%
平成30年度	空き店舗の有効利用 28.9%	商品の品揃え 26.7%	店舗の個性を磨く 商品の品質・鮮度 25.5%		商品の価格 23.6%
令和元年度	商品の品揃え 26.1%	空き店舗の有効利用 25.6%	商品の品質・鮮度 24.2%	商品の価格 21.7%	店舗の個性を磨く 21.2%
今回	商品の品揃え 32.1%	空き店舗の有効利用 27.5%	商品の品質・鮮度 25.8%	清潔感（店・通り） 21.0%	店舗の個性を磨く 20.6%

＜健康づくり、運動・スポーツについて＞

問15　あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。（○印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
気をつけている	154	33.4%	2
ある程度は気をつけている	235	51.0%	1
あまり気をつけていない	56	12.1%	3
気をつけていない	5	1.1%	4
誤記・無回答	11	2.4%	

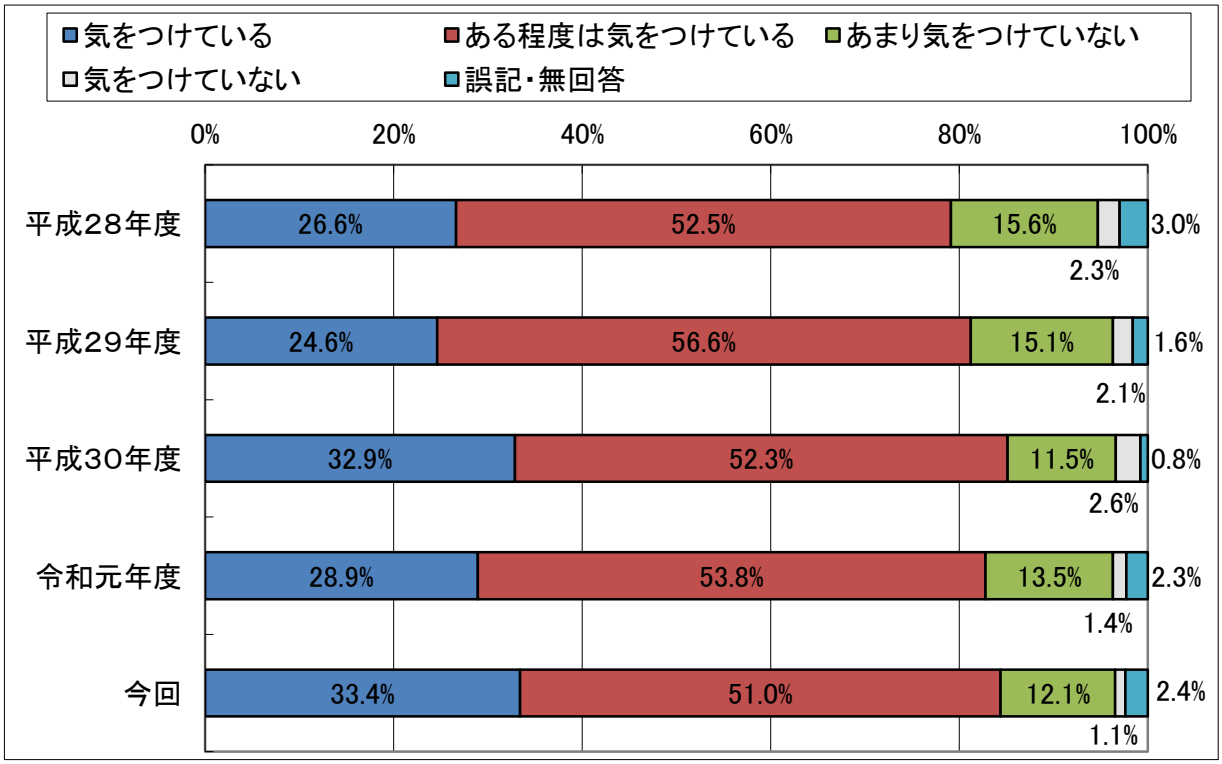


自分の健康にどのくらい気をつけているかたずねたところ、「気をつけている」、「ある程度は気をつけている」を合わせると、84.4％の人が日頃から自分の健康に気をつけているという結果になっています。

＜経年変化＞

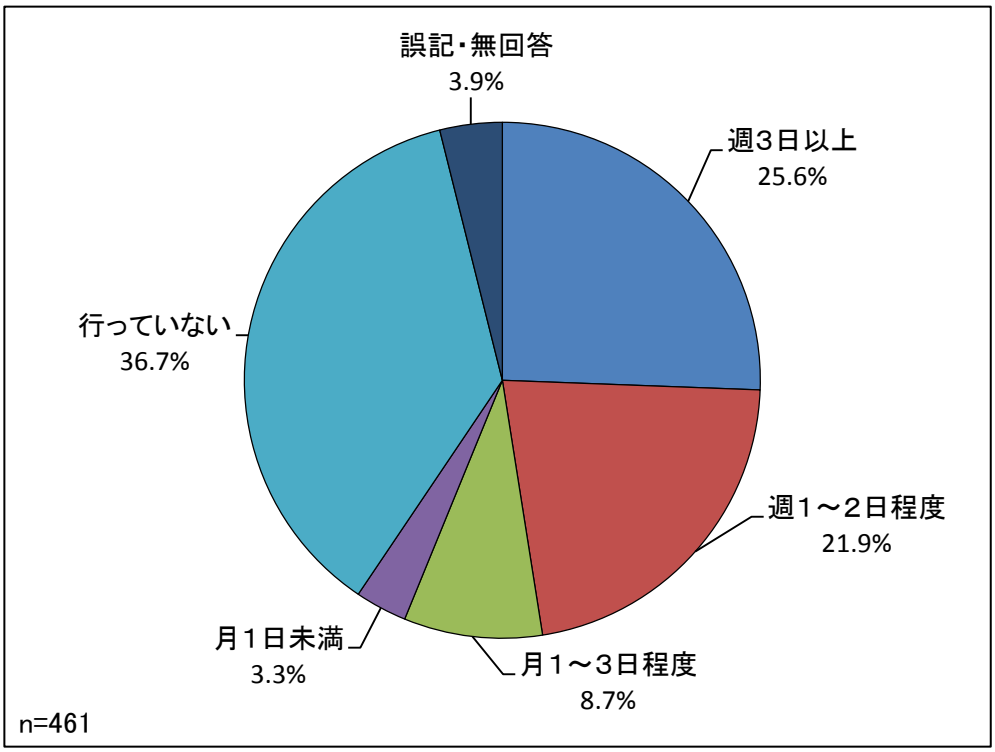
平成28年度からの推移を見ると、日頃、自分の健康に気をつけている人の割合は、おおむね80％程度で横ばい傾向となっています。

●健康に対する意識（平成28年度からの推移）



問16	健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。（○印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
週3日以上	118	25.6%	2
週1～2日程度	101	21.9%	3
月1～3日程度	40	8.7%	4
月1日未満	15	3.3%	5
行っていない	169	36.7%	1
誤記・無回答	18	3.9%	

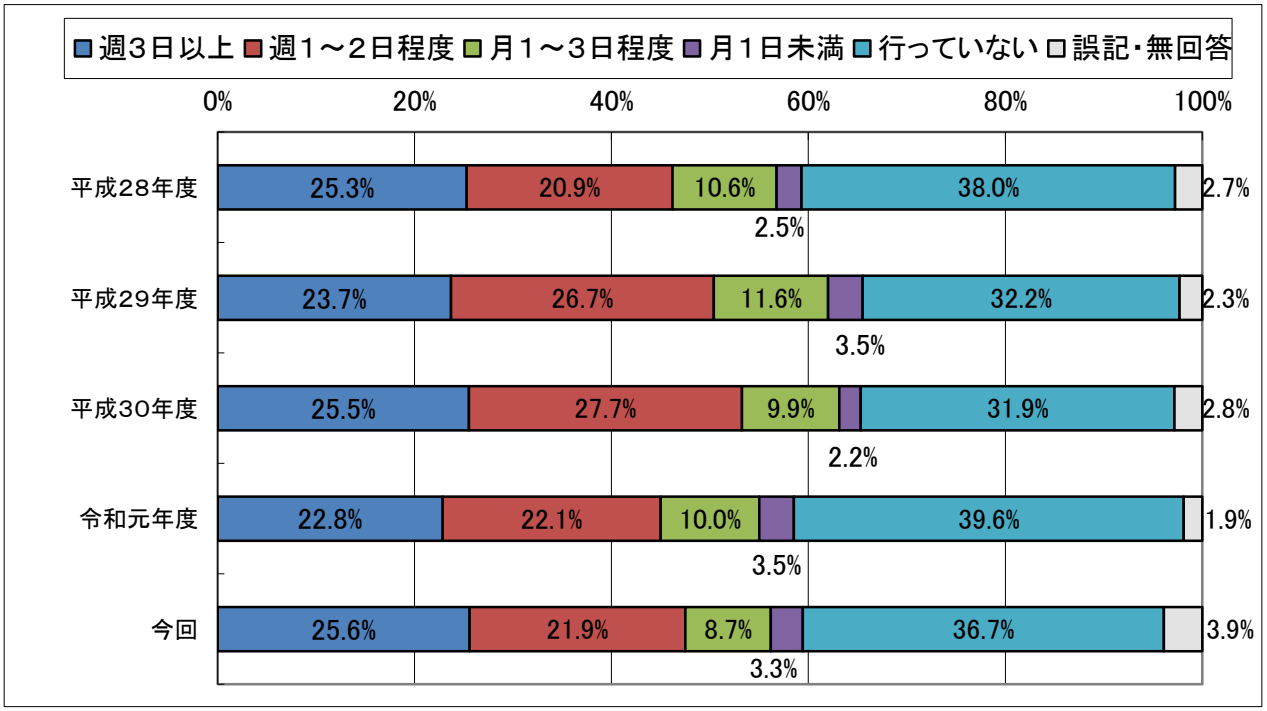


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、運動・スポーツを行っている人の中では、「週3日以上」が25.6%で最も多く、次いで「週1～2日程度」が21.9%、「月1～3日程度」が8.7%と続いており、およそ48%の人が、週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

＜経年変化＞

運動・スポーツをしている頻度について平成28年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50％前後で推移しています。

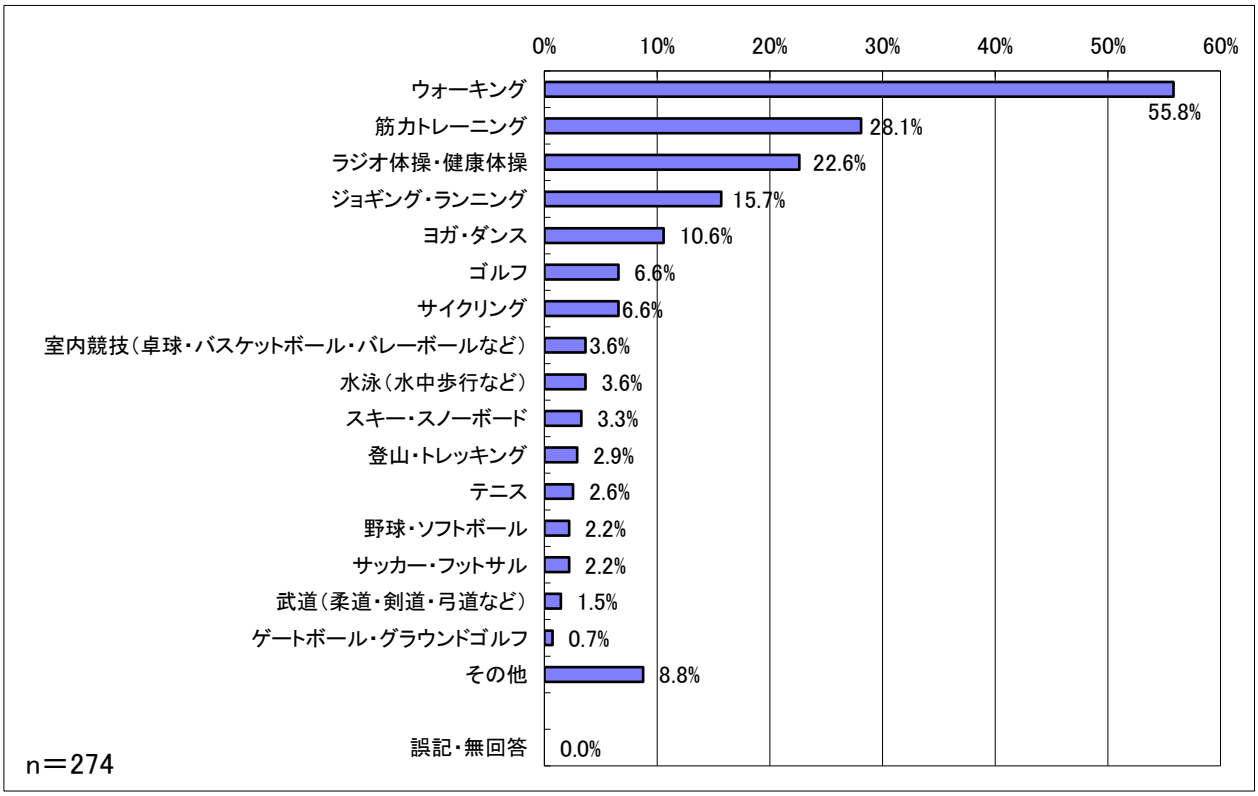
●運動・スポーツをしている頻度（平成28年度からの推移）



問16で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問17　あなたは、主にどのような運動・スポーツをしていますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：274人	件数	割合	順位
ウォーキング	153	55.8%	1
筋力トレーニング	77	28.1%	2
ラジオ体操・健康体操	62	22.6%	3
ジョギング・ランニング	43	15.7%	4
ヨガ・ダンス	29	10.6%	5
ゴルフ	18	6.6%	6
サイクリング	18	6.6%	6
室内競技（卓球・バスケットボール・バレーボールなど）	10	3.6%	8
水泳（水中歩行など）	10	3.6%	8
スキー・スノーボード	9	3.3%	10
登山・トレッキング	8	2.9%	11
テニス	7	2.6%	12
野球・ソフトボール	6	2.2%	13
サッカー・フットサル	6	2.2%	13
武道（柔道・剣道・弓道など）	4	1.5%	15
ゲートボール・グラウンドゴルフ	2	0.7%	16
その他	24	8.8%	―
誤記・無回答	0	0.0%	



最も行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で55.8%、次いで「筋力トレーニング」が28.1%、「ラジオ体操・健康体操」が22.6%となっています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「ウォーキング」が50％強の割合で推移しています。

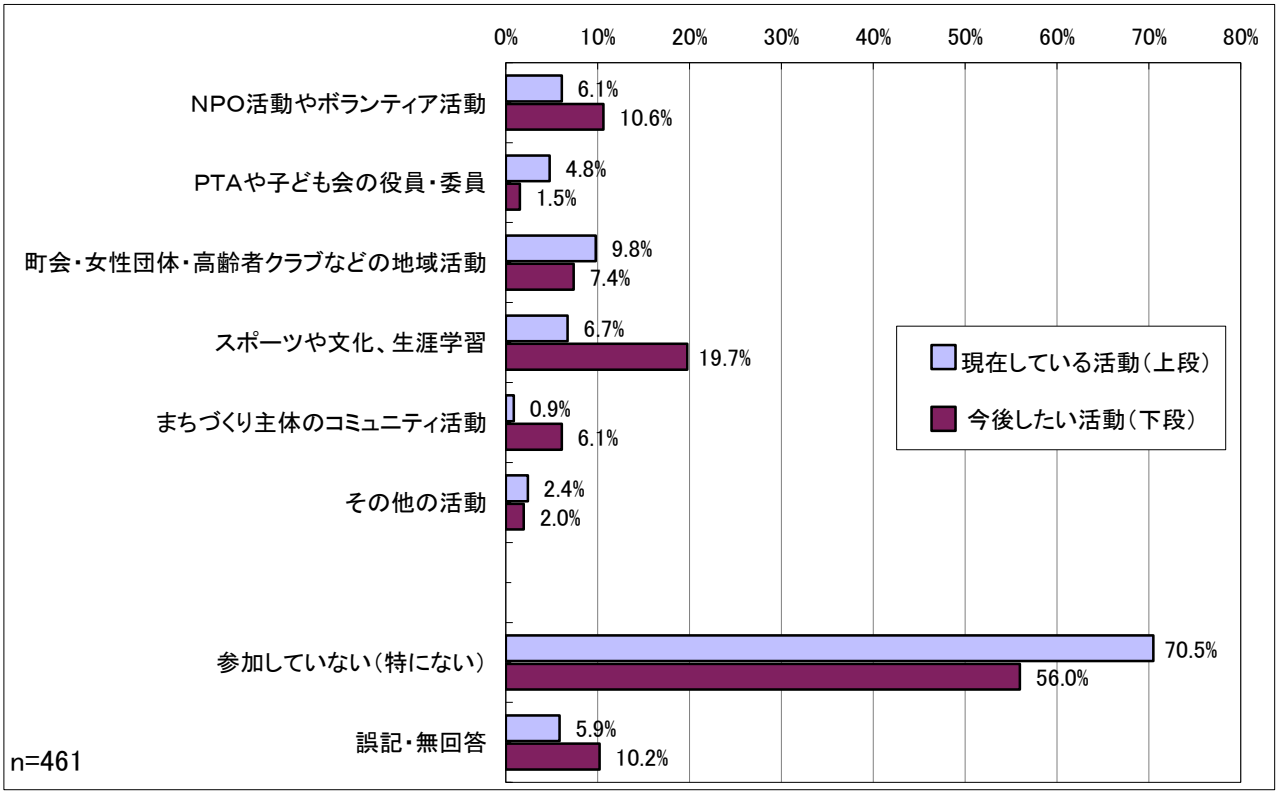
●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	ウォーキング 55.2%	ラジオ体操・健康体操 21.0%	筋力トレーニング 17.8%	ジョギング・ランニング 12.8%	ヨガ・ダンス 11.0%
平成29年度	ウォーキング 55.7%	筋力トレーニング 20.6%	ラジオ体操・健康体操 17.0%	ジョギング・ランニング 16.3%	ヨガ・ダンス 10.3%
平成30年度	ウォーキング 56.7%	ラジオ体操・健康体操 24.5%	筋力トレーニング 23.9%	ジョギング・ランニング 12.7%	ヨガ・ダンス 11.5%
令和元年度	ウォーキング 51.0%	筋力トレーニング 26.3%	ラジオ体操・健康体操 17.9%	ヨガ・ダンス 17.1%	ジョギング・ランニング 12.0%
今回	ウォーキング 55.8%	筋力トレーニング 28.1%	ラジオ体操・健康体操 22.6%	ジョギング・ランニング 15.7%	ヨガ・ダンス 10.6%

＜市民活動について＞

問18	あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。 （○印はそれぞれいくつでも）

	現在している活動			今後したい活動		
回答対象者：461人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	28	6.1%	3	49	10.6%	2
PTAや子ども会の役員・委員	22	4.8%	4	7	1.5%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	45	9.8%	1	34	7.4%	3
スポーツや文化、生涯学習	31	6.7%	2	91	19.7%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	4	0.9%	5	28	6.1%	4
その他の活動	11	2.4%	―	9	2.0%	―
参加していない（特にない）	325	70.5%		258	56.0%	
誤記・無回答	27	5.9%		47	10.2%	



現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が9.8%で最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習」の6.7%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の19.7%が最も多く、次いで「NPO活動やボランティア活動の10.6%となっています。

＜経年変化＞

【現在の状況】

現在している市民活動について、平成28年度からの推移を見ると、1位には「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」、2位には「スポーツや文化、生涯学習」が続いています。

●現在している市民活動 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成28年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.2%	スポーツや文化、生涯学習 11.0%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.7%	63.9%
平成29年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.7%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 4.2%	NPO活動やボランティア活動 3.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 1.6%	65.0%
平成30年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 11.9%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 6.1%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 3.6%	66.1%
令和元年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、生涯学習 4.9%	PTAや子ども会の役員・委員 4.4%	NPO活動やボランティア活動 4.0%	まちづくり主体のコミュニティ活動 0.7%	71.8%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.8%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	NPO活動やボランティア活動 6.1%	PTAや子ども会の役員・委員 4.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 0.9%	70.5%

※「その他」・「無回答」は除く

【今後の意向】

今後したいと思う市民活動について、平成28年度からの推移を見ると、1位には「スポーツや文化、生涯学習」が続いています。

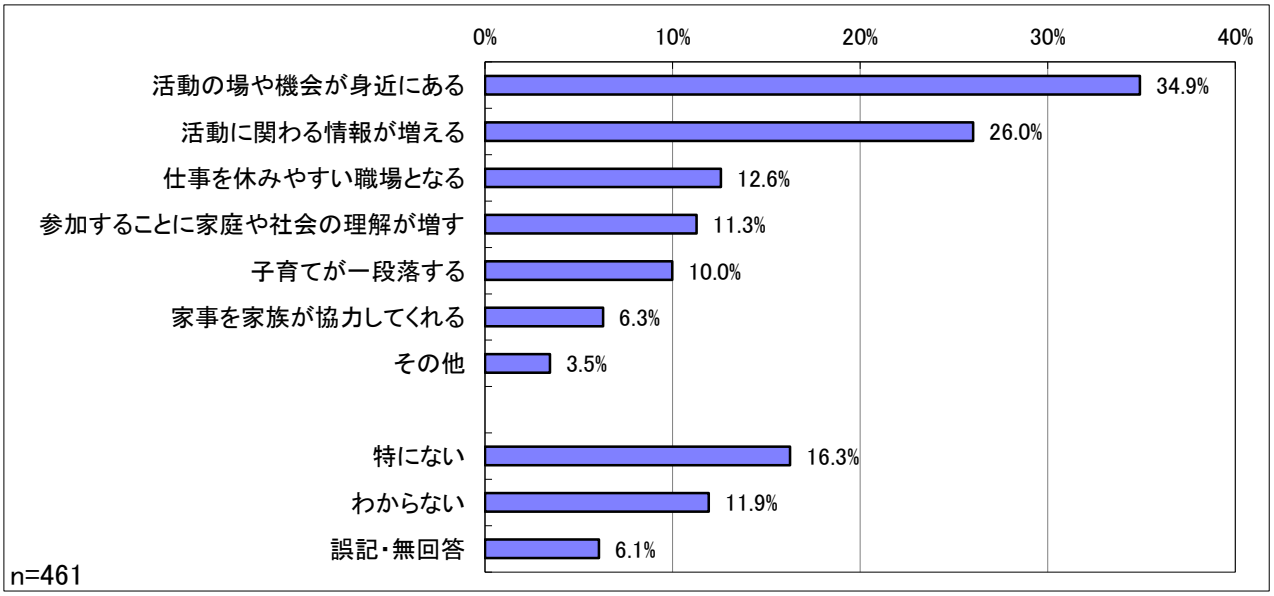
●今後したいと思う市民活動 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成28年度	スポーツや文化、生涯学習 22.2%	NPO活動やボランティア活動 10.8%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.4%	PTAや子ども会の役員・委員 1.7%	53.0%
平成29年度	スポーツや文化、生涯学習 21.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.8%	NPO活動やボランティア活動 8.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	53.4%
平成30年度	スポーツや文化、生涯学習 21.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.9%	NPO活動やボランティア活動 9.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.2%	52.5%
令和元年度	スポーツや文化、生涯学習 17.9%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.3%	NPO活動やボランティア活動 9.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 4.7%	PTAや子ども会の役員・委員 3.3%	57.3%
今回	スポーツや文化、生涯学習 19.7%	NPO活動やボランティア活動 10.6%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 7.4%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.1%	PTAや子ども会の役員・委員 1.5%	56.0%

※「その他」・「無回答」は除く

問19 上記の活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	161	34.9%	1
活動に関わる情報が増える	120	26.0%	2
仕事を休みやすい職場となる	58	12.6%	3
参加することに家庭や社会の理解が増す	52	11.3%	4
子育てが一段落する	46	10.0%	5
家事を家族が協力してくれる	29	6.3%	6
その他	16	3.5%	―
特にない	75	16.3%	
わからない	55	11.9%	
誤記・無回答	28	6.1%	



市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の34.9%、次いで「活動に関わる情報が増える」の26.0%、「仕事を休みやすい職場となる」の12.6%となっています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に変化はなく、1位の「活動の場や機会が身近にある」が30％を超えています。

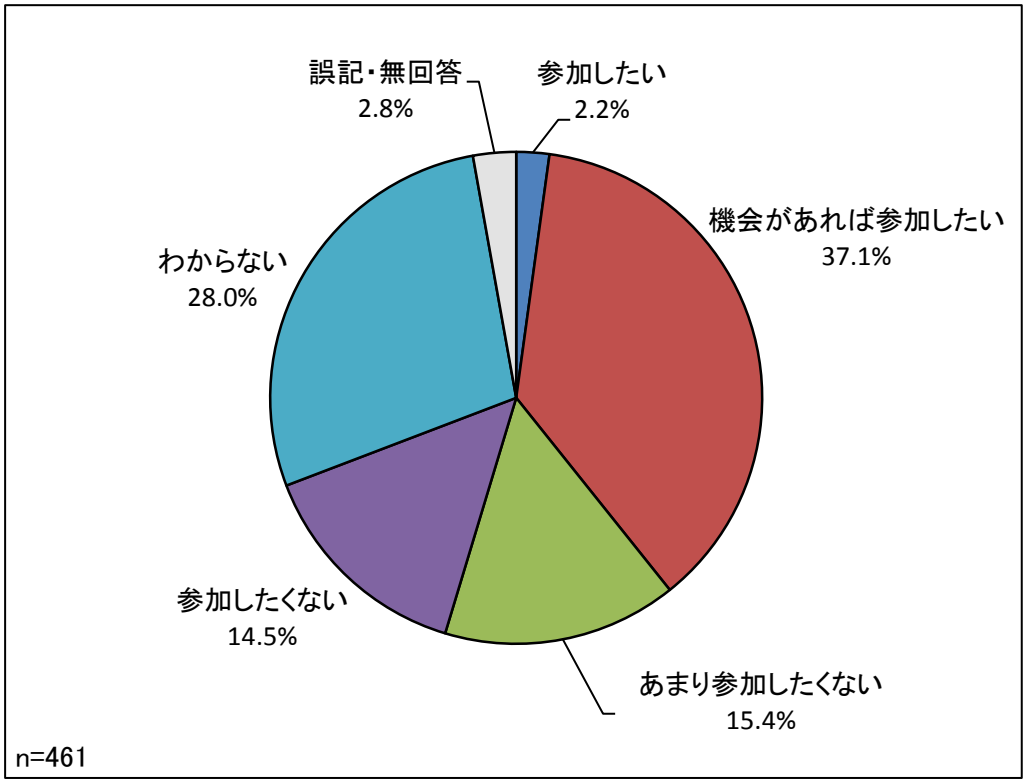
●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	活動の場や機会が身近にある 32.1%	活動に関わる情報が増える 23.8%	仕事を休みやすい職場となる 15.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.7%	子育てが一段落する 10.5%
平成29年度	活動の場や機会が身近にある 35.7%	活動に関わる情報が増える 28.8%	仕事を休みやすい職場となる 13.7%	参加することに家庭や社会の理解が増す 11.4%	子育てが一段落する 9.7%
平成30年度	活動の場や機会が身近にある 35.8%	活動に関わる情報が増える 25.5%	仕事を休みやすい職場となる 16.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.0%	子育てが一段落する 11.7%
令和元年度	活動の場や機会が身近にある 33.6%	活動に関わる情報が増える 28.0%	仕事を休みやすい職場となる 16.3%	参加することに家庭や社会の理解が増す 11.2%	子育てが一段落する 10.7%
今回	活動の場や機会が身近にある 34.9%	活動に関わる情報が増える 26.0%	仕事を休みやすい職場となる 12.6%	参加することに家庭や社会の理解が増す 11.3%	子育てが一段落する 10.0%

＜市民参加について＞

問20　あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
参加したい	10	2.2%	5
機会があれば参加したい	171	37.1%	1
あまり参加したくない	71	15.4%	3
参加したくない	67	14.5%	4
わからない	129	28.0%	2
誤記・無回答	13	2.8%	

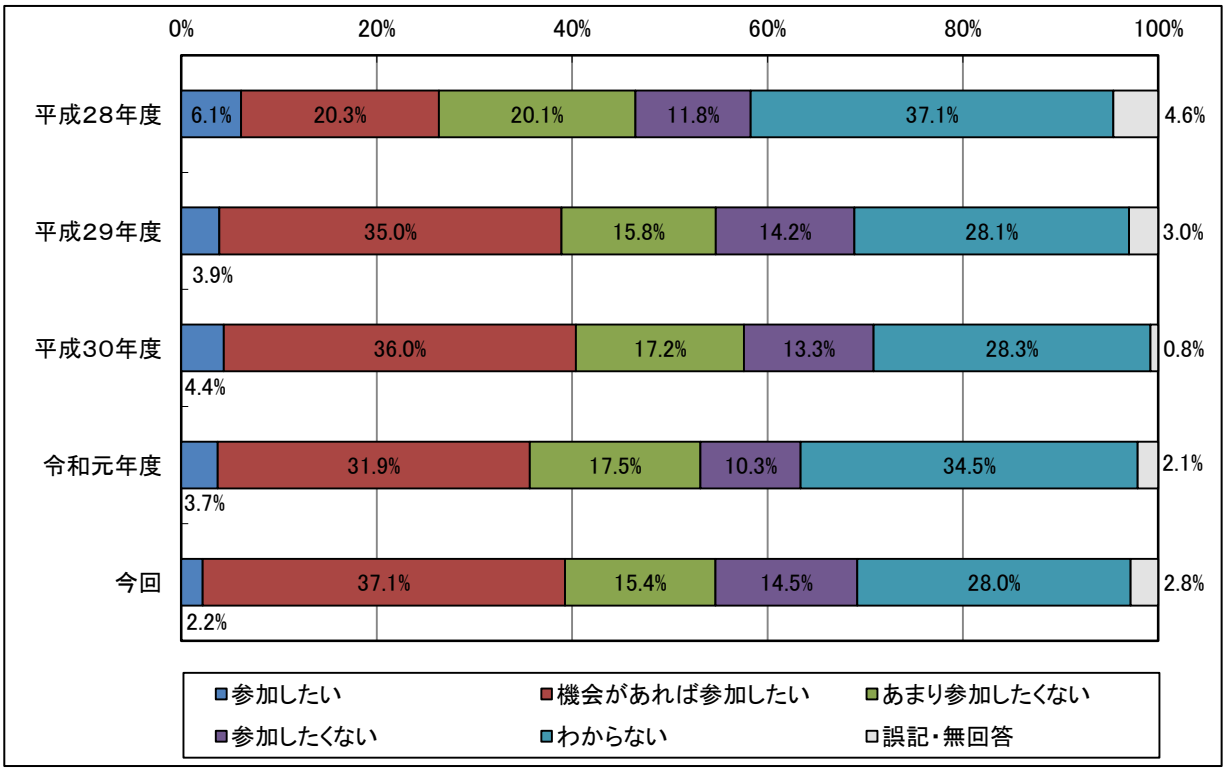


市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「参加したい」が2.2%、「機会があれば参加したい」が37.1%となっており、これらを合わせた39.3%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性がうかがえます。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、「参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向を持つ人の割合は、平成28年度までは30％未満でしたが、平成29年度以降は40％程度で推移しています。

●市政の計画づくりやまちづくりへの参加について（平成28年度からの推移）

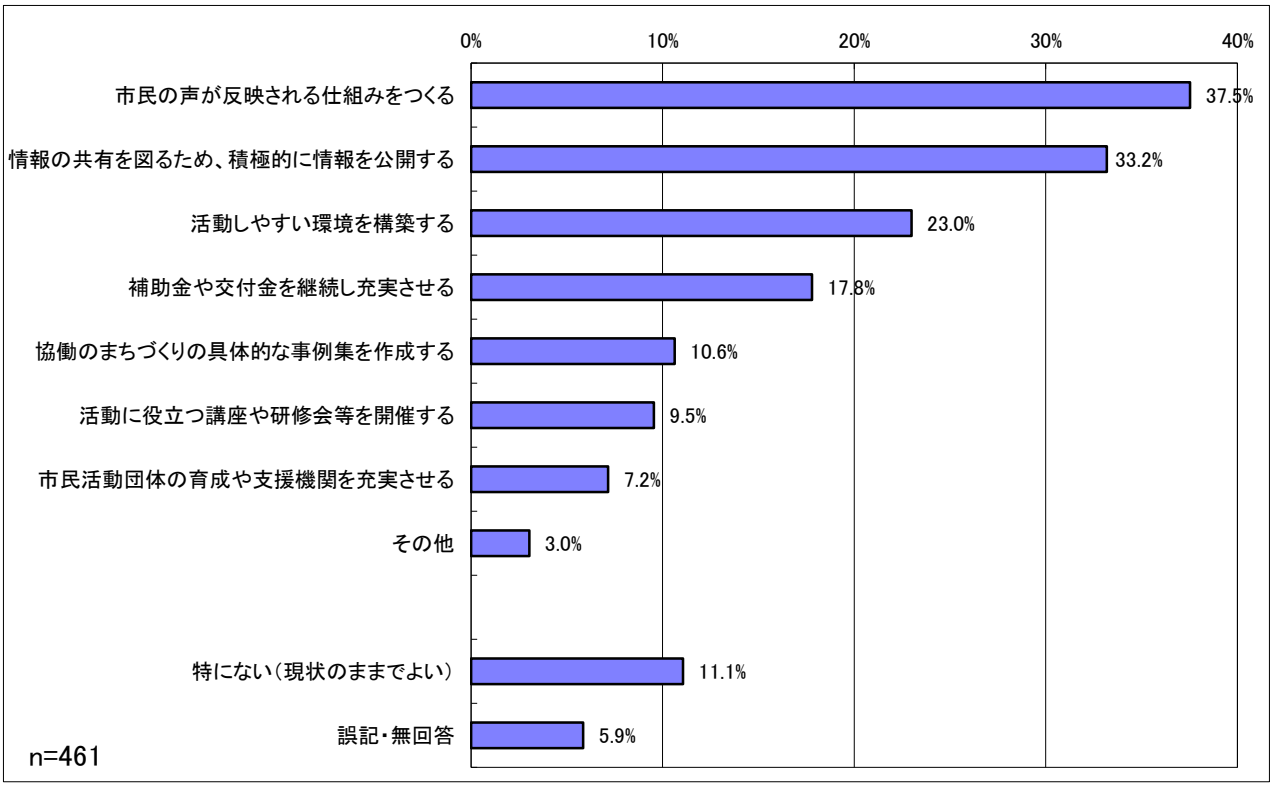


※平成29年度から一部選択肢の表現を見直し

＜協働のまちづくりについて＞

問21	市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
市民の声が反映される仕組みをつくる	173	37.5%	1
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	153	33.2%	2
活動しやすい環境を構築する	106	23.0%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	82	17.8%	4
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	49	10.6%	5
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	44	9.5%	6
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	33	7.2%	7
その他	14	3.0%	－
特にない（現状のままでよい）	51	11.1%	－
誤記・無回答	27	5.9%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「市民の声が反映される仕組みをつくる」が37.5%、次いで「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が33.2%、「活動しやすい環境を構築する」が23.0%と続いています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」、「市民の声が反映される仕組みをつくる」の割合が30％台で推移しています。

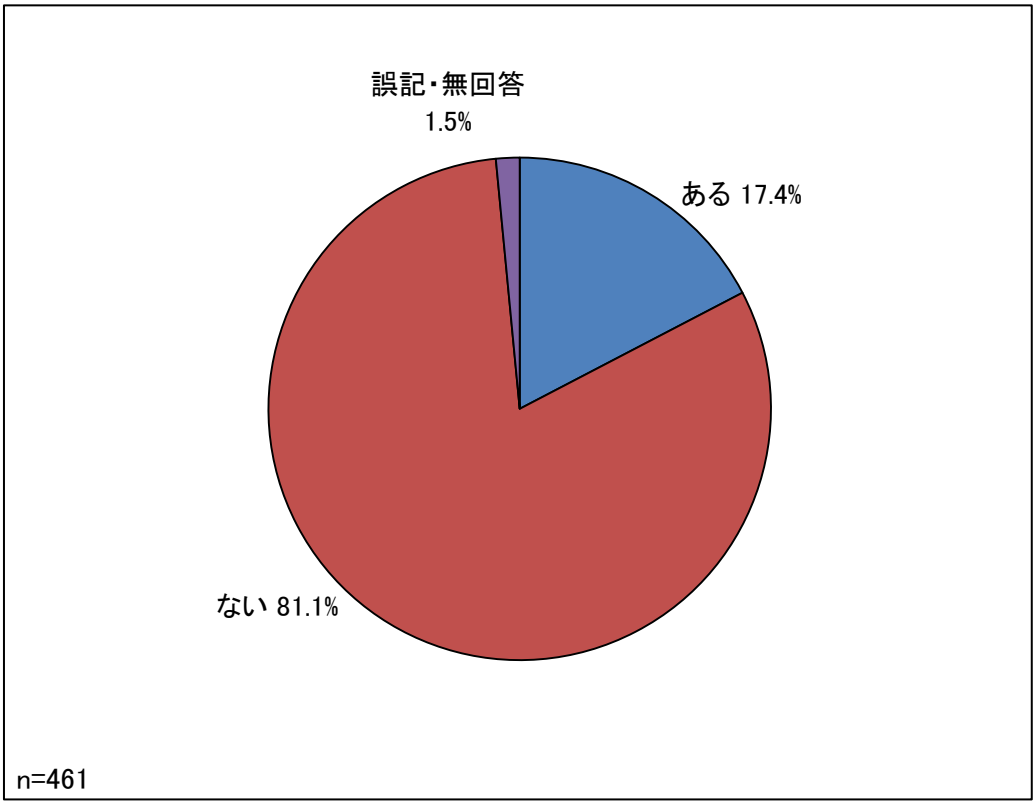
●協働のまちづくりに必要なこと 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	市民の声が反映される仕組みをつくる 37.8%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 36.3%	活動しやすい環境を構築する 19.6%	補助金や交付金を継続し充実させる 15.0%	活動に役立つ講座や研修会等を開催する 11.0%
平成29年度	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 39.2%	市民の声が反映される仕組みをつくる 36.2%	活動しやすい環境を構築する 24.6%	補助金や交付金を継続し充実させる 13.0%	活動に役立つ講座や研修会等を開催する 10.4%
平成30年度	市民の声が反映される仕組みをつくる 38.0%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 37.2%	活動しやすい環境を構築する 20.4%	補助金や交付金を継続し充実させる 15.6%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 12.3%
令和元年度	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 39.4%	市民の声が反映される仕組みをつくる 38.7%	活動しやすい環境を構築する 24.0%	補助金や交付金を継続し充実させる 14.0%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 11.9%
今回	市民の声が反映される仕組みをつくる 37.5%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 33.2%	活動しやすい環境を構築する 23.0%	補助金や交付金を継続し充実させる 17.8%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 10.6%

＜信濃わらび山荘について＞

問22	信濃わらび山荘（宿泊施設）は、青少年の健全育成を図る野外活動の場及び市民の憩いの場として昭和62年に開設されましたが、現在、経年に伴い、老朽化が進んでいます。今後の維持管理等には多額の費用がかかるため、施設の存続・廃止などの方向性について検討することになりました。あなたは、信濃わらび山荘を利用したことがありますか。（○印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
ある	80	17.4%	2
ない	374	81.1%	1
誤記・無回答	7	1.5%	

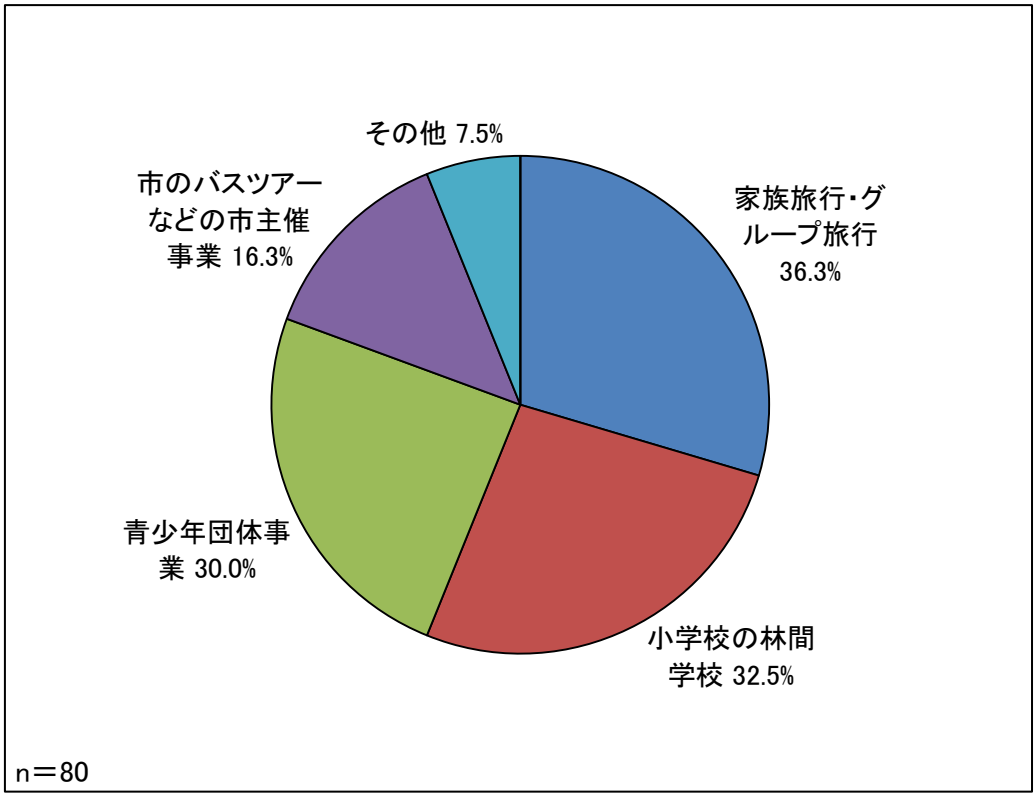


信濃わらび山荘の利用状況については、「ある」が17.4%、「ない」が81.1%となっています。

問22で「ある」と答えた人のみ回答

問23　どのような目的で信濃わらび山荘を利用しましたか。（○印はいくつでも）

回答対象者：80人	件数	割合	順位
家族旅行・グループ旅行	29	36.3%	1
小学校の林間学校	26	32.5%	2
青少年団体事業	24	30.0%	3
市のバスツアーなどの市主催事業	13	16.3%	4
その他	6	7.5%	―
誤記・無回答	0	0.0%	

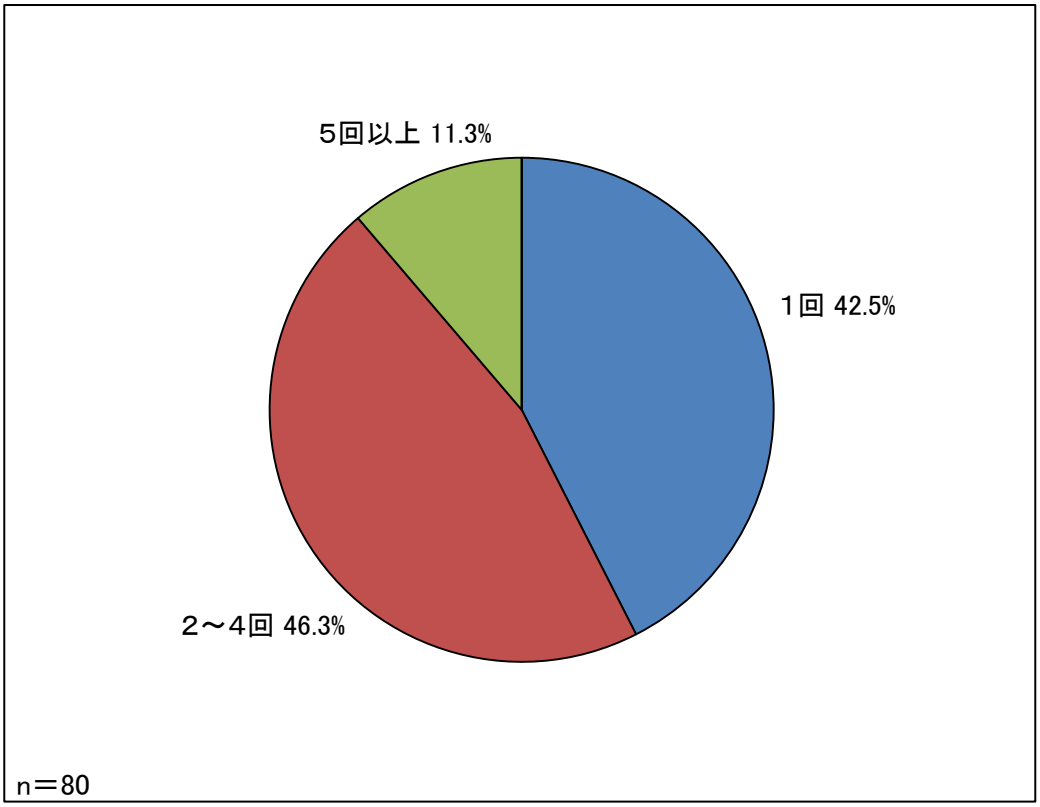


信濃わらび山荘の利用目的についてたずねたところ、「家族旅行・グループ旅行」が36.3%で最も多く、次いで「小学校の林間学校」が32.5%、「青少年団体事業」が30.0%、「市のバスツアーなどの市主催事業」が16.3%となっています。

問22で「ある」と答えた人のみ回答

問24　これまでの合計利用回数をお答えください。（○印は1つ）

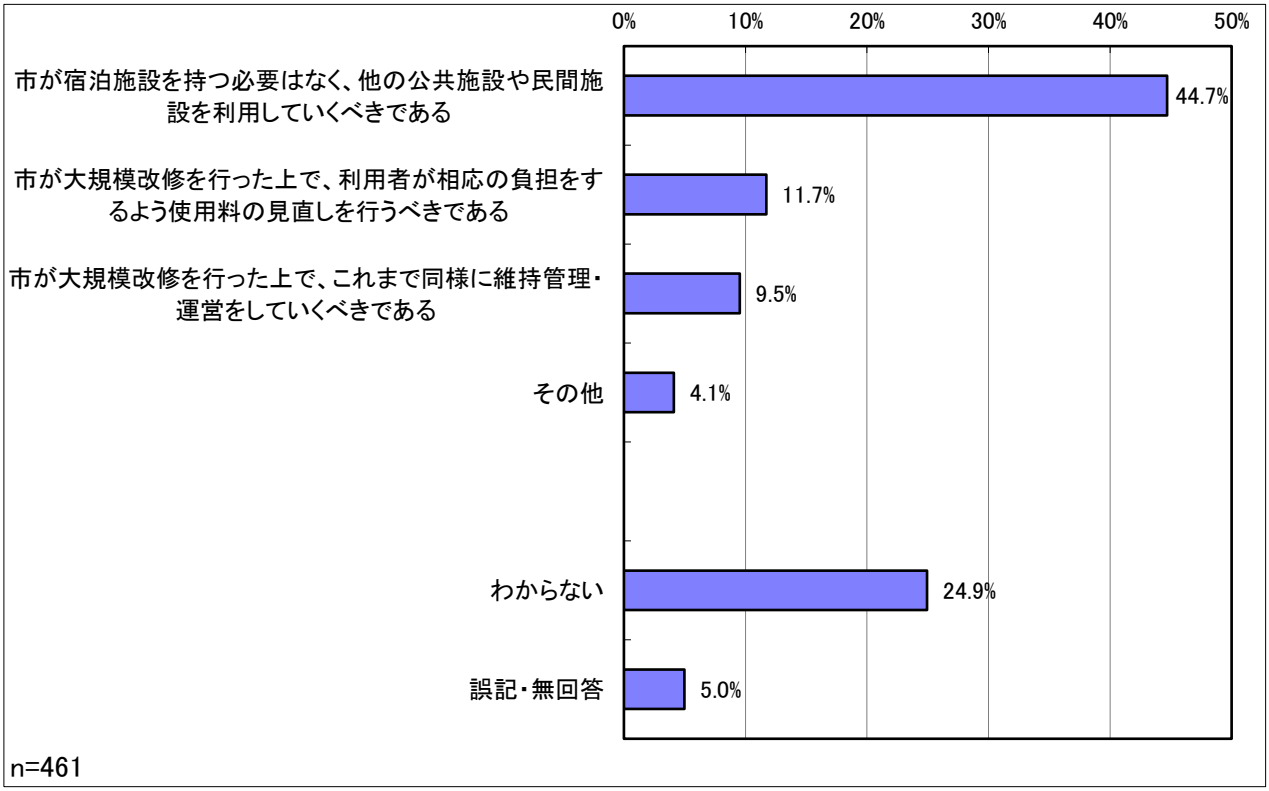
回答対象者：80人	件数	割合	順位
1回	34	42.5%	2
2～4回	37	46.3%	1
5回以上	9	11.3%	3
誤記・無回答	0	0.0%	



これまでの合計利用回数については、「2～4回」が46.3％で最も多く、次いで「1回」が42.5％、「5回以上」が11.3％となっています。

問25 今後の信濃わらび山荘のあり方について、あなたの考えに近いものをお選びください。（○印は1つ）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
市が宿泊施設を持つ必要はなく、他の公共施設や民間施設を利用していくべきである	206	44.7%	1
市が大規模改修を行った上で、利用者が相応の負担をするよう使用料の見直しを行うべきである	54	11.7%	2
市が大規模改修を行った上で、これまで同様に維持管理・運営をしていくべきである	44	9.5%	3
その他	19	4.1%	―
わからない	115	24.9%	
誤記・無回答	23	5.0%	

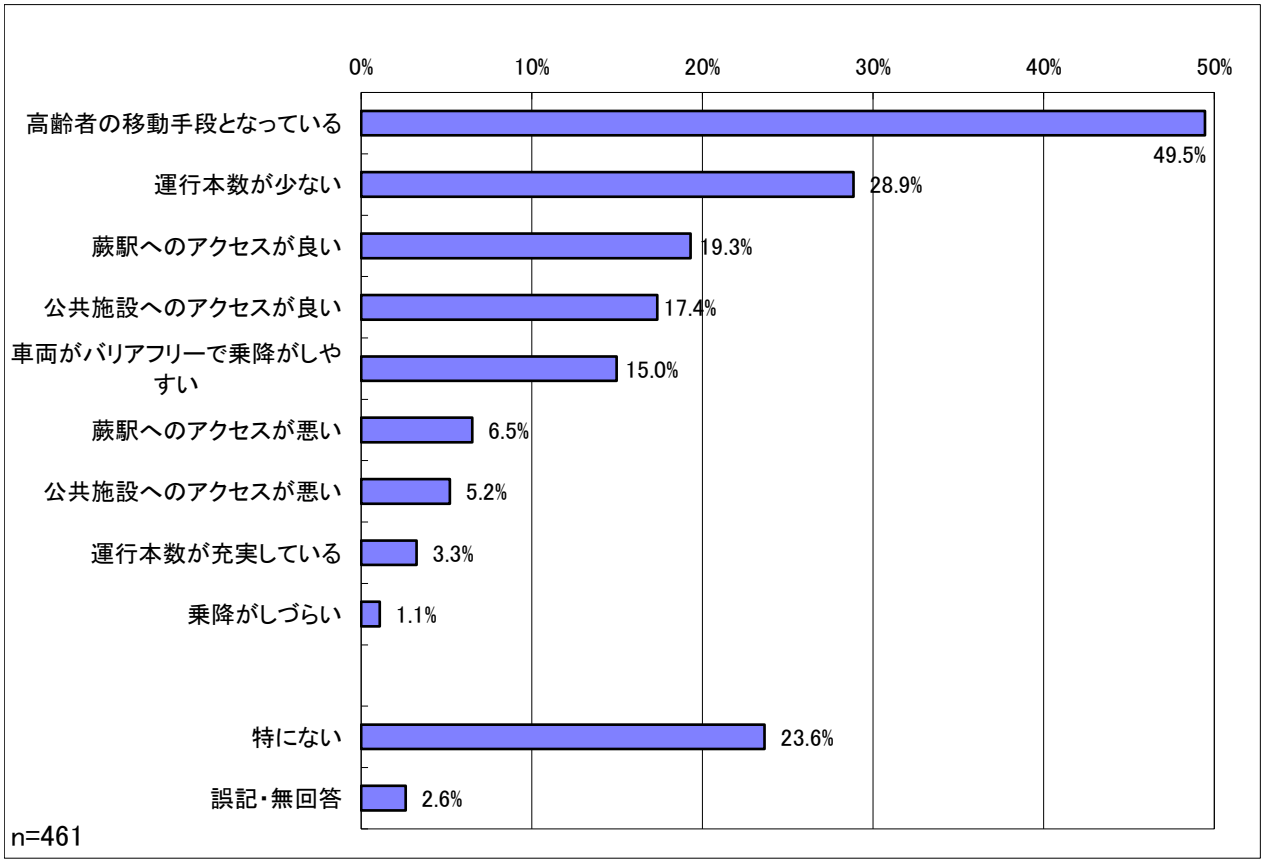


信濃わらび山荘の今後のあり方についてたずねたところ、「市が宿泊施設を持つ必要はなく、他の公共施設や民間施設を利用していくべきである」が44.7%で最も多く、次いで「市が大規模改修を行った上で、利用者が相応の負担をするよう使用料の見直しを行うべきである」が11.7%、「市が大規模改修を行った上で、これまで同様に維持管理・運営をしていく」が9.5%となり、施設の方向性について見直しなどを求める声が半数を超えました。

＜ぷらっとわらび（コミュニティバス）について＞

問26 あなたが、ぷらっとわらびに対して持っているイメージをお選びください。
（○印は3つ以内）

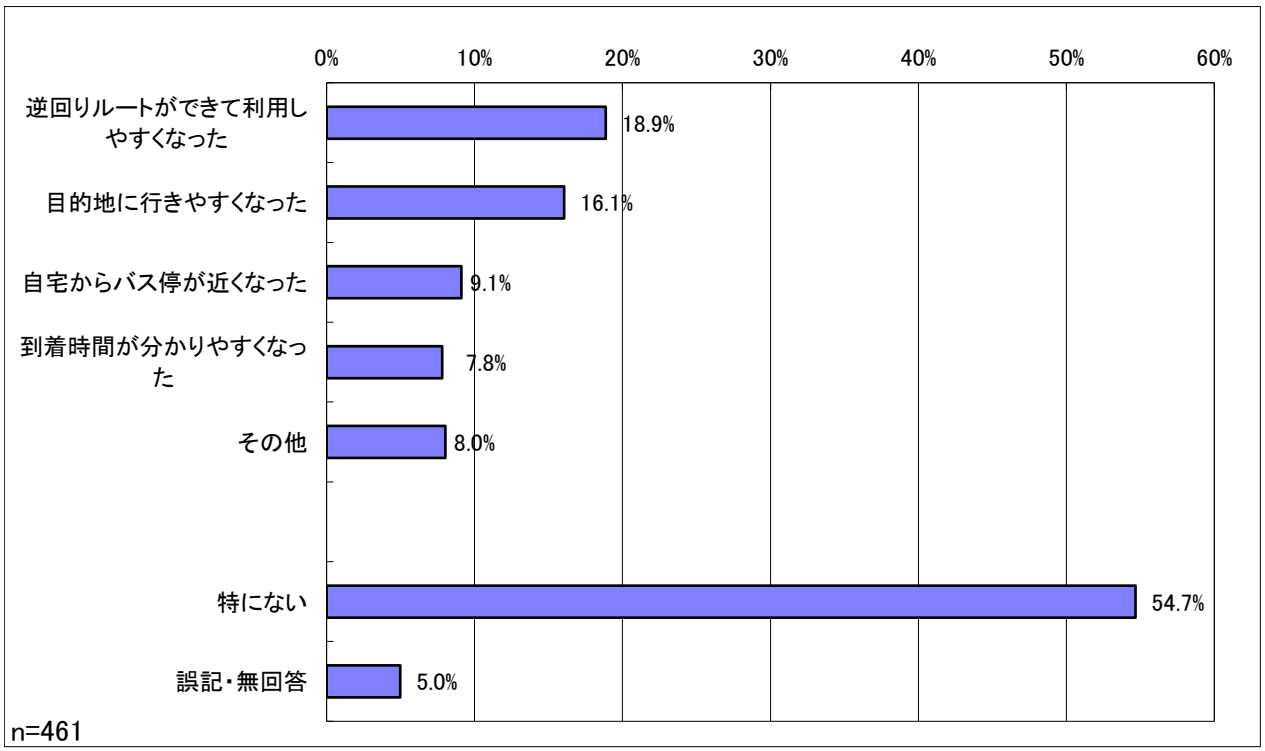
回答対象者：461人	件数	割合	順位
高齢者の移動手段となっている	228	49.5%	1
運行本数が少ない	133	28.9%	2
蕨駅へのアクセスが良い	89	19.3%	3
公共施設へのアクセスが良い	80	17.4%	4
車両がバリアフリーで乗降がしやすい	69	15.0%	5
蕨駅へのアクセスが悪い	30	6.5%	6
公共施設へのアクセスが悪い	24	5.2%	7
運行本数が充実している	15	3.3%	8
乗降がしづらい	5	1.1%	9
特にない	109	23.6%	
誤記・無回答	12	2.6%	



ぷらっとわらびに対して持っているイメージについてたずねたところ、「高齢者の移動手段となっている」が49.5%で最も多く、次いで「運行本数が少ない」が28.9%、「蕨駅へのアクセスが良い」が19.3%、「公共施設へのアクセスが良い」が17.4%と続いています。

問27 ぷらっとわらびは昨年度末にルートを改定し、4台で運行することになりました。あなたの感想をお選びください。（○印は3つ以内）

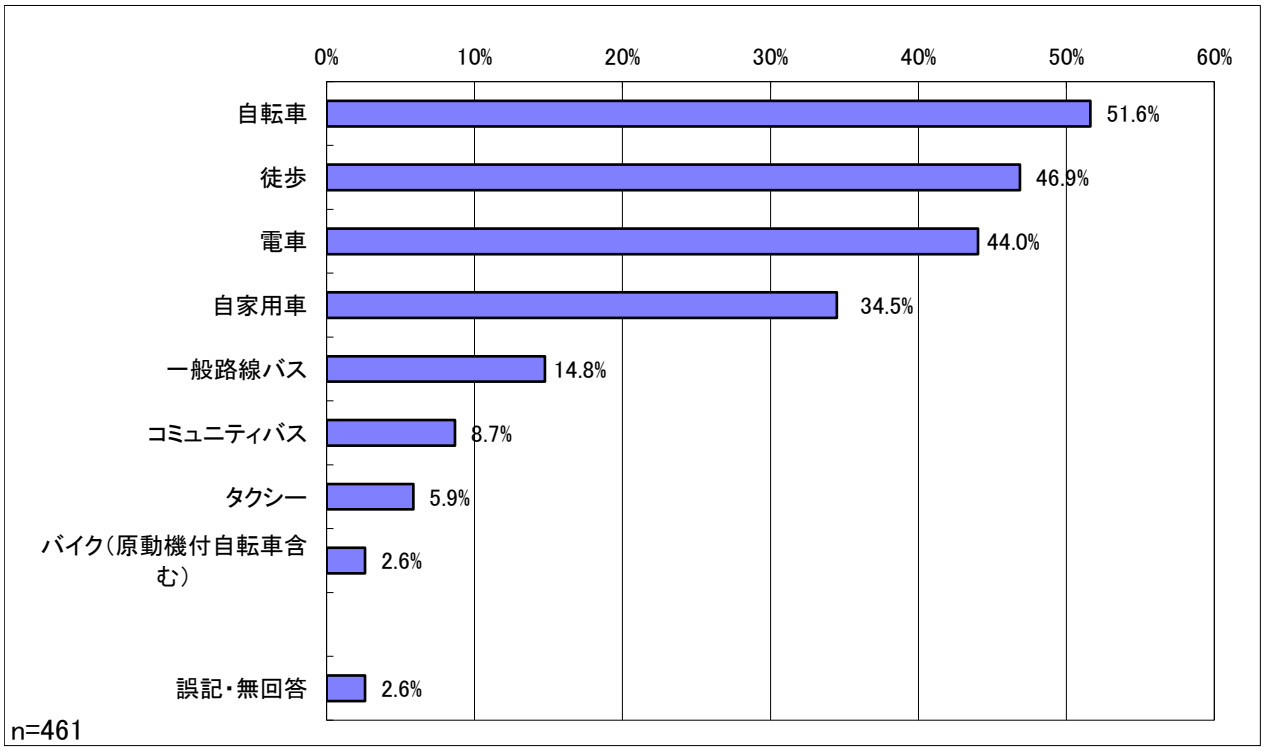
回答対象者：461人	件数	割合	順位
逆回りルートができて利用しやすくなった	87	18.9%	1
目的地に行きやすくなった	74	16.1%	2
自宅からバス停が近くなった	42	9.1%	3
到着時間が分かりやすくなった	36	7.8%	4
その他	37	8.0%	―
特にない	252	54.7%	
誤記・無回答	23	5.0%	



ルートの改定について感想をたずねたところ、「逆回りルートができて利用しやすくなった」が18.9%で最も多く、次いで「目的地に行きやすくなった」が16.1%、「自宅からバス停が近くなった」が9.1%、「到着時間が分かりやすくなった」が7.8%となりました。一方、54.7%の人が「特にない」と回答しています。

問28　日常生活や通勤・通学でよく利用する交通手段は何ですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
自転車	238	51.6%	1
徒歩	216	46.9%	2
電車	203	44.0%	3
自家用車	159	34.5%	4
一般路線バス	68	14.8%	5
コミュニティバス	40	8.7%	6
タクシー	27	5.9%	7
バイク（原動機付自転車含む）	12	2.6%	8
誤記・無回答	12	2.6%	

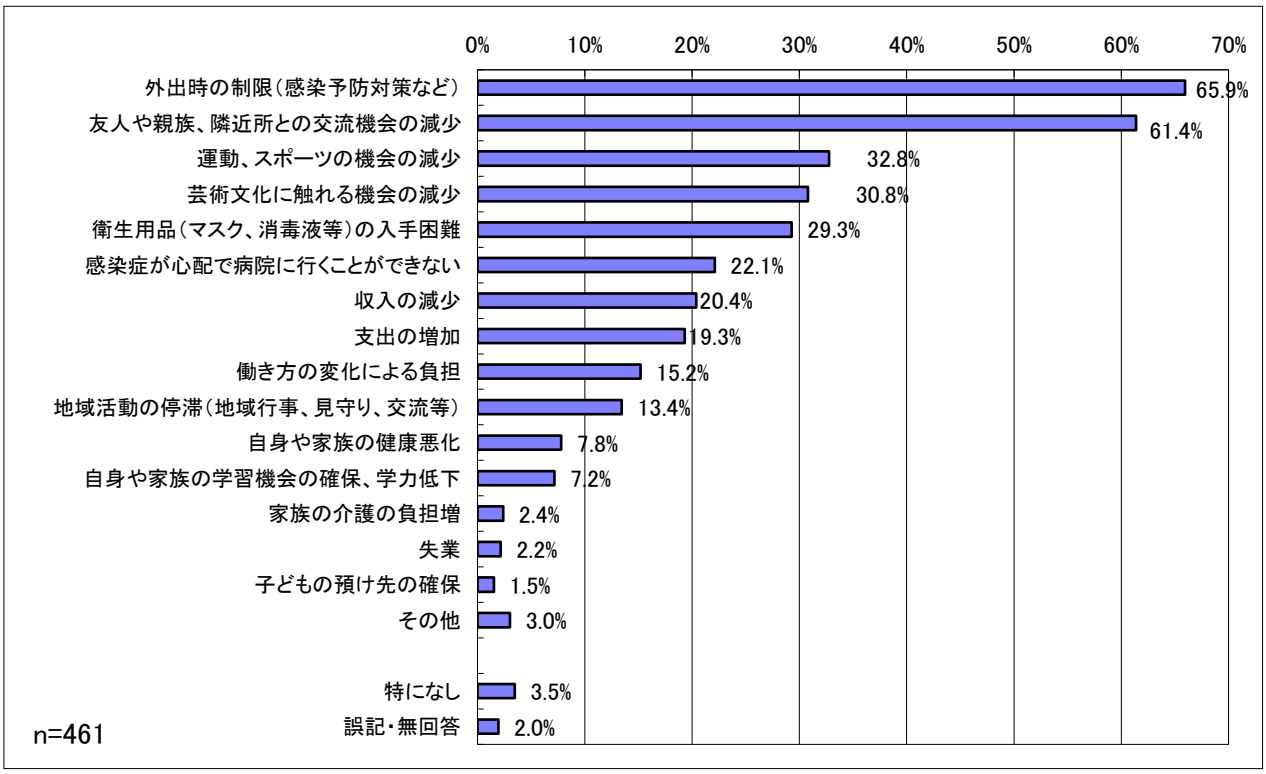


よく利用する交通手段についてたずねたところ、「自転車」が51.6％で最も多く、次いで「徒歩」が46.9％となり、平坦で坂道が少ない蕨市の特徴を表す結果となっています。

＜新型コロナウイルス感染症について＞

問29 新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ感染症）の影響により、生活にどのような影響が出ていますか。（○印はいくつでも）

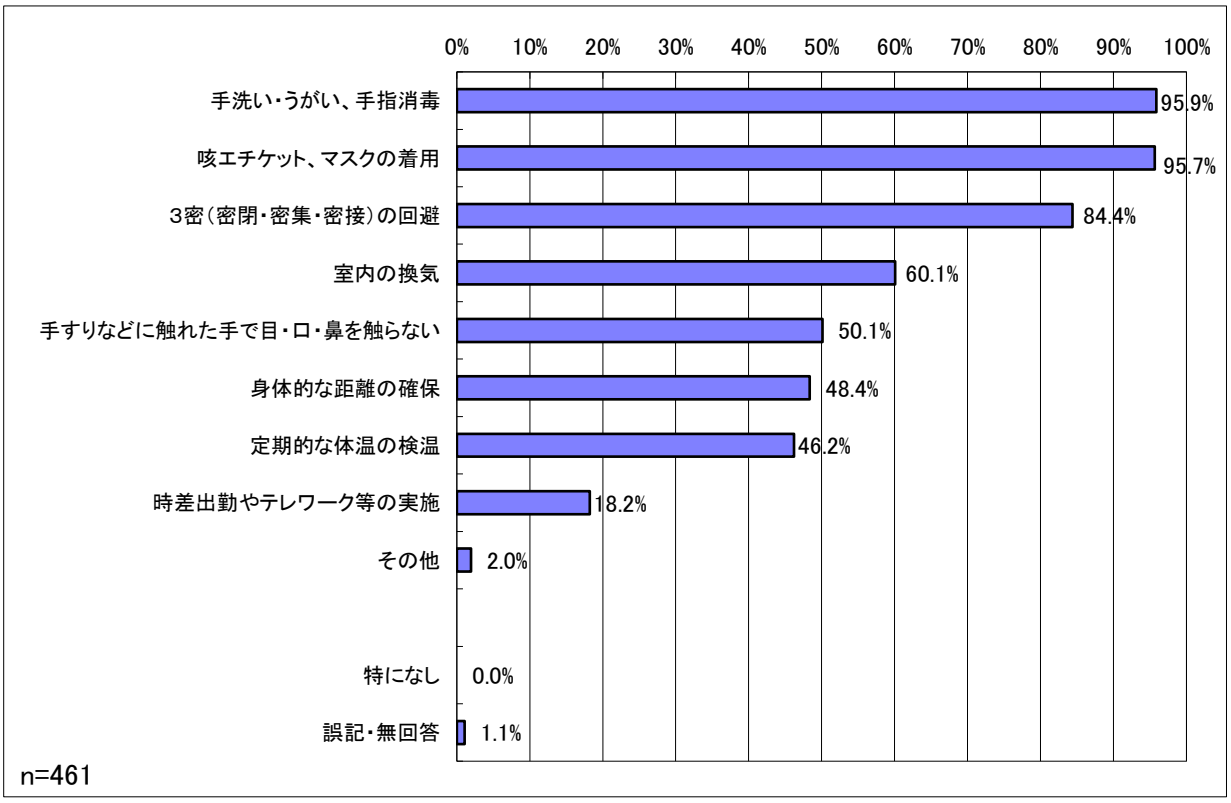
回答対象者：461人	件数	割合	順位
外出時の制限（感染予防対策など）	304	65.9%	1
友人や親族、隣近所との交流機会の減少	283	61.4%	2
運動、スポーツの機会の減少	151	32.8%	3
芸術文化に触れる機会の減少	142	30.8%	4
衛生用品（マスク、消毒液等）の入手困難	135	29.3%	5
感染症が心配で病院に行くことができない	102	22.1%	6
収入の減少	94	20.4%	7
支出の増加	89	19.3%	8
働き方の変化による負担	70	15.2%	9
地域活動の停滞（地域行事、見守り、交流等）	62	13.4%	10
自身や家族の健康悪化	36	7.8%	11
自身や家族の学習機会の確保、学力低下	33	7.2%	12
家族の介護の負担増	11	2.4%	13
失業	10	2.2%	14
子どもの預け先の確保	7	1.5%	15
その他	14	3.0%	―
特になし	16	3.5%	
誤記・無回答	9	2.0%	



新型コロナウイルス感染症の生活への影響についてたずねたところ、「外出時の制限（感染予防対策など」が65.9％で最も多く、次いで「友人や親族、隣近所との交流機会の減少」が61.4％と続いています。また、およそ95％の人が生活に影響が出ていると回答しています。

問30 新型コロナ感染症の予防のために、気を付けていることはありますか。
（○印はいくつでも）

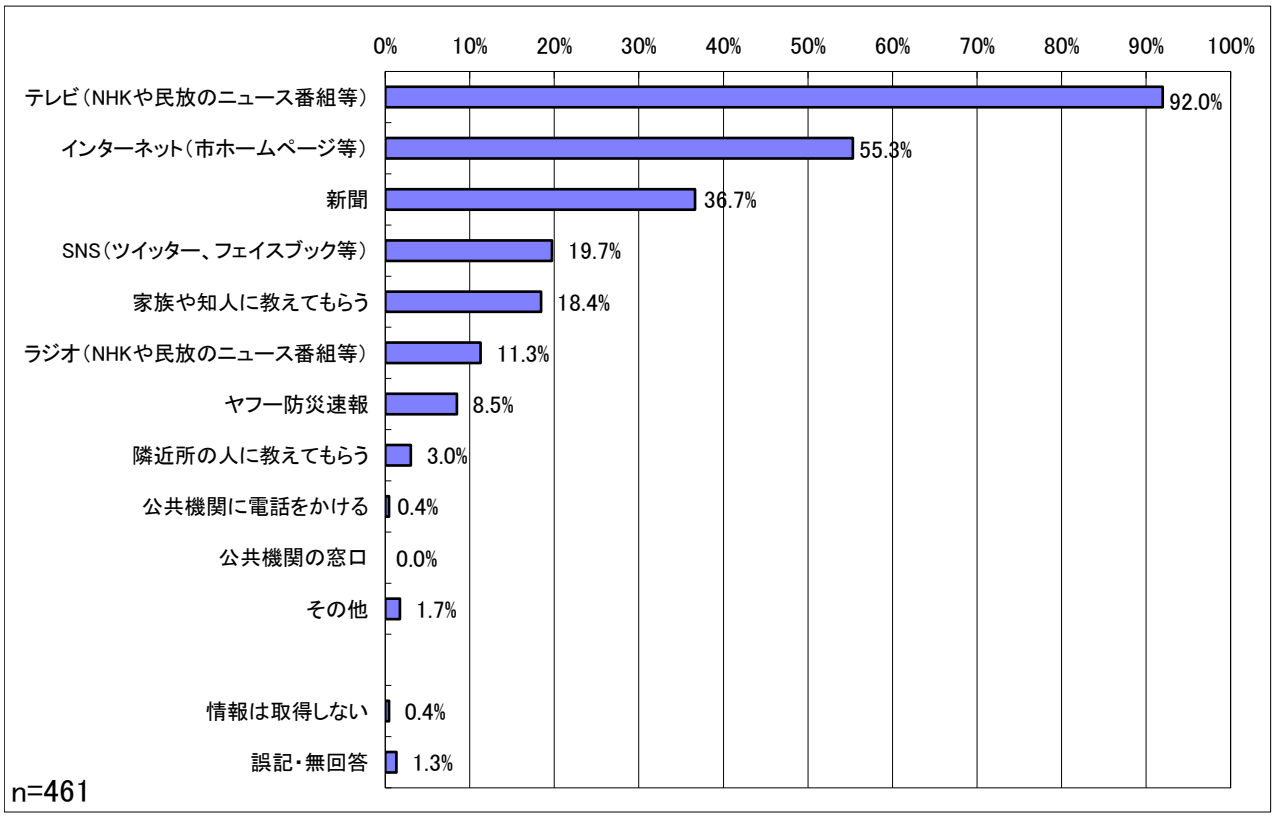
回答対象者：461人	件数	割合	順位
手洗い・うがい、手指消毒	442	95.9%	1
咳エチケット、マスクの着用	441	95.7%	2
3密（密閉・密集・密接）の回避	389	84.4%	3
室内の換気	277	60.1%	4
手すりなどに触れた手で目・口・鼻を触らない	231	50.1%	5
身体的な距離の確保	223	48.4%	6
定期的な体温の検温	213	46.2%	7
時差出勤やテレワーク等の実施	84	18.2%	8
その他	9	2.0%	―
特になし	0	0.0%	
誤記・無回答	5	1.1%	



新型コロナウイルス感染症の予防のために、気を付けていることについてたずねたところ、「手洗い・うがい、手指消毒」が95.9％で最も多く、次いで「咳エチケット、マスクの着用」が95.7％、「3密（密閉・密集・密接）の回避」が84.4％と続いており、およそ99％の人が何らかの感染予防対策を行っていると回答しています。

問31 新型コロナ感染症に関する情報をどのような方法で取得していますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：461人	件数	割合	順位
テレビ（NHKや民放のニュース番組等）	424	92.0%	1
インターネット（市ホームページ等）	255	55.3%	2
新聞	169	36.7%	3
SNS（ツイッター、フェイスブック等）	91	19.7%	4
家族や知人に教えてもらう	85	18.4%	5
ラジオ（NHKや民放のニュース番組等）	52	11.3%	6
ヤフー防災速報	39	8.5%	7
隣近所の人に教えてもらう	14	3.0%	8
公共機関に電話をかける	2	0.4%	9
公共機関の窓口	0	0.0%	10
その他	8	1.7%	―
情報は取得しない	2	0.4%	
誤記・無回答	6	1.3%	



新型コロナウイルス感染症に関する情報をどのような方法で取得しているかたずねたところ、「テレビ（NHKや民放のニュース番組等）」が92.0％で最も多く、次いで「インターネット（市ホームページ等）」が55.3％と続いています。

● **重点施策（重要度）**　　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問32	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。１～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

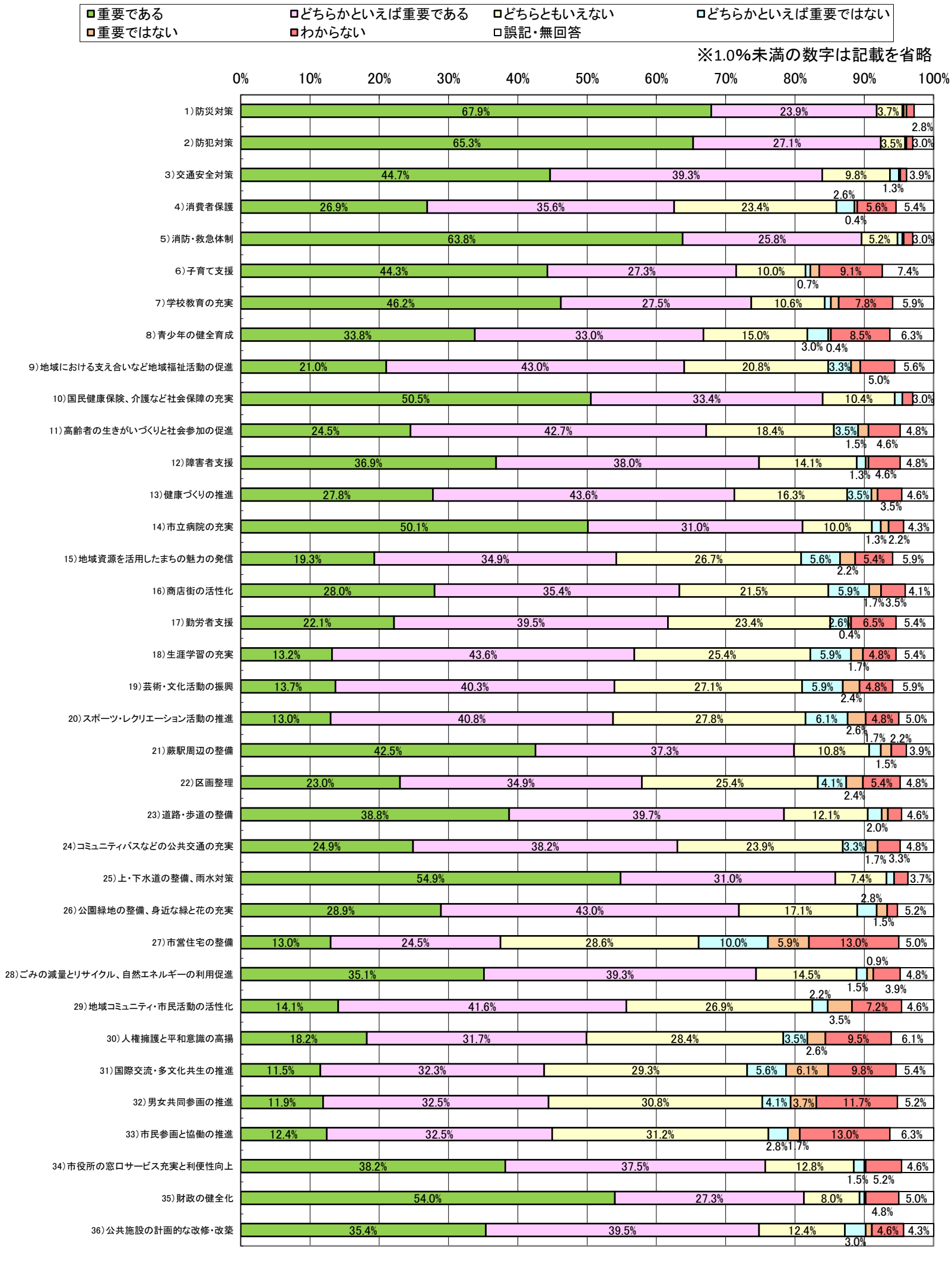
１：重要である　２：どちらかといえば重要である　３：どちらともいえない
４：どちかといえば重要ではない　５：重要ではない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
【安全で安心して暮らせるまち】									（ ）内は昨年の順位
１）防災対策	313	110	17	1	2	5	13	4.65	1(2)
２）防犯対策	301	125	16	1	0	4	14	4.64	2(1)
３）交通安全対策	206	181	45	6	1	4	18	4.33	10(4)
４）消費者保護	124	164	108	12	2	26	25	3.97	20(25)
５）消防・救急体制	294	119	24	3	1	6	14	4.59	3(3)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
６）子育て支援	204	126	46	3	6	42	34	4.35	9(10)
７）学校教育の充実	213	127	49	4	5	36	27	4.35	8(8)
８）青少年の健全育成	156	152	69	14	2	39	29	4.13	17(13)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	97	198	96	15	6	23	26	3.89	24(23)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	233	154	48	5	0	7	14	4.40	6(9)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	113	197	85	16	7	21	22	3.94	21(22)
12）障害者支援	170	175	65	6	2	21	22	4.21	14(16)
13）健康づくりの推進	128	201	75	16	4	16	21	4.02	18(19)
14）市立病院の充実	231	143	46	6	5	10	20	4.37	7(5)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	89	161	123	26	10	25	27	3.72	27(27)
16）商店街の活性化	129	163	99	27	8	16	19	3.89	23(20)
17）勤労者支援	102	182	108	12	2	30	25	3.91	22(26)
18）生涯学習の充実	61	201	117	27	8	22	25	3.68	30(30)
19）芸術・文化活動の振興	63	186	125	27	11	22	27	3.64	31(34)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	60	188	128	28	12	22	23	3.62	33(33)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	196	172	50	8	7	10	18	4.25	11(11)
22）区画整理	106	161	117	19	11	25	22	3.80	26(24)
23）道路・歩道の整備	179	183	56	9	4	9	21	4.22	13(12)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	115	176	110	15	8	15	22	3.88	25(17)
25）上・下水道の整備、雨水対策	253	143	34	5	0	9	17	4.48	5(6)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	133	198	79	13	7	7	24	4.02	19(21)
27）市営住宅の整備	60	113	132	46	27	60	23	3.35	36(36)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	162	181	67	7	4	18	22	4.16	15(18)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	65	192	124	10	16	33	21	3.69	29(28)
30）人権擁護と平和意識の高揚	84	146	131	16	12	44	28	3.70	28(29)
31）国際交流・多文化共生の推進	53	149	135	26	28	45	25	3.44	35(35)
32）男女共同参画の推進	55	150	142	19	17	54	24	3.54	34(32)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	57	150	144	13	8	60	29	3.63	32(31)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	176	173	59	7	1	24	21	4.24	12(14)
35）財政の健全化	249	126	37	3	1	22	23	4.49	4(7)
36）公共施設の計画的な改修・改築	163	182	57	14	4	21	20	4.16	16(15)

施策重要度平均	4.04

施策重要度　回答別割合


重要である
どちらかといえば重要である
どちらともいえない
どちらかといえば重要ではない
重要ではない
わからない
誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策 67.9% 23.9% 3.7% 2.8%
2）防犯対策 65.3% 27.1% 3.5% 3.0%
3）交通安全対策 44.7% 39.3% 9.8% 2.6% 1.3% 3.9%
4）消費者保護 26.9% 35.6% 23.4% 0.4% 5.6% 5.4%
5）消防・救急体制 63.8% 25.8% 5.2% 3.0%
6）子育て支援 44.3% 27.3% 10.0% 0.7% 9.1% 7.4%
7）学校教育の充実 46.2% 27.5% 10.6% 7.8% 5.9%
8）青少年の健全育成 33.8% 33.0% 15.0% 3.0% 0.4% 8.5% 6.3%
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 21.0% 43.0% 20.8% 3.3% 5.0% 5.6%
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実 50.5% 33.4% 10.4% 3.0%
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 24.5% 42.7% 18.4% 3.5% 1.5% 4.6% 4.8%
12）障害者支援 36.9% 38.0% 14.1% 1.3% 4.6% 4.8%
13）健康づくりの推進 27.8% 43.6% 16.3% 3.5% 3.5% 4.6%
14）市立病院の充実 50.1% 31.0% 10.0% 1.3% 2.2% 4.3%
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信 19.3% 34.9% 26.7% 5.6% 2.2% 5.4% 5.9%
16）商店街の活性化 28.0% 35.4% 21.5% 5.9% 1.7% 3.5% 4.1%
17）勤労者支援 22.1% 39.5% 23.4% 2.6% 0.4% 6.5% 5.4%
18）生涯学習の充実 13.2% 43.6% 25.4% 5.9% 1.7% 4.8% 5.4%
19）芸術・文化活動の振興 13.7% 40.3% 27.1% 5.9% 2.4% 4.8% 5.9%
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進 13.0% 40.8% 27.8% 6.1% 2.6% 1.7% 2.2% 4.8% 5.0%
21）蕨駅周辺の整備 42.5% 37.3% 10.8% 1.5% 3.9%
22）区画整理 23.0% 34.9% 25.4% 4.1% 2.4% 5.4% 4.8%
23）道路・歩道の整備 38.8% 39.7% 12.1% 2.0% 4.6%
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実 24.9% 38.2% 23.9% 3.3% 1.7% 3.3% 4.8%
25）上・下水道の整備、雨水対策 54.9% 31.0% 7.4% 2.8% 3.7%
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 28.9% 43.0% 17.1% 1.5% 5.2%
27）市営住宅の整備 13.0% 24.5% 28.6% 10.0% 5.9% 13.0% 5.0%
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 35.1% 39.3% 14.5% 0.9% 1.5% 3.9% 4.8%
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化 14.1% 41.6% 26.9% 2.2% 3.5% 7.2% 4.6%
30）人権擁護と平和意識の高揚 18.2% 31.7% 28.4% 3.5% 2.6% 9.5% 6.1%
31）国際交流・多文化共生の推進 11.5% 32.3% 29.3% 5.6% 6.1% 9.8% 5.4%
32）男女共同参画の推進 11.9% 32.5% 30.8% 4.1% 3.7% 11.7% 5.2%
33）市民参画と協働の推進 12.4% 32.5% 31.2% 2.8% 1.7% 13.0% 6.3%
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上 38.2% 37.5% 12.8% 1.5% 5.2% 4.6%
35）財政の健全化 54.0% 27.3% 8.0% 4.8% 5.0%
36）公共施設の計画的な改修・改築 35.4% 39.5% 12.4% 3.0% 4.6% 4.3%

平均値順（重要度）

※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

順位（昨年度）	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	R1	H30	H29	過去3か年平均	3か年平均との比較
1（2）	防災対策	313	110	17	1	2	5	4.65	4.60	4.69	4.68	4.66	▲ 0.01
2（1）	防犯対策	301	125	16	1	0	4	4.64	4.65	4.73	4.69	4.69	▲ 0.05
3（3）	消防・救急体制	294	119	24	3	1	6	4.59	4.57	4.68	4.61	4.62	▲ 0.03
4（7）	財政の健全化	249	126	37	3	1	22	4.49	4.38	4.44	4.42	4.41	0.08
5（6）	上・下水道の整備、雨水対策	253	143	34	5	0	9	4.48	4.40	4.36	4.44	4.40	0.08
6（9）	国民健康保険、介護など社会保障の充実	233	154	48	5	0	7	4.40	4.36	4.42	4.43	4.40	0.00
7（5）	市立病院の充実	231	143	46	6	5	10	4.37	4.41	4.45	4.37	4.41	▲ 0.04
8（8）	学校教育の充実	213	127	49	4	5	36	4.35	4.37	4.38	4.41	4.39	▲ 0.04
9（10）	子育て支援	204	126	46	3	6	42	4.35	4.31	4.42	4.40	4.38	▲ 0.03
10（4）	交通安全対策	206	181	45	6	1	4	4.33	4.42	4.56	4.46	4.48	▲ 0.15
11（11）	蕨駅周辺の整備	196	172	50	8	7	10	4.25	4.25	4.27	4.32	4.28	▲ 0.03
12（14）	市役所の窓口サービス充実と利便性向上	176	173	59	7	1	24	4.24	4.17	4.22	4.19	4.19	0.05
13（12）	道路・歩道の整備	179	183	56	9	4	9	4.22	4.21	4.29	4.28	4.26	▲ 0.04
14（16）	障害者支援	170	175	65	6	2	21	4.21	4.14	4.19	4.22	4.18	0.03
15（18）	ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	162	181	67	7	4	18	4.16	3.99	4.13	4.03	4.05	0.11
16（15）	公共施設の計画的な改修・改築	163	182	57	14	4	21	4.16	4.15	4.16	4.19	4.17	▲ 0.01
17（13）	青少年の健全育成	156	152	69	14	2	39	4.13	4.17	4.24	4.19	4.20	▲ 0.07
18（19）	健康づくりの推進	128	201	75	16	4	16	4.02	3.97	4.04	4.03	4.01	0.01
19（21）	公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	133	198	79	13	7	7	4.02	3.93	4.07	4.07	4.02	0.00
20（25）	消費者保護	124	164	108	12	2	26	3.97	3.83	4.08	4.04	3.98	▲ 0.01
21（22）	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	113	197	85	16	7	21	3.94	3.92	3.95	4.08	3.98	▲ 0.04
22（26）	勤労者支援	102	182	108	12	2	30	3.91	3.82	3.88	3.92	3.87	0.04
23（20）	商店街の活性化	129	163	99	27	8	16	3.89	3.94	3.95	4.07	3.99	▲ 0.10
24（23）	地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	97	198	96	15	6	23	3.89	3.88	3.96	4.05	3.96	▲ 0.07
25（17）	コミュニティバスなどの公共交通の充実	115	176	110	15	8	15	3.88	4.05	3.97	4.05	4.02	▲ 0.14
26（24）	区画整理	106	161	117	19	11	25	3.80	3.87	3.88	3.87	3.87	▲ 0.07
27（27）	地域資源を活用したまちの魅力の発信	89	161	123	26	10	25	3.72	3.71	3.79	3.76	3.75	▲ 0.03
28（29）	人権擁護と平和意識の高揚	84	146	131	16	12	44	3.70	3.62	3.67	3.75	3.68	0.02
29（28）	地域コミュニティ・市民活動の活性化	65	192	124	10	16	33	3.69	3.70	3.76	3.80	3.75	▲ 0.06
30（30）	生涯学習の充実	61	201	117	27	8	22	3.68	3.62	3.69	3.76	3.69	▲ 0.01
31（34）	芸術・文化活動の振興	63	186	125	27	11	22	3.64	3.50	3.55	3.60	3.55	0.09
32（31）	市民参画と協働の推進	57	150	144	13	8	60	3.63	3.60	3.63	3.67	3.63	0.00
33（33）	スポーツ・レクリエーション活動の推進	60	188	128	28	12	22	3.62	3.50	3.59	3.60	3.56	0.06
34（32）	男女共同参画の推進	55	150	142	19	17	54	3.54	3.52	3.51	3.55	3.53	0.01
35（35）	国際交流・多文化共生の推進	53	149	135	26	28	45	3.44	3.38	3.32	3.40	3.37	0.07
36（36）	市営住宅の整備	60	113	132	46	27	60	3.35	3.38	3.40	3.46	3.41	▲ 0.06
				施策重要度平均				4.04	4.01	4.06	4.08	4.05	▲ 0.01

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、１位「防災対策」（前年２位）、２位「防犯対策」（前年１位）、３位「消防・救急体制」（前年３位）となり、昨年度に続いて【安全で安心して暮らせるまち】の分野が上位を占めています。それに対し、「市営住宅の整備」、「国際交流・多文化共生の推進」、「男女共同参画の推進」などの施策は、重要度が下位となっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

●施策全体の平均が過去３か年平均よりも0.01ポイント減少しています。上昇している施策としては、「ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進」、「芸術・文化活動の振興」、「財政の健全化」と続き、減少している施策としては、「交通安全対策」、「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、「商店街の活性化」と続いています。

● **重点施策（満足度）**　　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問32	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。１～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

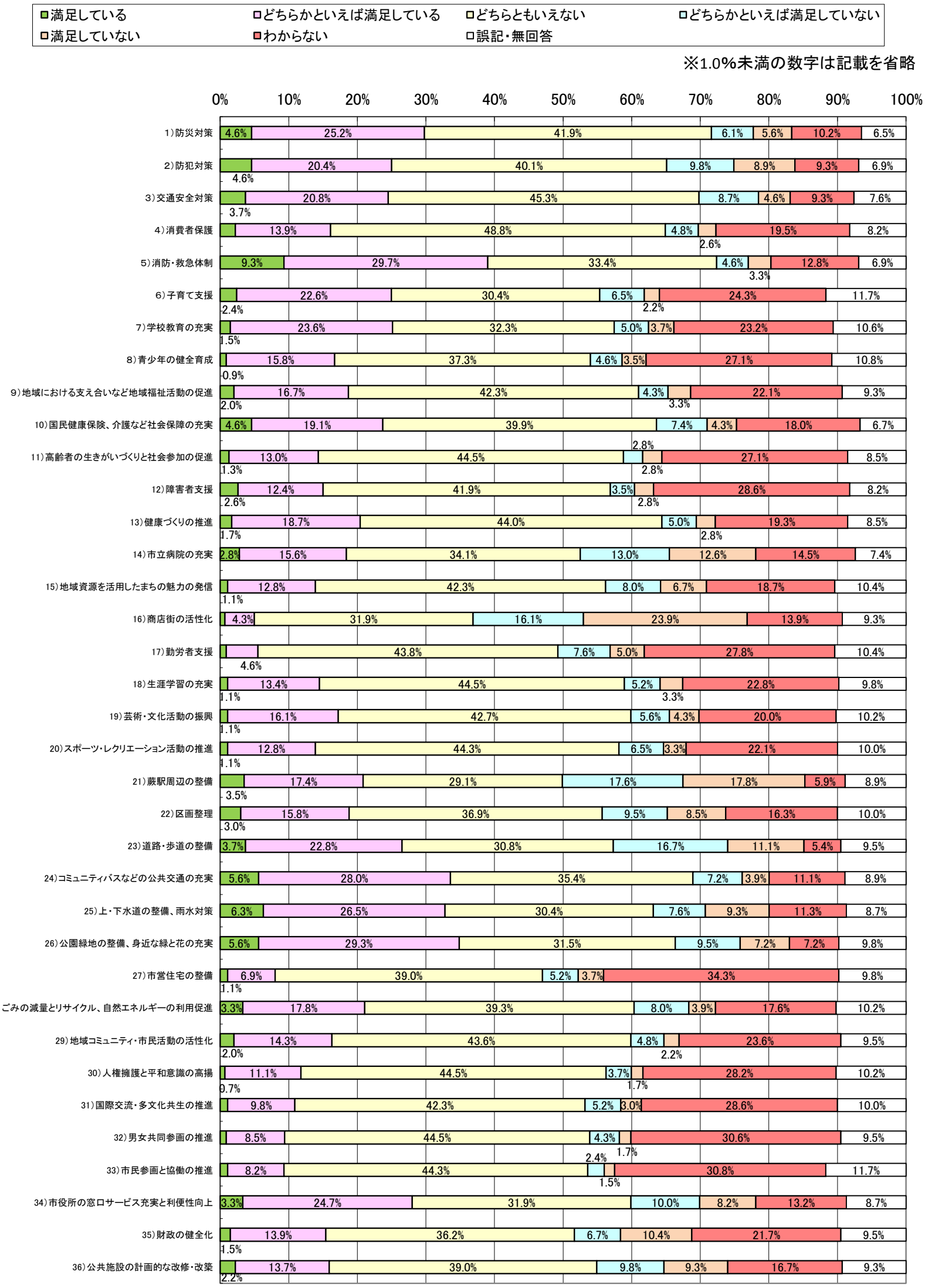
１：満足している　２：どちらかといえば満足している　３：どちらともいえない
４：どちかといえば満足していない　５：満足していない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
【安全で安心して暮らせるまち】									（ ）内は昨年の順位
１）防災対策	21	116	193	28	26	47	30	3.20	5(5)
２）防犯対策	21	94	185	45	41	43	32	3.02	25(27)
３）交通安全対策	17	96	209	40	21	43	35	3.13	13(23)
４）消費者保護	10	64	225	22	12	90	38	3.11	15(18)
５）消防・救急体制	43	137	154	21	15	59	32	3.46	1(1)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
６）子育て支援	11	104	140	30	10	112	54	3.26	3(3)
７）学校教育の充実	7	109	149	23	17	107	49	3.22	4(9)
８）青少年の健全育成	4	73	172	21	16	125	50	3.10	17(17)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	9	77	195	20	15	102	43	3.14	10(8)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	21	88	184	34	20	83	31	3.16	7(11)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	6	60	205	13	13	125	39	3.11	16(13)
12）障害者支援	12	57	193	16	13	132	38	3.13	12(24)
13）健康づくりの推進	8	86	203	23	13	89	39	3.16	9(7)
14）市立病院の充実	13	72	157	60	58	67	34	2.78	34(34)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	5	59	195	37	31	86	48	2.91	29(30)
16）商店街の活性化	3	20	147	74	110	64	43	2.24	36(36)
17）勤労者支援	4	21	202	35	23	128	48	2.82	33(33)
18）生涯学習の充実	5	62	205	24	15	105	45	3.06	21(16)
19）芸術・文化活動の振興	5	74	197	26	20	92	47	3.06	22(14)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	5	59	204	30	15	102	46	3.03	24(22)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	16	80	134	81	82	27	41	2.66	35(35)
22）区画整理	14	73	170	44	39	75	46	2.94	27(29)
23）道路・歩道の整備	17	105	142	77	51	25	44	2.90	30(32)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	26	129	163	33	18	51	41	3.30	2(12)
25）上・下水道の整備、雨水対策	29	122	140	35	43	52	40	3.16	8(2)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	26	135	145	44	33	33	45	3.20	6(4)
27）市営住宅の整備	5	32	180	24	17	158	45	2.94	28(26)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	15	82	181	37	18	81	47	3.12	14(15)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	9	66	201	22	10	109	44	3.14	11(6)
30）人権擁護と平和意識の高揚	3	51	205	17	8	130	47	3.08	19(19)
31）国際交流・多文化共生の推進	5	45	195	24	14	132	46	3.01	26(25)
32）男女共同参画の推進	4	39	205	20	8	141	44	3.04	23(21)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	5	38	204	11	7	142	54	3.09	18(20)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	15	114	147	46	38	61	40	3.06	20(10)
35）財政の健全化	7	64	167	31	48	100	44	2.85	32(28)
36）公共施設の計画的な改修・改築	10	63	180	45	43	77	43	2.86	31(31)

施策満足度平均	3.04

施策満足度　回答別割合


満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば満足していない
満足していない
わからない
誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策 4.6% 25.2% 41.9% 6.1% 5.6% 10.2% 6.5%
2）防犯対策 4.6% 20.4% 40.1% 9.8% 8.9% 9.3% 6.9%
3）交通安全対策 3.7% 20.8% 45.3% 8.7% 4.6% 9.3% 7.6%
4）消費者保護 13.9% 48.8% 4.8% 2.6% 19.5% 8.2%
5）消防・救急体制 9.3% 29.7% 33.4% 4.6% 3.3% 12.8% 6.9%
6）子育て支援 2.4% 22.6% 30.4% 6.5% 2.2% 24.3% 11.7%
7）学校教育の充実 1.5% 23.6% 32.3% 5.0% 3.7% 23.2% 10.6%
8）青少年の健全育成 0.9% 15.8% 37.3% 4.6% 3.5% 27.1% 10.8%
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 2.0% 16.7% 42.3% 4.3% 3.3% 22.1% 9.3%
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実 4.6% 19.1% 39.9% 7.4% 4.3% 18.0% 6.7%
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 1.3% 13.0% 44.5% 2.8% 2.8% 27.1% 8.5%
12）障害者支援 2.6% 12.4% 41.9% 3.5% 2.8% 28.6% 8.2%
13）健康づくりの推進 1.7% 18.7% 44.0% 5.0% 2.8% 19.3% 8.5%
14）市立病院の充実 2.8% 15.6% 34.1% 13.0% 12.6% 14.5% 7.4%
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信 1.1% 12.8% 42.3% 8.0% 6.7% 18.7% 10.4%
16）商店街の活性化 4.3% 31.9% 16.1% 23.9% 13.9% 9.3%
17）勤労者支援 4.6% 43.8% 7.6% 5.0% 27.8% 10.4%
18）生涯学習の充実 1.1% 13.4% 44.5% 5.2% 3.3% 22.8% 9.8%
19）芸術・文化活動の振興 1.1% 16.1% 42.7% 5.6% 4.3% 20.0% 10.2%
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進 1.1% 12.8% 44.3% 6.5% 3.3% 22.1% 10.0%
21）蕨駅周辺の整備 3.5% 17.4% 29.1% 17.6% 17.8% 5.9% 8.9%
22）区画整理 3.0% 15.8% 36.9% 9.5% 8.5% 16.3% 10.0%
23）道路・歩道の整備 3.7% 22.8% 30.8% 16.7% 11.1% 5.4% 9.5%
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実 5.6% 28.0% 35.4% 7.2% 3.9% 11.1% 8.9%
25）上・下水道の整備、雨水対策 6.3% 26.5% 30.4% 7.6% 9.3% 11.3% 8.7%
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 5.6% 29.3% 31.5% 9.5% 7.2% 7.2% 9.8%
27）市営住宅の整備 1.1% 6.9% 39.0% 5.2% 3.7% 34.3% 9.8%
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 3.3% 17.8% 39.3% 8.0% 3.9% 17.6% 10.2%
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化 2.0% 14.3% 43.6% 4.8% 2.2% 23.6% 9.5%
30）人権擁護と平和意識の高揚 0.7% 11.1% 44.5% 3.7% 1.7% 28.2% 10.2%
31）国際交流・多文化共生の推進 9.8% 42.3% 5.2% 3.0% 28.6% 10.0%
32）男女共同参画の推進 8.5% 44.5% 4.3% 2.4% 1.7% 30.6% 9.5%
33）市民参画と協働の推進 8.2% 44.3% 1.5% 30.8% 11.7%
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上 3.3% 24.7% 31.9% 10.0% 8.2% 13.2% 8.7%
35）財政の健全化 1.5% 13.9% 36.2% 6.7% 10.4% 21.7% 9.5%
36）公共施設の計画的な改修・改築 2.2% 13.7% 39.0% 9.8% 9.3% 16.7% 9.3%

平均値順（満足度）

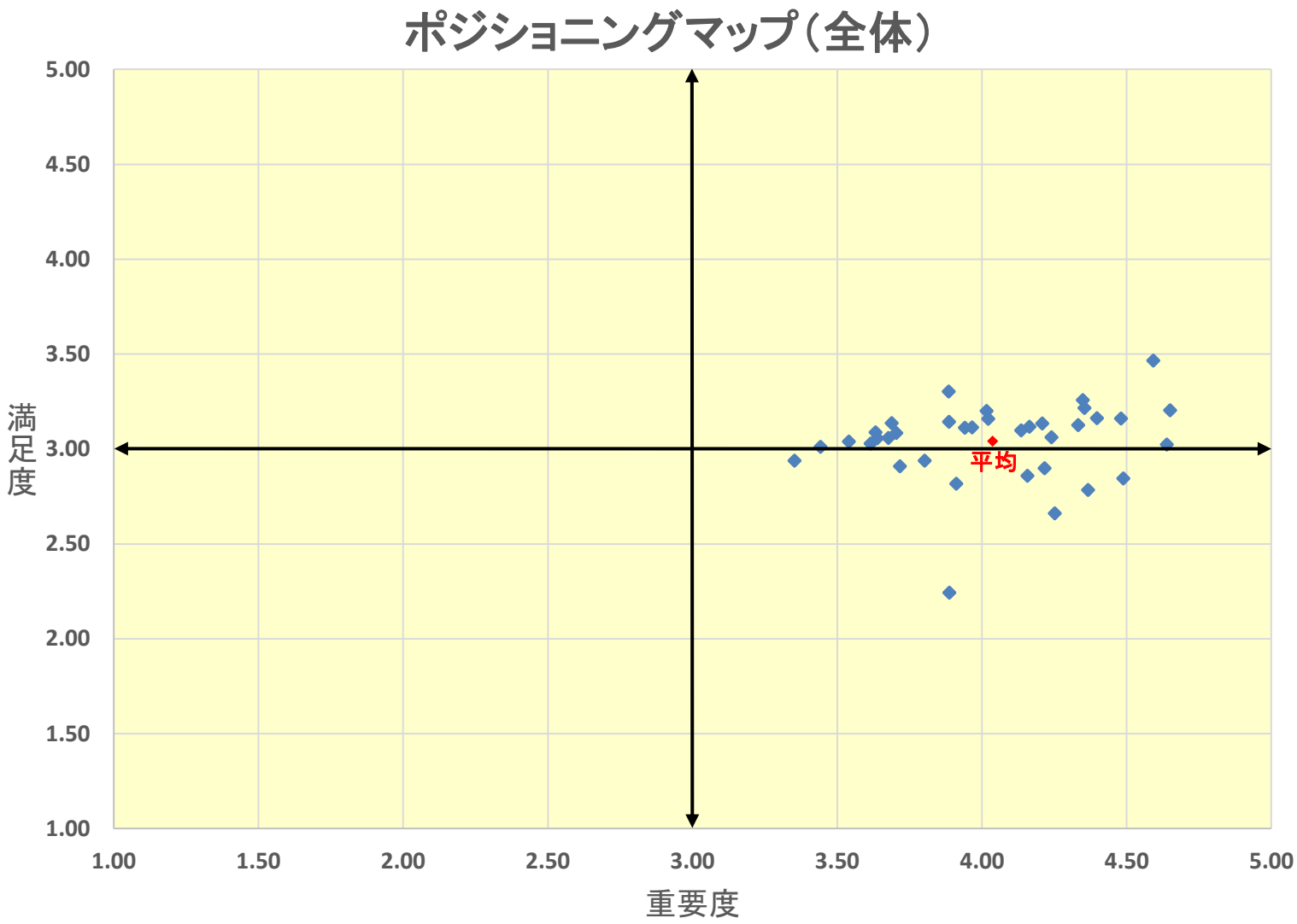
※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

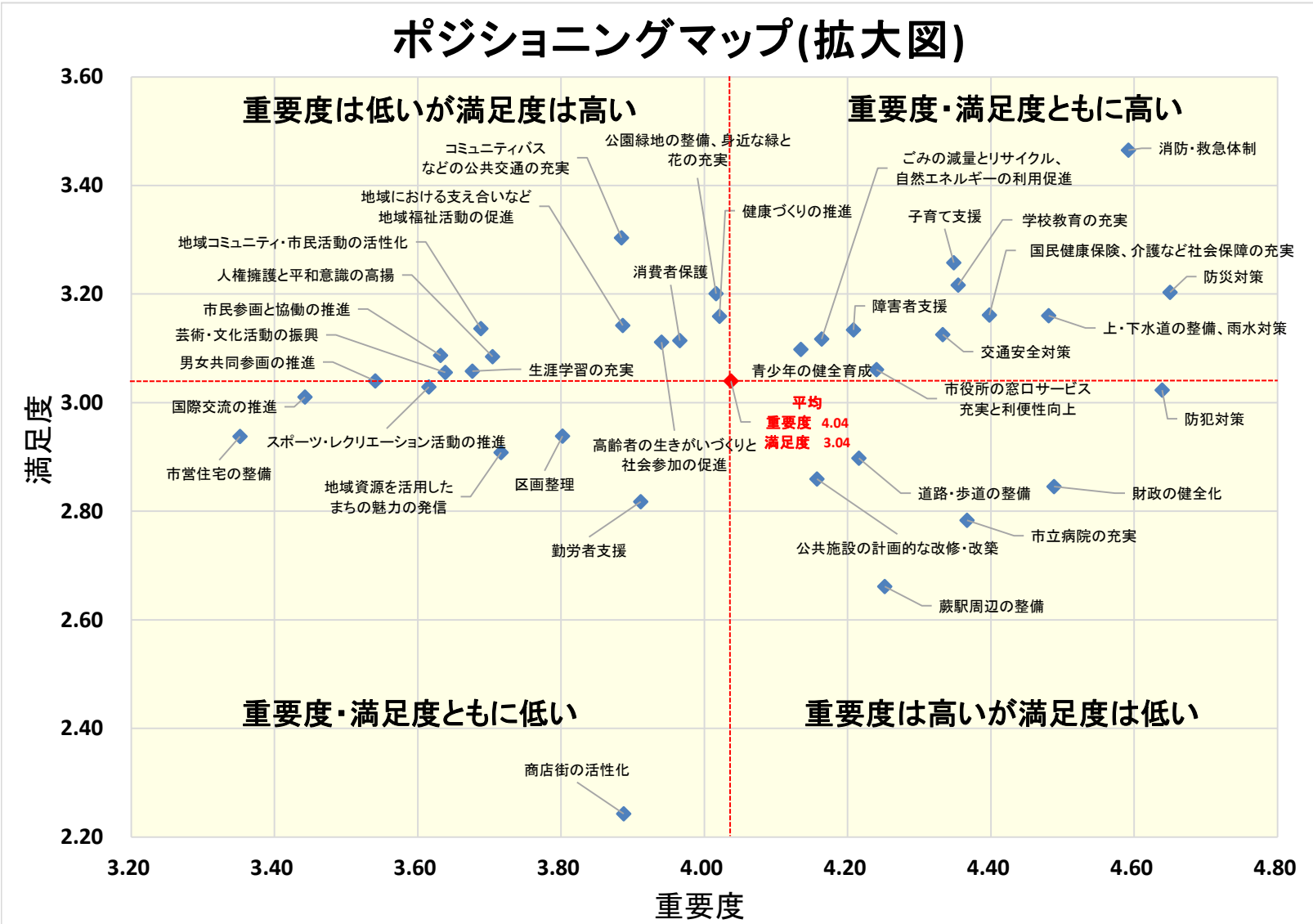
順位（昨年度）	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	R1	H30	H29	過去3か年平均	3か年平均との比較
1 （1）	消防・救急体制	43	137	154	21	15	59	3.46	3.46	3.46	3.53	3.48	▲ 0.02
2 （12）	コミュニティバスなどの公共交通の充実	26	129	163	33	18	51	3.30	3.07	3.19	3.21	3.16	0.14
3 （3）	子育て支援	11	104	140	30	10	112	3.26	3.26	3.29	3.28	3.28	▲ 0.02
4 （9）	学校教育の充実	7	109	149	23	17	107	3.22	3.11	3.12	3.19	3.14	0.08
5 （5）	防災対策	21	116	193	28	26	47	3.20	3.18	3.25	3.26	3.23	▲ 0.03
6 （4）	公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	26	135	145	44	33	33	3.20	3.19	3.19	3.17	3.18	0.02
7 （11）	国民健康保険、介護など社会保障の充実	21	88	184	34	20	83	3.16	3.07	3.11	3.09	3.09	0.07
8 （2）	上・下水道の整備、雨水対策	29	122	140	35	43	52	3.16	3.27	3.15	3.21	3.21	▲ 0.05
9 （7）	健康づくりの推進	8	86	203	23	13	89	3.16	3.12	3.27	3.16	3.18	▲ 0.02
10 （8）	地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	9	77	195	20	15	102	3.14	3.11	3.11	3.15	3.12	0.02
11 （6）	地域コミュニティ・市民活動の活性化	9	66	201	22	10	109	3.14	3.14	3.14	3.12	3.13	0.01
12 （24）	障害者支援	12	57	193	16	13	132	3.13	2.99	3.00	3.07	3.02	0.11
13 （23）	交通安全対策	17	96	209	40	21	43	3.13	2.99	3.07	3.10	3.05	0.08
14 （15）	ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	15	82	181	37	18	81	3.12	3.06	3.09	3.11	3.09	0.03
15 （18）	消費者保護	10	64	225	22	12	90	3.11	3.06	3.09	3.12	3.09	0.02
16 （13）	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	6	60	205	13	13	125	3.11	3.07	3.08	3.02	3.06	0.05
17 （17）	青少年の健全育成	4	73	172	21	16	125	3.10	3.06	3.08	3.12	3.09	0.01
18 （20）	市民参画と協働の推進	5	38	204	11	7	142	3.09	3.04	3.01	2.98	3.01	0.08
19 （19）	人権擁護と平和意識の高揚	3	51	205	17	8	130	3.08	3.05	3.09	3.09	3.08	0.00
20 （10）	市役所の窓口サービス充実と利便性向上	15	114	147	46	38	61	3.06	3.10	3.08	3.02	3.07	▲ 0.01
21 （16）	生涯学習の充実	5	62	205	24	15	105	3.06	3.06	3.05	2.99	3.03	0.03
22 （14）	芸術・文化活動の振興	5	74	197	26	20	92	3.06	3.06	3.05	2.94	3.02	0.04
23 （21）	男女共同参画の推進	4	39	205	20	8	141	3.04	3.03	3.05	3.02	3.03	0.01
24 （22）	スポーツ・レクリエーション活動の推進	5	59	204	30	15	102	3.03	3.01	3.02	2.94	2.99	0.04
25 （27）	防犯対策	21	94	185	45	41	43	3.02	2.83	3.00	3.10	2.98	0.04
26 （25）	国際交流・多文化共生の推進	5	45	195	24	14	132	3.01	2.93	2.96	2.97	2.95	0.06
27 （29）	区画整理	14	73	170	44	39	75	2.94	2.80	2.88	2.99	2.89	0.05
28 （26）	市営住宅の整備	5	32	180	24	17	158	2.94	2.93	2.96	2.93	2.94	0.00
29 （30）	地域資源を活用したまちの魅力の発信	5	59	195	37	31	86	2.91	2.79	2.84	2.79	2.81	0.10
30 （32）	道路・歩道の整備	17	105	142	77	51	25	2.90	2.77	2.82	2.88	2.82	0.08
31 （31）	公共施設の計画的な改修・改築	10	63	180	45	43	77	2.86	2.78	2.91	2.95	2.88	▲ 0.02
32 （28）	財政の健全化	7	64	167	31	48	100	2.85	2.82	2.89	2.88	2.86	▲ 0.01
33 （33）	勤労者支援	4	21	202	35	23	128	2.82	2.70	2.76	2.73	2.73	0.09
34 （34）	市立病院の充実	13	72	157	60	58	67	2.78	2.61	2.67	2.74	2.67	0.11
35 （35）	蕨駅周辺の整備	16	80	134	81	82	27	2.66	2.51	2.60	2.67	2.59	0.07
36 （36）	商店街の活性化	3	20	147	74	110	64	2.24	2.16	2.23	2.24	2.21	0.03
				施策満足度平均				3.04	2.98	3.02	3.02	3.00	0.04

●市民の満足度が高い施策は、１位「消防・救急体制」（前年１位）、２位「コミュニティバスなどの公共交通の充実」（前年１２位）、３位「子育て支援」（前年３位）となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「蕨駅周辺の整備」、「市立病院の充実」は、満足度が低くなっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

●施策全体の平均が過去３か年平均よりも0.04ポイント増加しています。上昇している施策としては、「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、「障害者支援」、「市立病院の充実」と続き、減少している施策としては、「上・下水道の整備、雨水対策」、「防災対策」、「消防・救急対策」と続いています。

●満足度は「わからない」という回答が全体に多く、市民が日常生活の中で関わりを実感しにくい施策については、その効果がよく分からないことが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、「わからない」の割合が３割を超える「市営住宅の整備」、「市民参画と協働の推進」、「男女共同参画の推進」などが挙げられます。

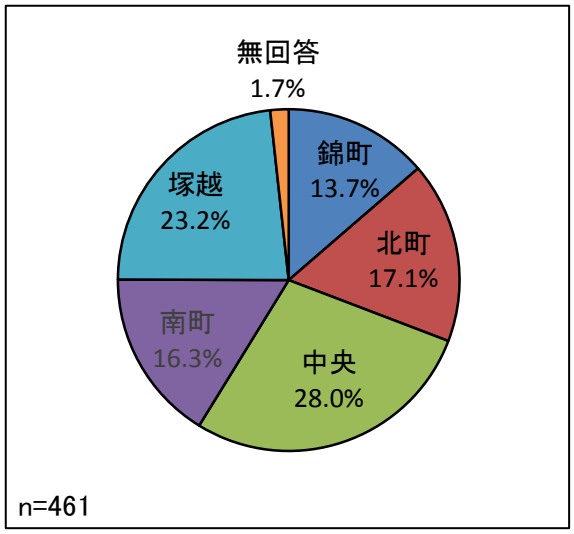

ポジショニングマップ（全体）
満足度
重要度
平均
5.00
4.50
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
1.00
1.50
2.00
2.50
3.00
3.50
4.00
4.50
5.00


ポジショニングマップ(拡大図)
重要度は低いが満足度は高い
重要度・満足度ともに高い
重要度・満足度ともに低い
重要度は高いが満足度は低い
満足度
重要度
平均
重要度 4.04
満足度 3.04
コミュニティバス
などの公共交通の充実
公園緑地の整備、身近な緑と
花の充実
地域における支え合いなど
地域福祉活動の促進
地域コミュニティ・市民活動の活性化
人権擁護と平和意識の高揚
市民参画と協働の推進
芸術・文化活動の振興
男女共同参画の推進
国際交流の推進
市営住宅の整備
スポーツ・レクリエーション活動の推進
地域資源を活用した
まちの魅力の発信
区画整理
生涯学習の充実
勤労者支援
商店街の活性化
消費者保護
高齢者の生きがいづくりと
社会参加の促進
健康づくりの推進
ごみの減量とリサイクル、
自然エネルギーの利用促進
消防・救急体制
子育て支援
学校教育の充実
国民健康保険、介護など社会保障の充実
防災対策
障害者支援
上・下水道の整備、雨水対策
交通安全対策
青少年の健全育成
市役所の窓口サービス
充実と利便性向上
防犯対策
道路・歩道の整備
財政の健全化
市立病院の充実
公共施設の計画的な改修・改築
蕨駅周辺の整備
3.20
3.40
3.60
3.80
4.00
4.20
4.40
4.60
4.80
2.20
2.40
2.60
2.80
3.00
3.20
3.40
3.60

【属　性】

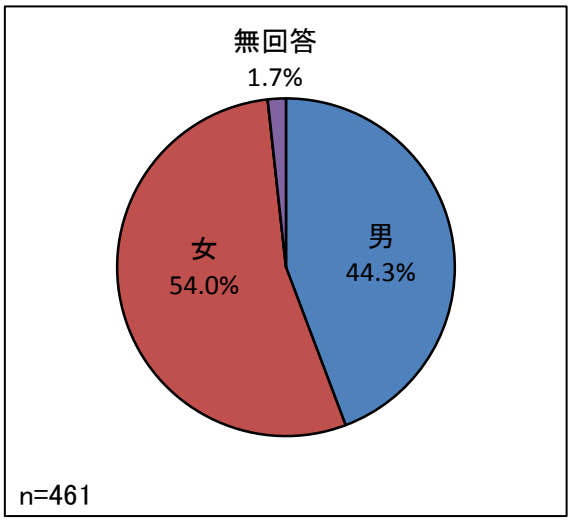
ア. 地区

回答対象者:461人	件数	割合	参考 抽出割合
錦町	63	13.7%	15.5%
北町	79	17.1%	15.3%
中央	129	28.0%	29.7%
南町	75	16.3%	16.8%
塚越	107	23.2%	22.7%
無回答	8	1.7%	



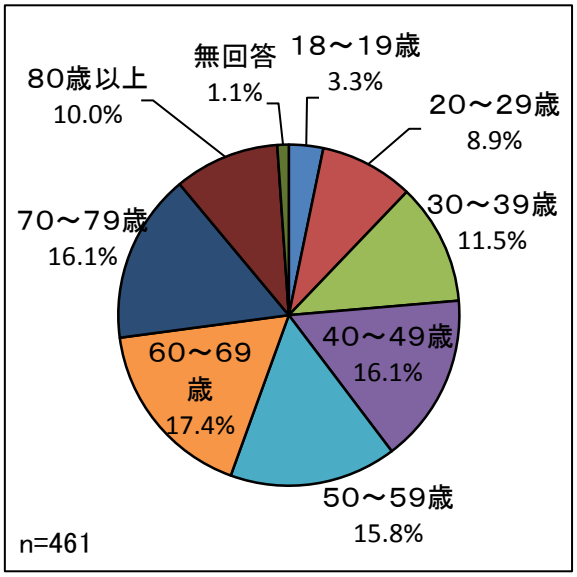
イ. 性別

回答対象者:461人	件数	割合	参考 抽出割合
男	204	44.3%	50.5%
女	249	54.0%	49.5%
上記以外の回答	0	0.0%	
無回答	8	1.7%	



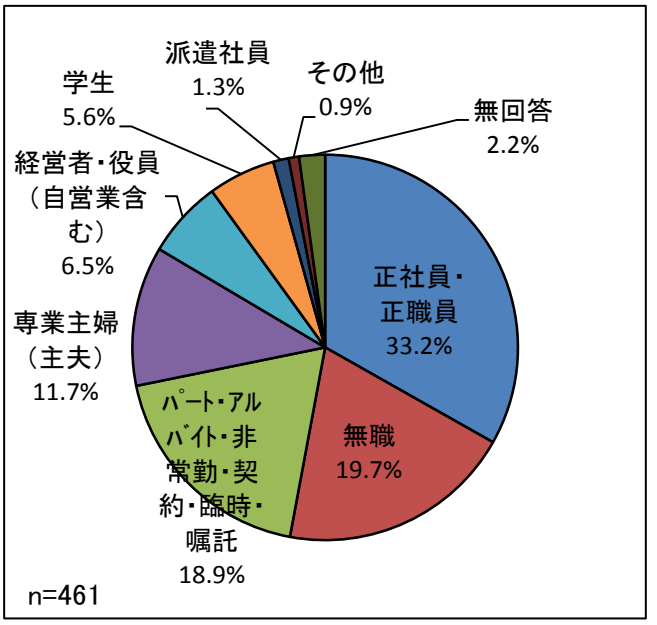
ウ. 年齢層

回答対象者:461人	件数	割合	参考 抽出割合
18～19歳	15	3.3%	1.8%
20～29歳	41	8.9%	14.5%
30～39歳	53	11.5%	14.9%
40～49歳	74	16.1%	17.3%
50～59歳	73	15.8%	16.1%
60～69歳	80	17.4%	13.1%
70～79歳	74	16.1%	13.3%
80歳以上	46	10.0%	9.1%
無回答	5	1.1%	



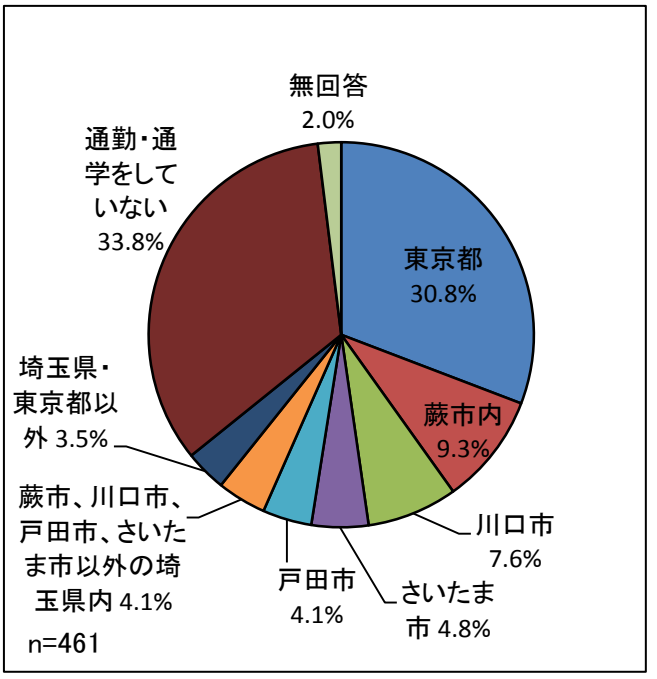
エ. 職業

回答対象者:461人	件数	割合	順位
正社員・正職員	153	33.2%	1
無職	91	19.7%	2
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ・非常勤・契約・臨時・嘱託	87	18.9%	3
専業主婦 （主夫）	54	11.7%	4
経営者・役員（自営業含む）	30	6.5%	5
学生	26	5.6%	6
派遣社員	6	1.3%	7
その他	4	0.9%	8
無回答	10	2.2%	



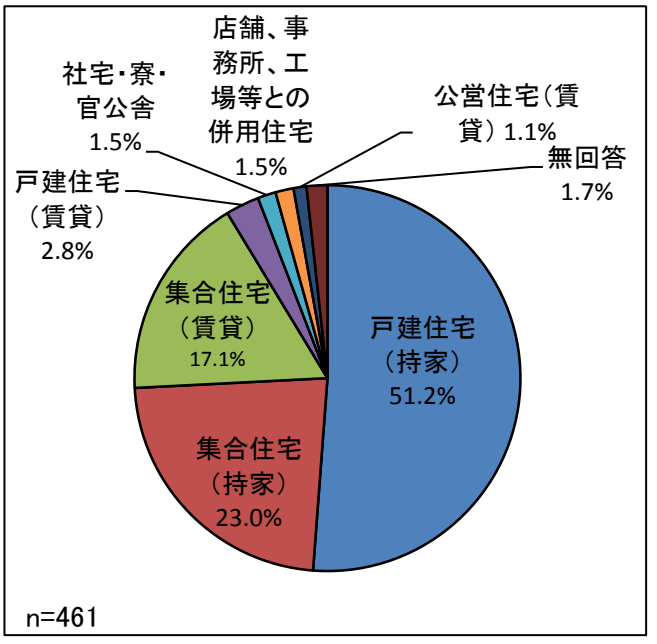
オ. 通勤・通学地

回答対象者:461人	件数	割合	順位
東京都	142	30.8%	1
蕨市内	43	9.3%	2
川口市	35	7.6%	3
さいたま市	22	4.8%	4
戸田市	19	4.1%	5
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	19	4.1%	5
埼玉県・東京都以外	16	3.5%	7
通勤・通学をしていない	156	33.8%	
無回答	9	2.0%	



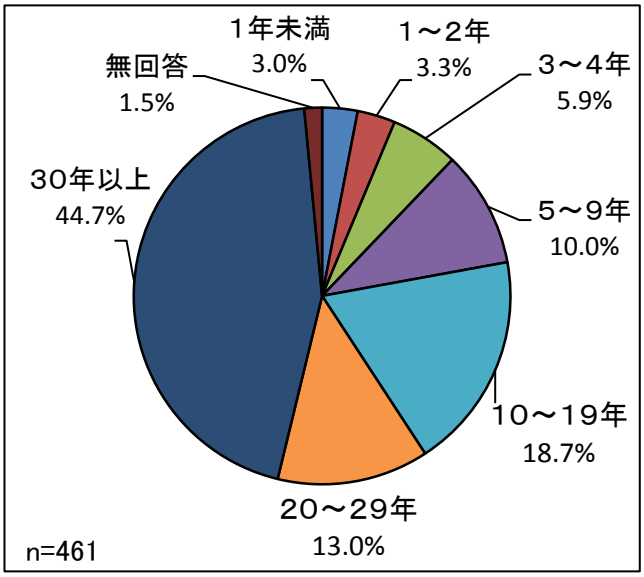
カ. 住宅形態

回答対象者:461人	件数	割合	順位
戸建住宅（持家）	236	51.2%	1
集合住宅（持家）	106	23.0%	2
集合住宅（賃貸）	79	17.1%	3
戸建住宅（賃貸）	13	2.8%	4
社宅・寮・官公舎	7	1.5%	5
店舗、事務所、工場等との併用住宅	7	1.5%	5
公営住宅（賃貸）	5	1.1%	7
無回答	8	1.7%	



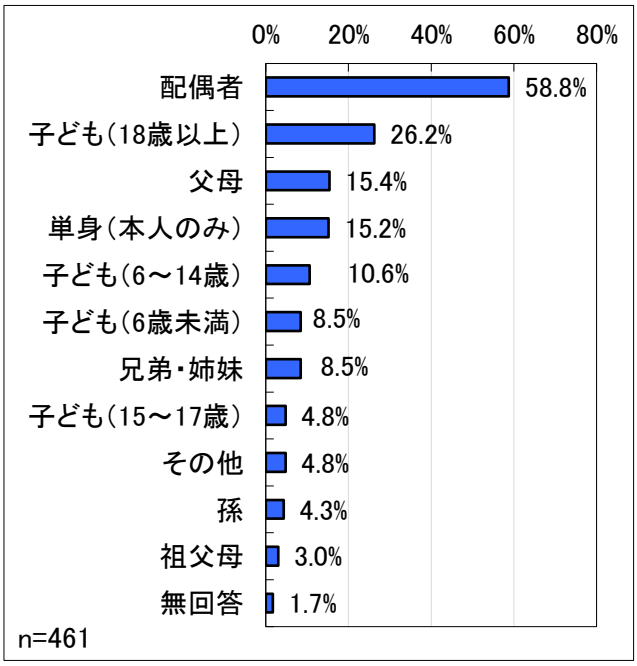
キ. 居住年数

回答対象者:461人	件数	割合	順位
1年未満	14	3.0%	7
1～2年	15	3.3%	6
3～4年	27	5.9%	5
5～9年	46	10.0%	4
10～19年	86	18.7%	2
20～29年	60	13.0%	3
30年以上	206	44.7%	1
無回答	7	1.5%	



ク. 家族構成

回答対象者:461人	件数	割合	順位
配偶者	271	58.8%	1
子ども(18歳以上)	121	26.2%	2
父母	71	15.4%	3
単身(本人のみ)	70	15.2%	4
子ども(6～14歳)	49	10.6%	5
子ども(6歳未満)	39	8.5%	6
兄弟・姉妹	39	8.5%	6
子ども(15～17歳)	22	4.8%	8
その他	22	4.8%	8
孫	20	4.3%	10
祖父母	14	3.0%	11
無回答	8	1.7%	



令和２年度市民意識調査報告書

令和2年11月発行

発　行　　蕨　市
編　集　　蕨市総務部政策企画室

〒335－8501　蕨市中央5－14－15
電　　話　　048－433－7698
E-Mail　　seisaku@city.warabi.saitama.jp